

バージョン: 9.2.2.5
06/01/2016

DVDFab

Copyright © 2003-2016 Fengtao Software Inc.
ja.dvdfab.cn



《この本について》

本書は、「DVFab6 BD & DVD Copy PREMIUM」に準拠しております。そのため、他のバージョンでは搭載していない機能が含まれる場合がございます。予めご了承ください。

《ご注意ください》

AACS / CSS / CPRM 等の技術的保護手段が施されている DVD / Blu-ray ディスクを取り扱うことはできません。著作物のコピーは、私的使用の目的であっても、技術的保護手段を解除することは法律で禁止されていますので、ご注意ください。これらに違反すると、権利者からの損害賠償請求や刑事処分の対象となる場合があります。著作権保護下の映像および音声の個人的な視聴の範囲を超えた利用、および著作権の侵害は法律で禁止されています。これらに違反すると、権利者からの損害賠償請求や刑事処分の対象となる場合があります。技術的保護手段が施されている DVD / Blu-ray ディスクに関するサポートは一切いたしません。あらかじめご了承ください。本製品にて出力されたファイルは、ご利用者の責任においてご利用いただくものとします。本製品の販売元および開発元は、製品使用および使用から発生した一切の紛争・損失・損害に対して責任を負わないものとします。

DVD / Blu-ray ディスクを読み込む際、ディスク状態（汚れ、傷など）により正常に読み込めない場合があります。ディスクインポートの際、入力データの一部に欠損または破損がある場合は、正常に出力できない場合があります。

目次

DVDFab6 ができること	5
DVDFab6 をインストールしよう	7
Chapter 1 コピーモード	10
1-1 「フルディスク」で DVD/BD をバックアップする	10
DVD フォルダとしてバックアップする	11
バックアップしたフォルダをディスクにコピーする	14
1-2 「メインムービー」で DVD/BD をバックアップする	18
DVD フォルダとしてバックアップする	19
1-3 「カスタマイズ」で DVD/BD をバックアップする	24
DVD フォルダとしてバックアップする	25
1-4 「分割」機能で二層式 DVD を一層式 DVD2 枚にバックアップする	32
1-5 「結合」機能で 2 枚の DVD を 1 枚の DVD にバックアップする	38
1-6 「クローン」で DVD/BD をバックアップする	46
DVD フォルダとしてバックアップする	47
1-7 「ブルーレイ DVD 変換」で BD を DVD にバックアップする	51
DVD フォルダとしてバックアップする	52
Chapter 2 BD/DVD のムービーを変換しよう	59
2-1 BD/DVD のムービーをモバイル用の動画ファイルに変換する	59
BD/DVD をモバイル用に変換するために	59
BD/DVD をモバイル対応させる手順概要	60
BD/DVD の映像を簡単にモバイル対応させるには	60
2-2 BD/DVD から 3D 対応デバイスのムービーファイルを作成する	66
3D 対応のスマートフォン用に 3D 動画を作成する	66
BD/DVD をモバイル対応させる手順概要	67
BD/DVD の映像を簡単にモバイル対応させるには	67
2-3 3D の Blu-ray から 3D 対応デバイス用のムービーファイルを作成する	74
3D の Blu-ray を 3D 対応デバイス用のファイルに変換するために	74
3D の Blu-ray を 3D デバイス用に変換させる手順概要	75
3D の Blu-ray を 3D デバイス用のファイルに変換する	75
3D デバイス用に変換したムービーを確認する	79

Chapter 3	パソコンのムービーを変換しよう	81
3-1	パソコンのムービーをモバイル用に変換する	81
	動画ファイルの変換機能	81
3-2	動画効果を編集する	85
	動画効果を編集する	85
	「リサイズ」を設定する	86
	「クロップ」を設定する	87
	「トリム」を設定する	89
3-3	ディスクやムービーファイルから音声部分を抽出する	91
	音声部分を抽出する	91
Chapter 4	設定項目を自分専用カスタマイズしよう	95
4-1	設定項目をカスタマイズして DVDFab6 を使いこなそう!	95
	環境に合わせて設定をカスタマイズ	95
	共通設定画面を開く	96
	一般設定を行う	97
	A/V コーデックを設定する	102
	プレビューを設定する	104
	サウンドを設定する	105
	ネットワークを設定する	105
	診断を設定する	106
	ドライブ関連の設定をする	107
	読み込みを設定する	108
	DVD ライティングを設定する	111
	Blu-ray ライティングを設定する	115
	ハイブリッドディスクを設定する	118
	DVD 関連の設定をする	119
	Blu-ray 関連の設定をする	121
	オーディオを設定する	123
	字幕を設定する	125
	変換を設定する	126
	出力を設定する	127
	PSP を設定する	128
	用語集	129

DVDFab6でできること

「ディスクコピー」「ディスク作成」「動画変換」あらゆる要望に、この1本が応える！

DVDFab6は、Blu-ray / DVD ビデオのコピー機能を結集した世界唯一の総合ソフトです。ビデオカメラで撮ったままのBlu-rayやDVDなどが沢山ある場合も、複雑な編集作業なしで一度に複数のディスクを統合可能。また、光学ドライブを持たないパソコンで映像を見るためにディスク内のコンテンツからディスクイメージファイルを作成し、付属の仮想ドライブソフトで再生させることもできます。その他、便利な機能を数多く有しているので、DVDFab6ならBlu-rayやDVDディスクに関する要望を満たすことが可能です。

● BDAV 入力対応

BDAVの入力に対応し、ビデオカメラで作成したBlu-rayやDVDを取り込めます。

● 高速エンコーディング！ NVIDIA CUDA、ATI Stream対応

マルチコアCPUだけでなく、最新のNVIDIA CUDAやATI Streamなどの技術にも対応。超高速な動画変換が可能です。

● Blu-ray 3Dの映像を3D動画ファイルに変換可能

Blu-ray 3Dの映像を、3D効果を維持したままAVI / MP4 / WMV / MKVの各動画形式へ変換できます。

※ 3D動画ファイルを鑑賞するためには別途対応する環境（ディスプレイ、グラフィックカード、メディアプレイヤー）が必要です。

● Blu-rayの片面2層→片面1層コピー対応

Blu-rayとDVDに両対応したディスクトランスコードコピーを実現。Blu-rayからBlu-rayへのコピーはもちろん、Blu-rayからDVDへのコピーもおこなえます。

また、コピー以外にISOイメージファイルとして出力することも可能です。

1 さまざまなコピーモードを搭載

【Blu-ray】1:1コピー / カスタムコピー / メインムービーのみコピー / ディスクの分割

- ・ Blu-ray 片面1層 → Blu-ray 片面1層 / DVD 片面2層・片面1層
- ・ Blu-ray 片面2層 → Blu-ray 片面2層・片面1層 / DVD 片面2層・片面1層

【DVD】1:1コピー / カスタムコピー / メインムービーのみコピー / ディスクの分割・結合

- ・ DVD 片面2層 → DVD 片面2層・片面1層
- ・ DVD 片面1層 → DVD 片面1層



2 柔軟な設定でディスク読み込みエラーを回避

ディスクの読み込みエラーが起こった時に備えて、スキップや再読み込みの設定をきめ細かく行うことができます。読み込みの確実性を高めます。

3 BDAV 入力対応

BDAV の入力に対応し、ビデオカメラで作成した Blu-ray や DVD を取り込みます。
また特定のチャプター / 複数チャプターを選択して入力することも可能です。(マルチタイトルモード)

4 ディスクの結合(マージ機能)

複数枚の DVD-Video を 1 枚の DVD-Video へ統合することが可能です。

5 仮想ドライブ機能で Blu-ray イメージをマウント

Blu-ray ドライブを搭載していないパソコンでも、「DVD Fab Virtual Drive」を利用すれば Blu-ray のイメージファイル (ISO ファイル) をマウントさせることができます。

※鑑賞するためには別途対応するメディアプレイヤー (再生ソフトウェア) が必要です。

6 多彩な動画フォーマットに対応

《入力ディスク》

BD ビデオディスク (2D&3D) / BD フォルダー (BDMV) , DVD ビデオディスク / DVD フォルダー , ISO ファイル

● 入力ファイル

ASF、AVI、FLV、M2TS、MOV、MP4、M4V、MPEG、DAT、MKV、RMVB、RM、TS、VOB、WMV

《出力デバイス》

iPad Air、iPhone (5s/5c 含む)、iPad、iPad mini、Apple TV、Android (汎用)、PS4、PS3、PSP、Xbox One、Xbox 360、ニンテンドー DS

● 出力ファイル

MPEG-4、XviD、H.264、MP4、AVI、MKV、WMV、M2TS、VOB、FLV、3D 動画 (AVI、MP4、WMV、MKV)

7 自由にカスタマイズ出力

- チャプターごとの分割出力
- M2TS を無劣化で抽出
- 1pass / 2pass エンコード
- フレームレート変更設定
- 2D → 3D 動画変更設定
- メニューなしディスクの作成 (BD/DVD)
- 指定チャプター / タイトルのみ変換
- 固定 / 可変ビットレート設定
- 画像のクロップ設定
- 音声チャンネル変更設定
- 3D 効果 (深度) 変更設定
- 外部字幕をサポート

8 動画から音声を抽出

Blu-ray や DVD から音声だけを抜き出して変換できます。7.1ch までのマルチチャンネルの音声出力をサポート。

● 対応音声ファイル

MP3、M4A、WMA、WMV、AAC、AC3、DTS

Install

1

DVDFab6 をインストールしよう

DVDFab6 を使用できるように、パソコンにインストールしましょう。

1 セットアップウィザード

パソコンにインストールディスクを挿入すると、以下のようなセットアップウィザードが開始され、表示に従って進めるだけで簡単にセットアップが完了します。

① セットアップウィザードが開始される



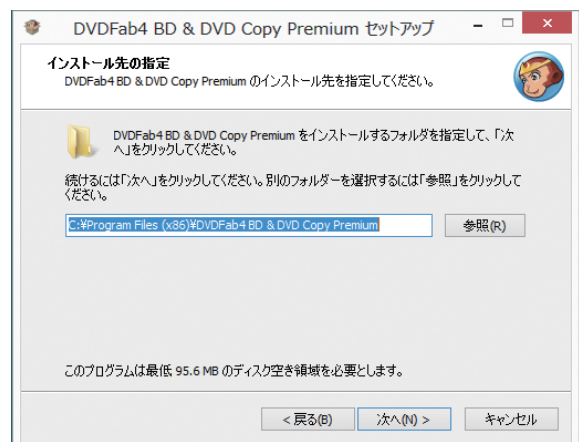
② 使用許諾契約の同意画面が表示される



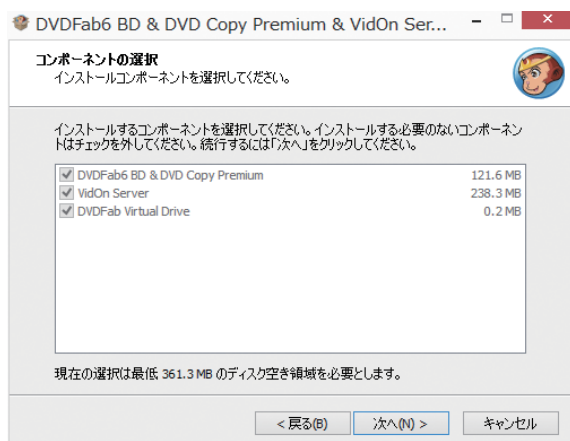
③ 契約書を読み「同意する」をチェックする



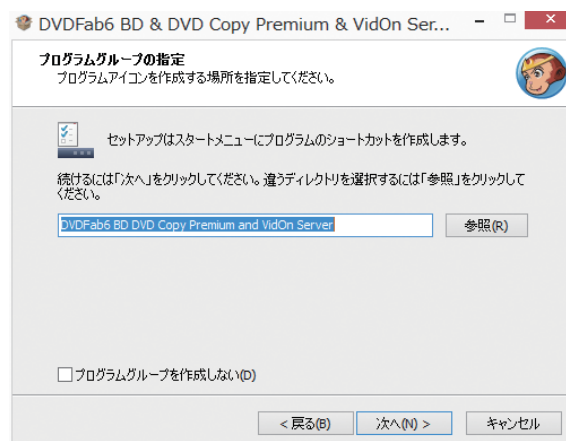
④ 必要なディスク空き容量を確認し、インストール先を指定する



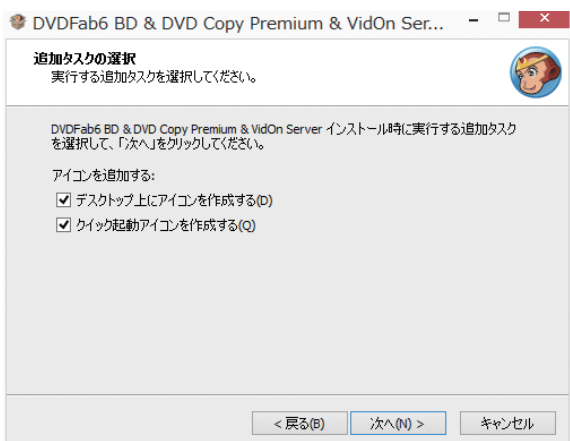
⑤ インストールするコンポーネントを確認する



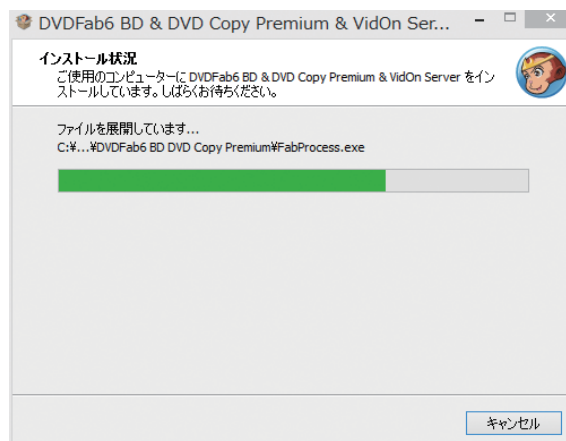
⑥ プログラムアイコンを作成する場所を指定する



⑦ インストール時に実行する追加タスクを選択する



⑧ インストールが開始される



⑨ 情報を確認する



⑩ セットアップウィザードが終了する



2 ユーザー登録

DVDFab6 をインストールして初めて起動すると、ユーザー登録画面が表示されます。DVDFab6 を使用するためには、ユーザーの認証が必要となりますので、この画面でユーザーアカウントを新規作成します。登録が完了すると、次回からは表示この画面は表示されません。

⑪ ユーザー登録画面が表示される

⑫ ロック解除コードを入力し、ユーザーアカウントを新規作成する

⑬ ユーザー登録が完了する

⑭ ユーザーエクスペリエンス向上プログラムの参加を選択する

⑮ メインメニューが表示される



Chapter

1-1

「フルディスク」でDVD/BDをバックアップする

ディスクのバックアップの仕方として最も基本的な方法が「フルディスク」によるバックアップです。わずか数クリックでディスクをバックアップできる簡単な操作ですので、まずこの操作を覚えましょう。

フルディスク機能では、細かな設定をせずに、ディスク全体を簡単にバックアップできます。クローン機能〔詳細は47ページ参照〕との違いは、①バックアップ元になるディスク容量が大きく、バックアップ先にディスクが小さい場合などでも、簡単な操作で、最適な圧縮が行われバックアップディスクの作成ができる、②ディスクに再生コントロールがある場合や不要なデータがある場合には省くことができる、などの点があります。簡単操作ながらもっともバックアップのニーズに合わせた機能をもっているのがフルディスク機能といえるでしょう。



● メインメニュー

4つのモードから使用したい機能を選択します。

● 項目名表示

メイン画面に表示される設定項目名が表示されます。

● コピーモード

選択した機能名が表示されます。アイコンをクリックすることで機能を変更できます。

● 入力元

BD/DVDドライブを指定します。パソコンに保存してあるBD/DVDフォルダーやISOファイルを指定することも可能です。

● 出力

DVDの場合は、「DVD9」、「DVD5」を選択できます。Blu-rayの場合は、「BD50」、「BD25」を選択できます。選択内容に応じて、圧縮比とファイルサイズが表示されます。

● メインウィンドウ

BD/DVDのタイトル一覧が表示され、バックアップするタイトルなどの設定が行えます。

● 保存先

右側にある「▼」をクリックすると使用しているドライブや保存場所のリストが表示され、選択できます。

1 DVDフォルダーとしてバックアップする

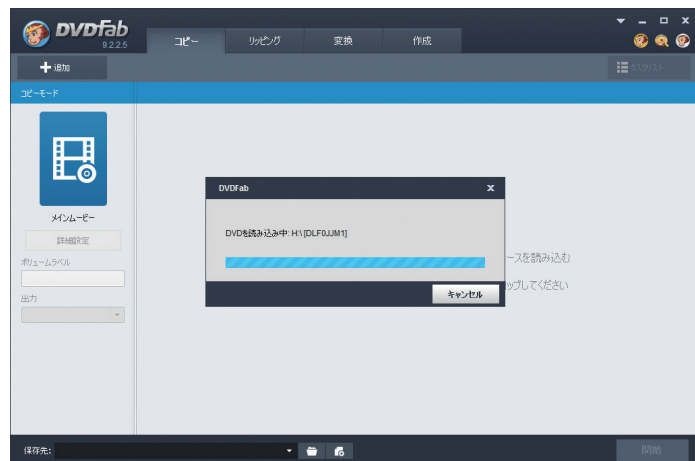
① プログラムを起動する

DVDFab6 を起動させます。



② バックアップしたいディスクを認識させる

バックアップしたいBD/DVDを挿入すると、自動で情報が読み取られ、分析されます。読み込み中の間、ウィンドウが表示されていますので、ウィンドウが自動で閉じるまで待ちます。ここでは、例としてDVDを挿入します。



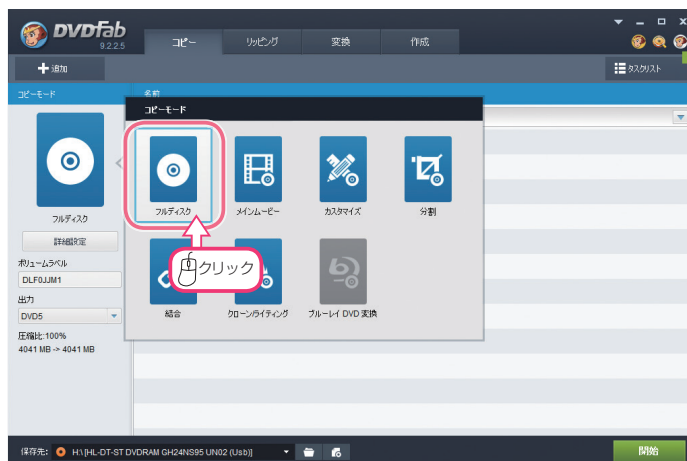
③ ディスク情報とモードを確認する

読み込まれたディスク情報が表示されていることを確認します。表示されていない場合は、モードが「コピー」モードになっているかを再度確認しましょう。続けて、画面左上のファイルアイコンをクリックし、機能を変更します。



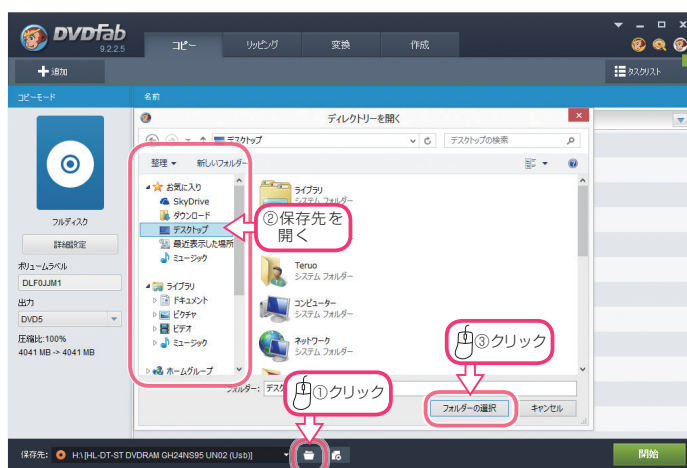
④ フルディスク機能を選択する

コピーモードでできる機能一覧が表示されますので、「フルディスク」を選択し、クリックします。



⑤ データの保存先を指定する

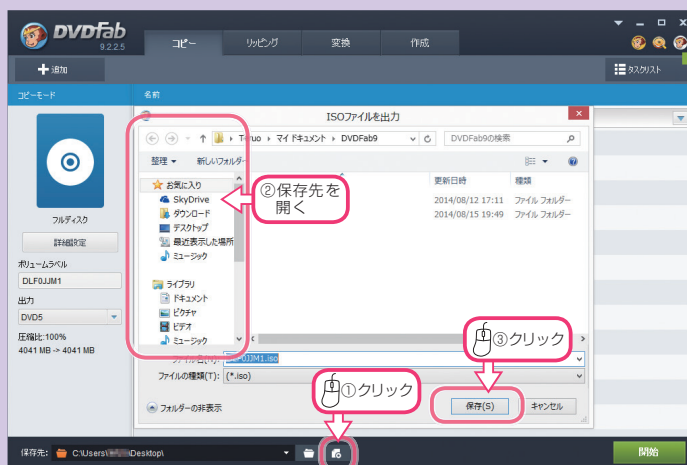
保存先のフォルダーアイコンをクリックし、変換後のムービーを保存するフォルダーを開き「フォルダーの選択」をクリックします。続けて、「開始」をクリックしてバックアップを開始します。



Hint

ISO ファイルとしてバックアップする

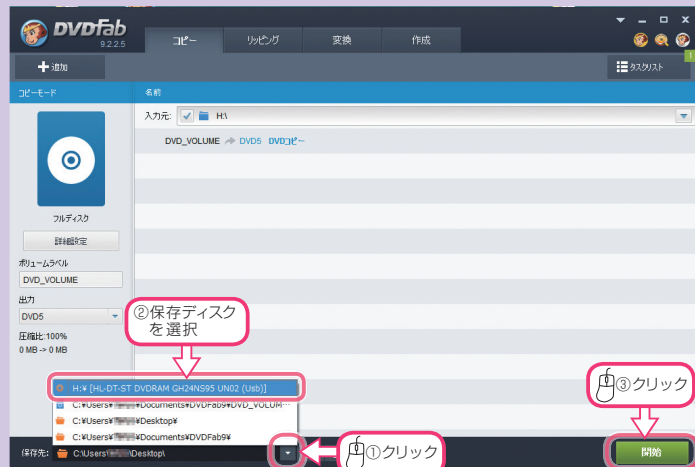
ディスクからパソコンへのバックアップ方法には、①フォルダーとして保存する方法と、② ISO ファイルとして保存する方法があります。操作の違いは、保存先の指定をする場面で、「ISO ファイルを出力」をクリックし、ISO ファイルの保存先を指定する点です。仮想ドライブを使用している場合などは ISO ファイルで保存するとよいでしょう。





直接ディスクにバックアップする

パソコン上にバックアップをとるのではなく、ディスクに直接バックアップをとることも可能です。操作は、「保存先:」の右側にある「▼」をクリックすると使用しているドライブや保存場所のリストが表示されますので、その中から、ディスクを読み込ませているドライブと同じドライブ(複数ドライブがある場合は書き込み可能なドライブ)を選択するだけです。



⑥ バックアップが開始される

ディスクのバックアップが開始され、画面上に進行状況が表示されます。



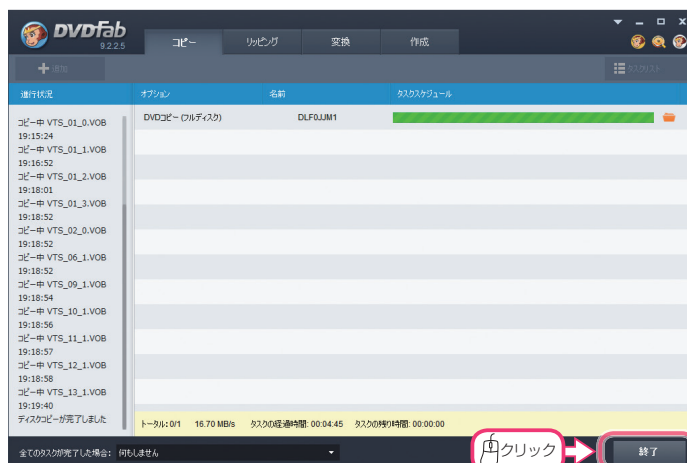
⑦ 作業が完了する

バックアップが成功するとウィンドウがポップアップし、「プロセスが完了しました!」と表示されますので「OK」をクリックします。



⑬ バックアップを終了

「終了」をクリックしてバックアップを終了します。



2

バックアップしたフォルダーをディスクにコピーする

フルディスク機能でディスクからパソコン上にバックアップしたフォルダーを空のディスクにコピーすることができます。P14 のヒントで解説したように、フルディスク機能では最初からディスクにバックアップすることもできますが、より安全にバックアップをするためには、一度パソコン上にバックアップしたフォルダーを空のディスクに書き込む方法が、より最適なプロセスといえます。

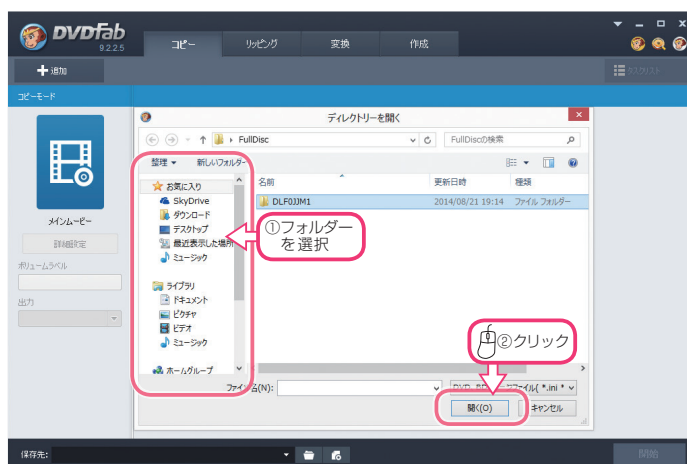
① バックアップしたフォルダーを参照する

「コピー」モードが選択されていることを確認し、「+追加」をクリックします。



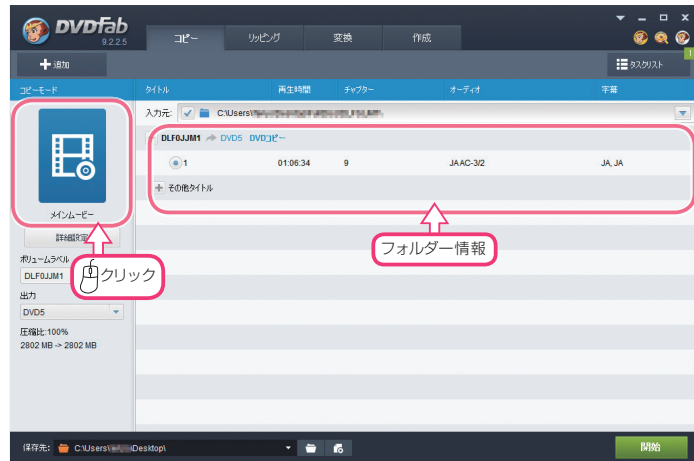
② バックアップしたフォルダーを指定する

バックアップしたフォルダーを選択し、「開く」をクリックします。



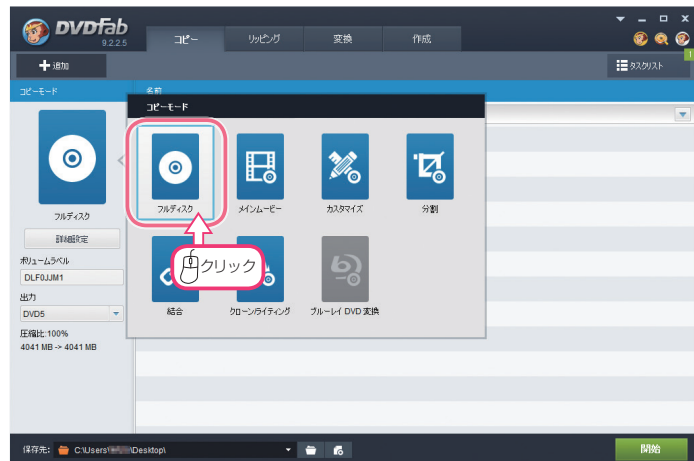
③ フォルダー情報を確認する

読み込まれたフォルダー情報が表示されていることを確認します。続けて、画面左上のファイルアイコンをクリックし、機能を変更します。



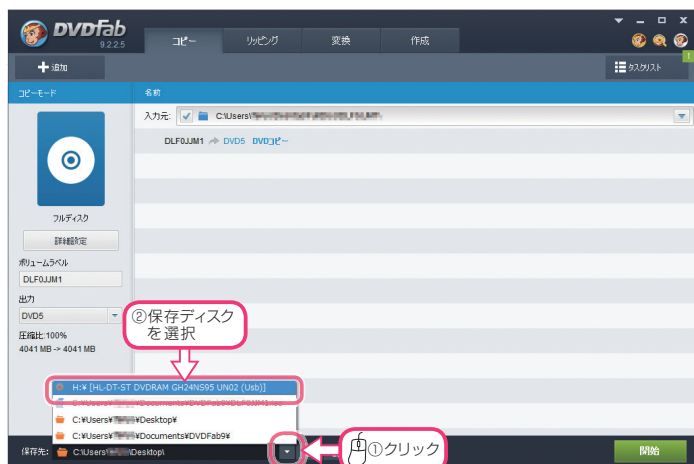
④ フルディスク機能を選択する

コピーモードでできる機能一覧が表示されますので、「フルディスク」を選択し、クリックします。



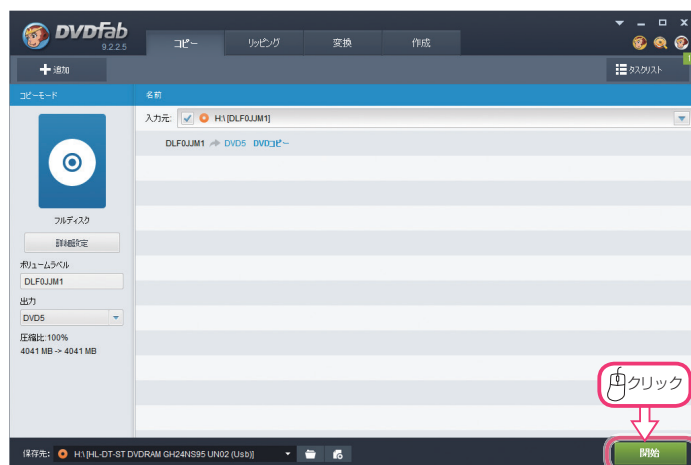
⑤ データの保存先を指定する

「保存先:」の右側にある「▼」をクリックすると使用しているドライブや保存場所のリストが表示されますので、その中から、書き込み可能なドライブを選択します。



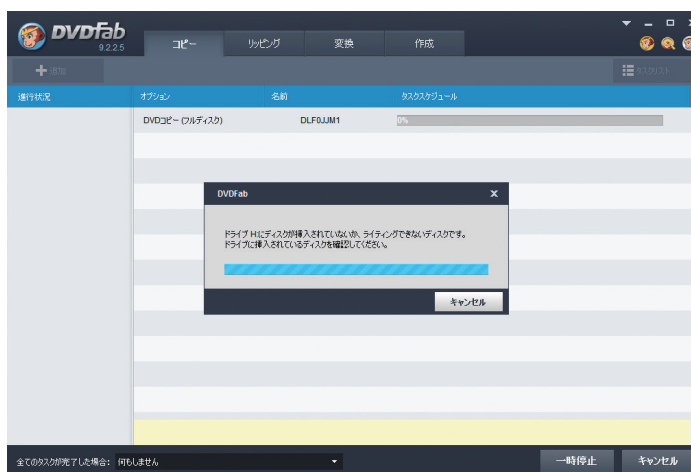
⑥ バックアップの準備

「開始」をクリックすると、ディスクのバックアップの準備が進行します。



⑦ 空のディスクを挿入する

ウィンドウがポップアップし、空のディスクを挿入する旨促されますので空のディスクをドライブに挿入します。



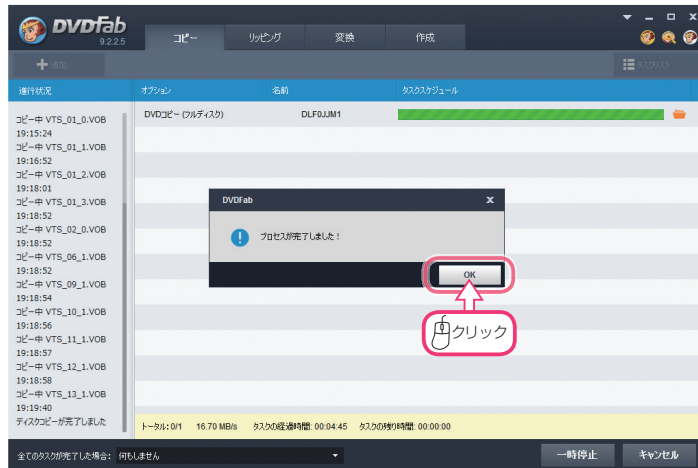
⑧ バックアップが開始される

ディスクのバックアップが開始され、画面上に進行状況が表示されます。



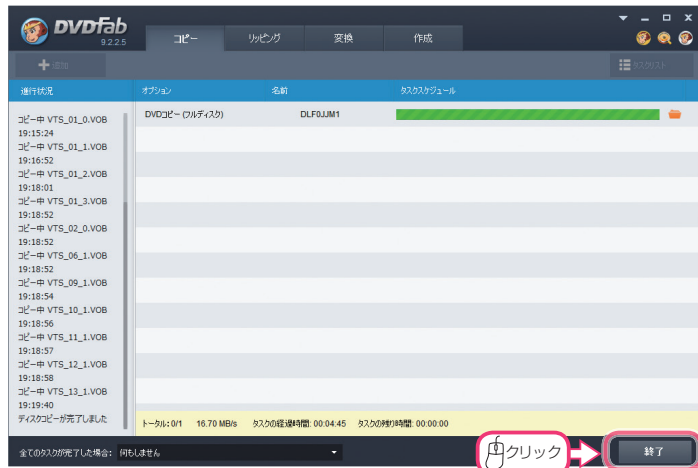
⑨ 作業が完了する

バックアップが成功するとウィンドウがポップアップし、「プロセスが完了しました!」と表示されますので「OK」をクリックします。



⑩ バックアップを終了

「終了」をクリックしてバックアップを終了します。



Chapter

1-2

「メインムービー」でDVD/BDをバックアップする

作成したディスクによっては、様々な映像や情報が含まれている場合があります。このようなディスクをバックアップする場合、本当に必要な映像だけを選択してバックアップすることができます。

メインムービー機能を使えば、本当に必要なメインムービーだけを指定することで、余分な映像や情報の分だけバックアップデータの容量を軽減することができます。しかも、ディスクの構成がわからない場合でも、DVDFab6が自動でメインムービーを指定してくれるので便利な機能です。

この機能は、二層式のディスクを一層式のディスクにバックアップするときに、メインムービーだけを指定することで、画質の劣化を最小限に抑えることが可能になる点で優れています。



● メインメニュー

4つのモードから使用したいモードを選択します。

● 項目名表示

メイン画面に表示される設定項目名が表示されます。

● コピーモード

選択した機能名が表示されます。アイコンをクリックすることで機能を変更できます。

● 入力元

BD/DVDドライブを指定します。パソコンに保存してあるBD/DVDフォルダやISOファイルも指定することも可能です。

● 出力

DVDの場合は、「DVD9」、「DVD5」を選択できます。Blu-rayの場合は、「BD50」、「BD25」を選択できます。選択内容に応じて、圧縮比とファイルサイズが表示されます。

● メインウィンドウ

BD/DVDのタイトル一覧が表示され、バックアップするタイトルなどの設定が行えます。

● 保存先

右側にある「▼」をクリックすると使用しているドライブや保存場所のリストが表示され、選択できます。

1 DVDフォルダーとしてバックアップする

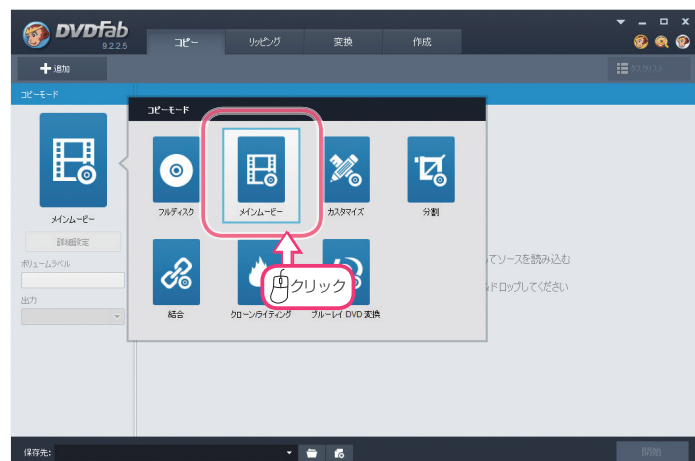
① プログラムを起動する

DVDFab6 を起動させます。



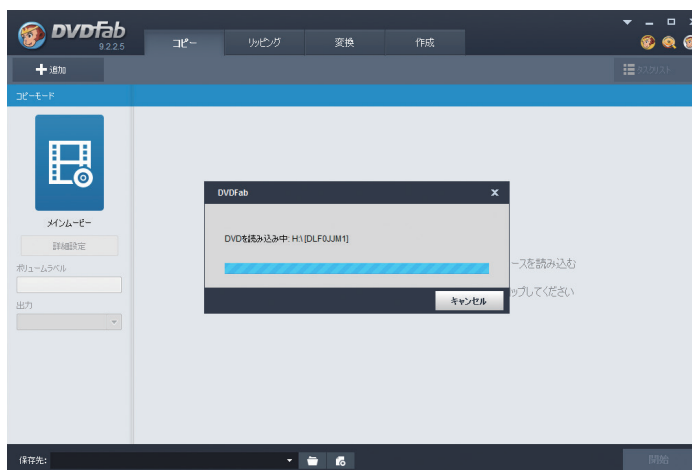
② メインムービー機能を選択する

画面左上のファイルアイコンをクリックすると、コピーモードでできる機能一覧が表示されますので、「メインムービー」を選択し、クリックします。



③ バックアップしたいディスクを認識させる

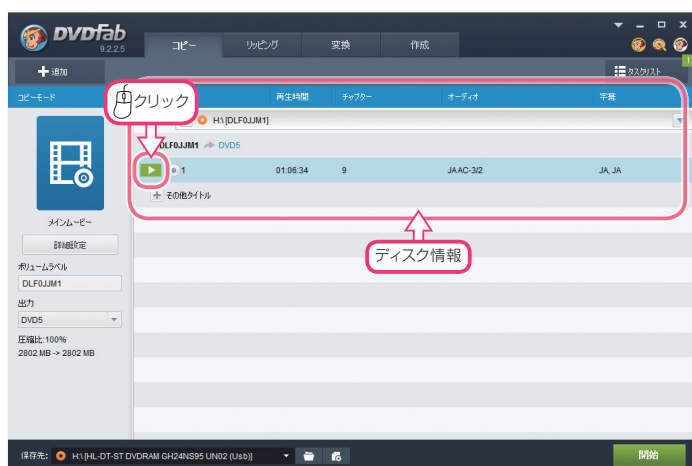
バックアップしたいBD/DVDを挿入すると、自動で情報が読み取られ、分析されます。読み込み中の間、ウィンドウが表示されますので、ウィンドウが自動で閉じるまで待ちます。ここでは、例としてDVDを挿入します。



④ ディスク情報を確認する

読み込まれたディスク情報が表示されていることを確認します。DVDfab6が自動でカスタマイズを認識しているため、メインムービーにチェックが入っていることが確認できます。

なお、「▶」をクリックすることで、プレビュー再生ができますので映像の内容が確認できます。



Hint

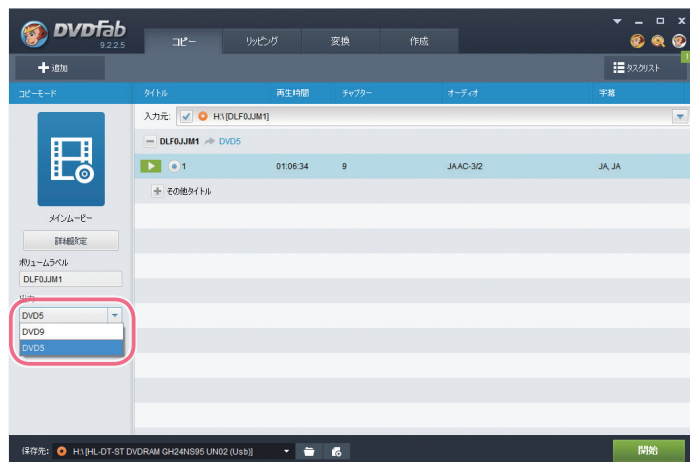
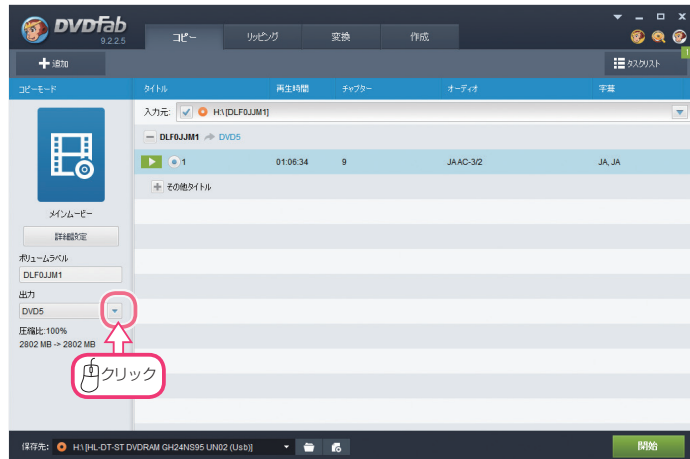
自動で指定されたものではない映像をメインムービーとして指定するには

「その他のタイトル」右側にある「+」をクリックすることで個別のタイトル一覧が表示されますので、任意のタイトルを指定しましょう。ただし、メインムービー機能では、タイトルを1つしか指定できません。複数のタイトルを指定するなど細かな設定を行いたい場合は、「カスタマイズ」機能 (P25 参照) を使用します。



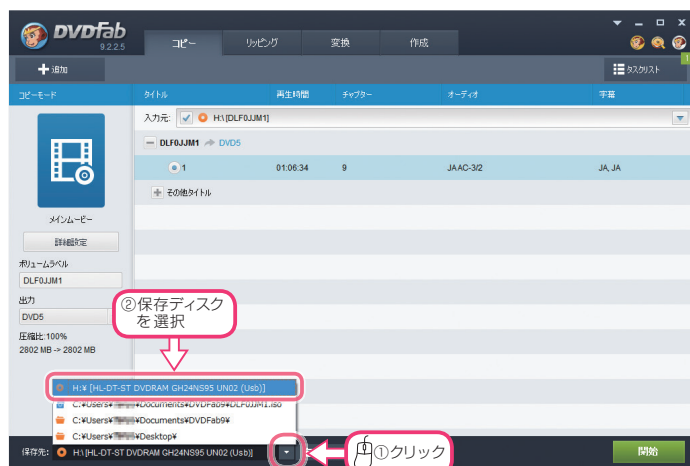
⑤ 出力ディスクサイズを選択する

二層式のディスクでメインムービーのみを指定した結果、一層式のディスクにデータが収まる場合がありますので、この場合は、「出力」の右側にある「▼」をクリックして、ディスクサイズを選択できます。



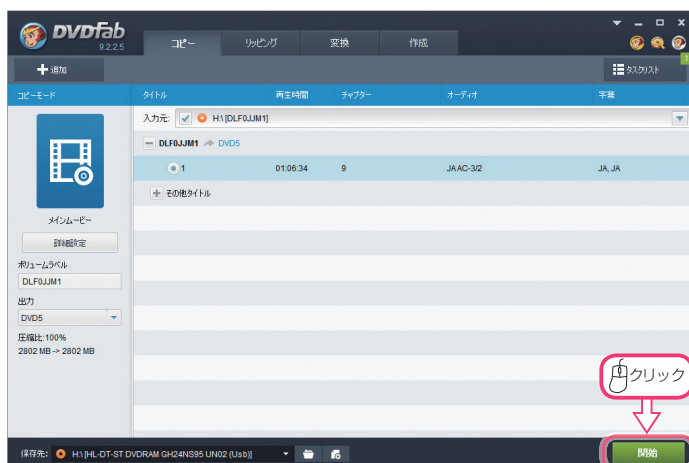
⑥ データの保存先を指定する

「保存先:」の右側にある「▼」をクリックすると使用しているドライブや保存場所のリストが表示されますので、その中から、書き込み可能なドライブを選択します。



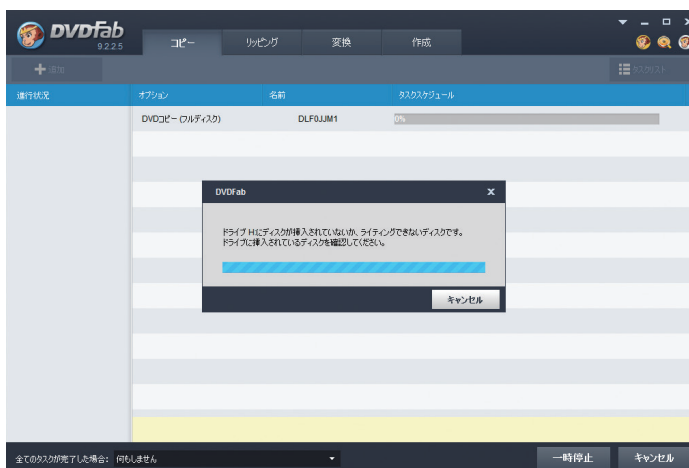
⑥ バックアップの準備

「開始」をクリックすると、ディスクのバックアップの準備が進行します。



⑦ 空のディスクを挿入する

ウィンドウがポップアップし、空のディスクを挿入する旨促されますので空のディスクをドライブに挿入します。



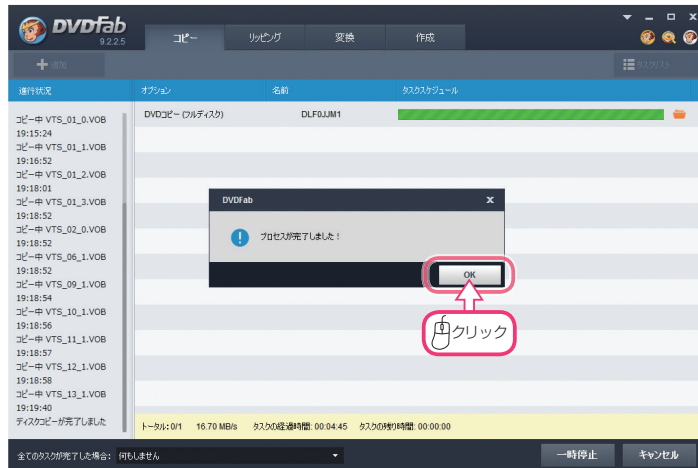
⑧ バックアップが開始される

ディスクのバックアップが開始され、画面上に進行状況が表示されます。



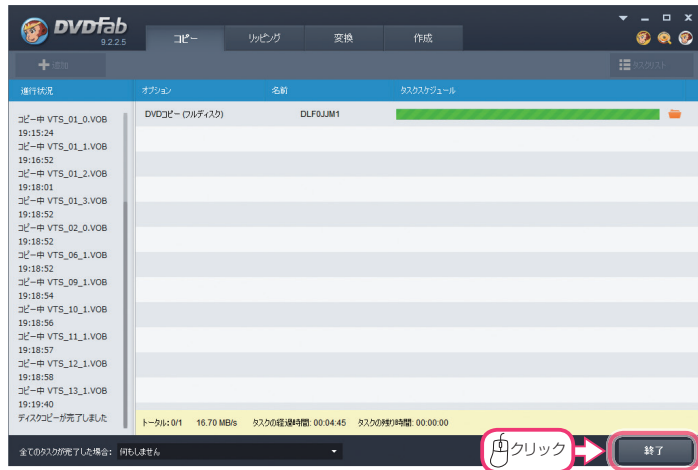
⑨ 作業が完了する

バックアップが成功するとウィンドウがポップアップし、「プロセスが完了しました!」と表示されますので「OK」をクリックします。



⑩ バックアップを終了

「終了」をクリックしてバックアップを終了します。



Chapter

1-3

「カスタマイズ」で DVD/BD をバックアップする

バックアップしたいディスクのすべての情報から必要な情報を取捨選択することができるのが、「カスタマイズ」機能です。

作成したディスクによっては、複数の映像、音声、字幕などのデータで構成されている場合があります。「カスタマイズ」機能を使うことで、「タイトル」、「チャプター」、「音声」、「字幕」の項目ごとに任意のデータのみをバックアップすることができます。

二層式のディスクを一層式のディスクにバックアップするとき、バックアップデータを減らすことで、画質の劣化を最小限に抑えることが可能になる点が優れています。



● メインメニュー

4つのモードから使用したいモードを選択します。

● 項目名表示

メイン画面に表示される設定項目名が表示されます。

● コピーモード

選択した機能名が表示されます。アイコンをクリックすることで機能を変更できます。

● 入力元

BD/DVDドライブを指定します。パソコンに保存してあるBD/DVDフォルダーやISOファイルを指定することも可能です。

● 出力

DVDの場合は、「DVD9」、「DVD5」を選択できます。Blu-rayの場合は、「BD50」、「BD25」を選択できます。選択内容に応じて、圧縮比とファイルサイズが表示されます。

● メインウィンドウ

BD/DVDのタイトル一覧が表示され、バックアップするタイトルなどの設定が行えます。

● タイトル

「タイトル」、「再生時間」、「チャプター」、「オーディオ」、「字幕」の状況が表示されます。「カスタマイズ」機能では、これらの項目を編集します。

● 保存先

右側にある「▼」をクリックすると使用しているドライブや保存場所のリストが表示され、選択できます。

1 DVDフォルダーとしてバックアップする

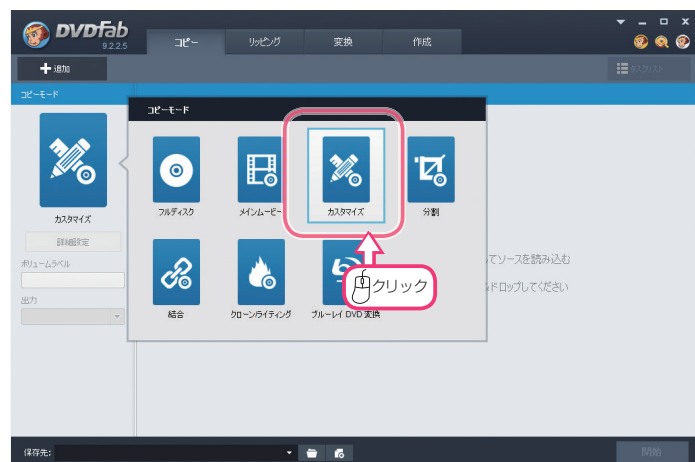
① プログラムを起動する

DVDFab6 を起動させます。



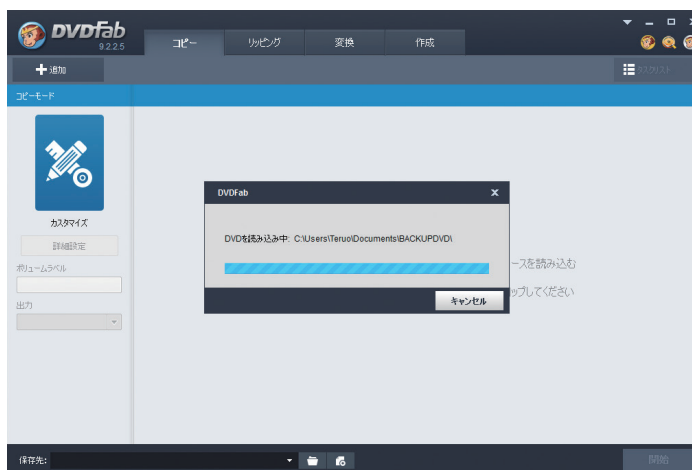
② カスタマイズ機能を選択する

画面左上のファイルアイコンをクリックすると、コピーモードでできる機能一覧が表示されますので、「カスタマイズ」を選択し、クリックします。



③ バックアップしたいディスクを認識させる

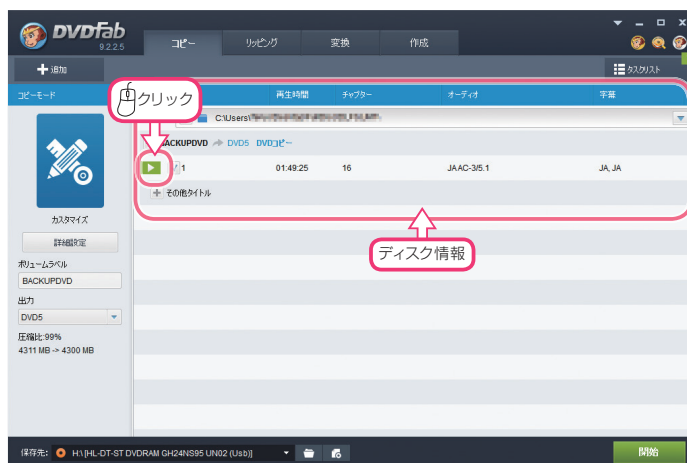
バックアップしたいBD/DVDを挿入すると、自動で情報が読み取られ、分析されます。読み込み中、ウィンドウが表示されますので、ウィンドウが自動で閉じるまで待ちます。ここでは、例としてDVDを挿入します。



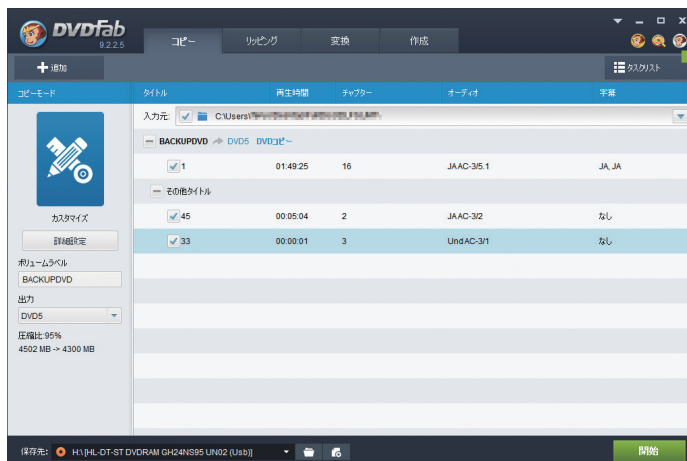
④ ディスク情報を確認する

読み込まれたディスク情報が表示されていることを確認します。DVDfab6が自動でカスタマイズを認識しているため、メインメニューにチェックが入っていることが確認できます。

なお、「▶」をクリックすることで、プレビュー再生ができますので映像の内容が確認できます。



さらに、「その他のタイトル」の右側にある「+」をクリックすることで個別のタイトル一覧を表示させることができます。



⑤ 必要な「タイトル」映像を選択する

標準では、メインタイトルと認識されたものにチェックが入った状態になります。二層式のディスクをバックアップする場合、「圧縮比」が限りなく100%（圧縮なし）に近づくようにタイトルを選択するとよいでしょう。ここでは、例としてタイトルをすべて選択した場合と、メインタイトルのみを選択した場合を比較してみます。圧縮比が、95%から99%に改善されています。



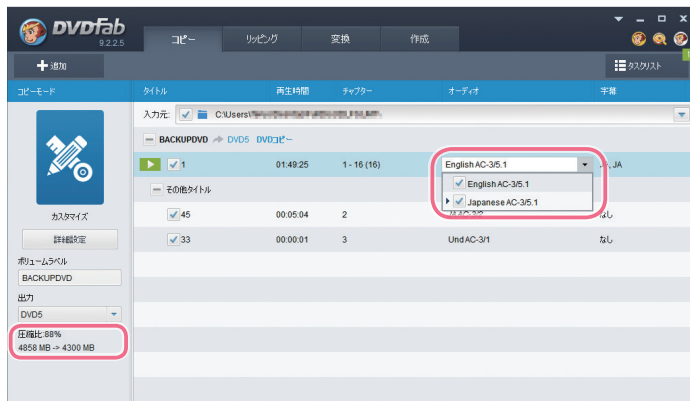
⑥ 必要な「チャプター」映像を選択する

標準では、すべてのチャプターが再生される設定になっています。開始チャプターと終了チャプターを指定できますので、必要に応じて再生範囲を絞ることができます。ここでは、例として終了チャプターを「16」から「15」にして「圧縮比」を比較してみます。圧縮比が、95%から100%になり、圧縮されないでバックアップできる状態になっています。



⑦ 必要な「オーディオ」ファイルを選択する

標準では、日本語の音声ファイルを認識します。ここでは、例として日本語と英語の音声ファイルを選択した場合と、日本語の音声ファイルを選択した場合を比較してみます。圧縮比が、88%から95%に改善されています。



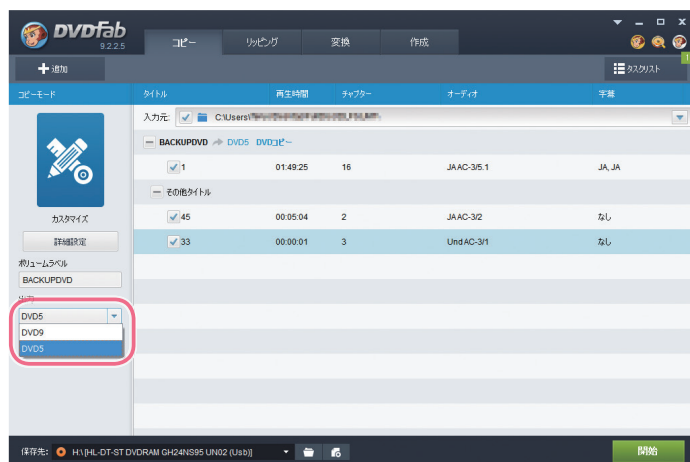
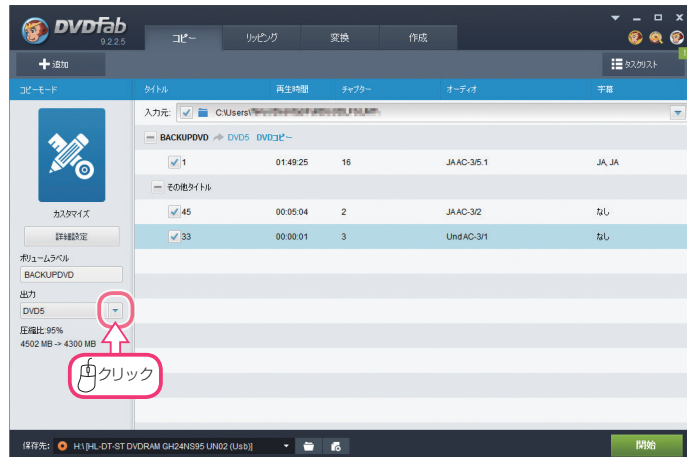
⑧ 必要な「字幕」データを選択する

標準では、日本語の字幕ファイルを認識します。ここでは、例としてすべての字幕ファイルを選択した場合と、字幕ファイルを選択しなかった場合を比較してみます。圧縮比に大きな影響を与えていないことが確認できます。



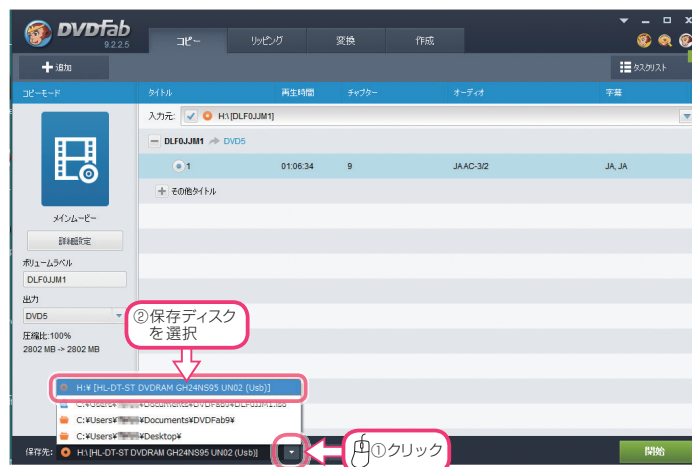
⑨ 出力ディスクサイズを選択する

二層式のディスクをカスタマイズして映像や情報を取捨選択した結果、一層式のディスクにデータが収まる場合は、「出力」の右側にある「▼」をクリックして、ディスクサイズを変更します。



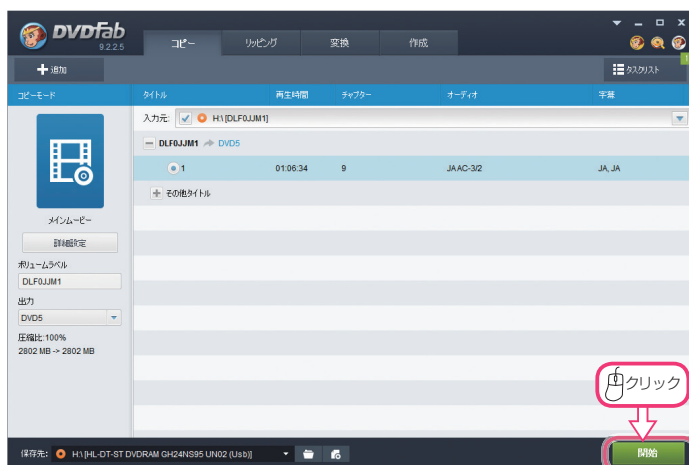
⑩ データの保存先を指定する

「保存先：」の右側にある「▼」をクリックすると使用しているドライブや保存場所のリストが表示されますので、その中から、書き込み可能なドライブを選択します。



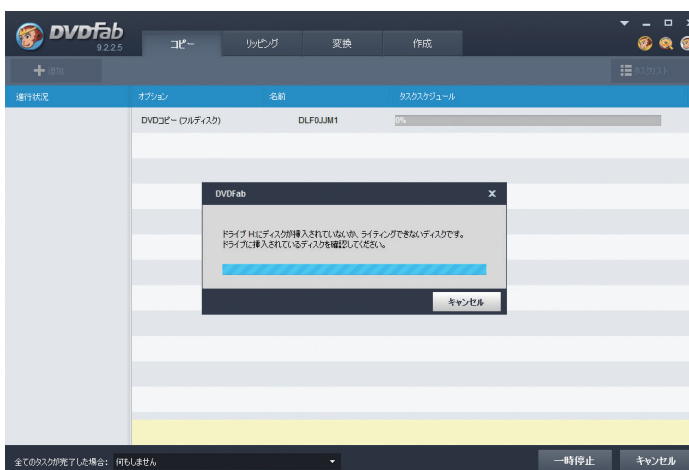
⑪ バックアップの準備

「開始」をクリックすると、ディスクのバックアップの準備が進行します。



⑫ 空のディスクを挿入する

ウィンドウがポップアップし、空のディスクを挿入する旨促されますので空のディスクをドライブに挿入します。



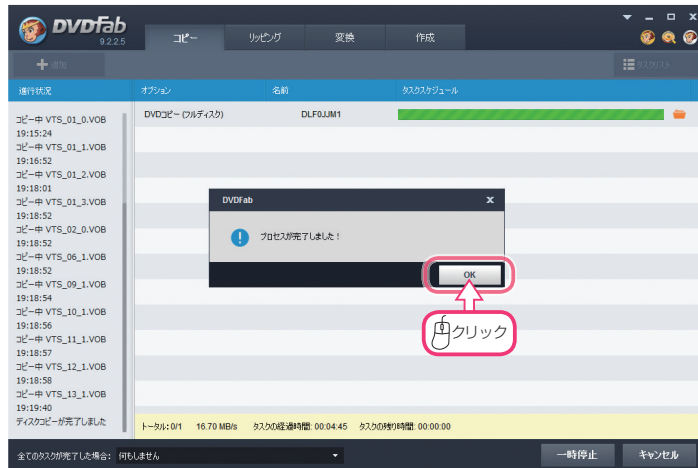
⑬ バックアップが開始される

ディスクのバックアップが開始され、画面上に進行状況が表示されます。



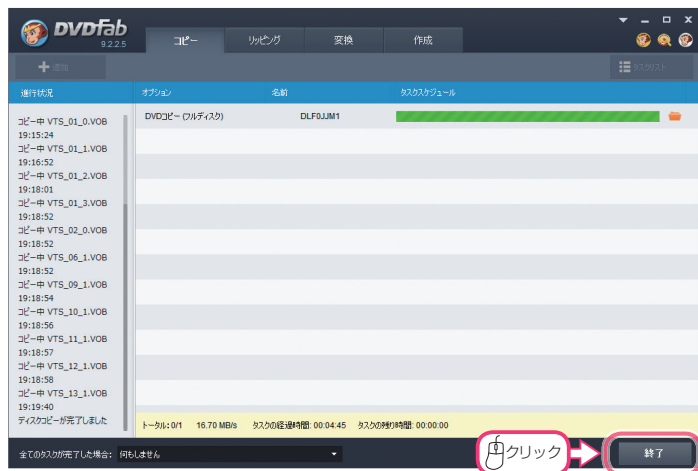
⑭ 作業が完了する

バックアップが成功するとウィンドウがポップアップし、「プロセスが完了しました!」と表示されますので「OK」をクリックします。



⑮ バックアップを終了させる

「終了」をクリックしてバックアップを終了します。



Chapter

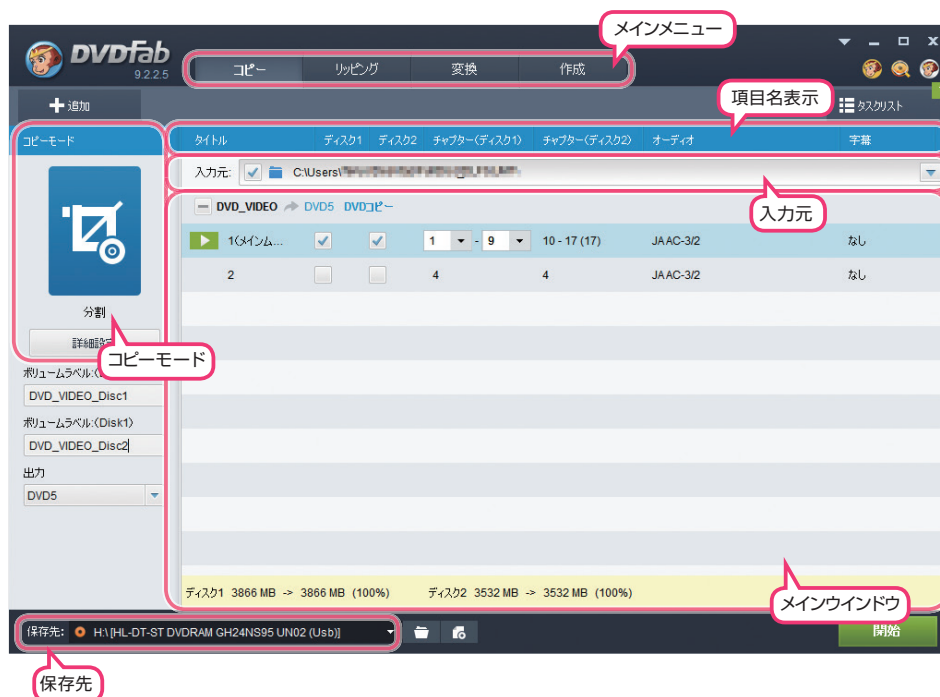
1-4

「分割」機能で二層式DVDを一層式DVD2枚にバックアップする

二層式のディスクの書き込みができないパソコン環境の場合、一層式のディスクに分割してバックアップすることができます。

分割機能を使えば、大容量である二層式のディスクを、一層式のディスク2枚に分割して保存することができます。これは、二層式のディスクが書き込みできないドライブを使用している場合に便利な機能です。

もちろん、分割バックアップ時には、カスタマイズ機能同様に、不要な情報を削減して映像の画質の劣化を最小限に抑えることもできます。



● メインメニュー

4つのモードから使用したいモードを選択します。

● 項目名表示

メイン画面に表示される設定項目名が表示されます。

● コピーモード

選択した機能名が表示されます。アイコンをクリックすることで機能を変更できます。

● 入力元

BD/DVDドライブを指定します。パソコンに保存してあるBD/DVDフォルダーやISOファイルを指定することも可能です。

● メインウインドウ

BD/DVDのタイトル一覧が表示され、バックアップするタイトルなどの設定が行えます。

● 保存先

右側にある「▼」をクリックすると使用しているドライブや保存場所のリストが表示され、選択できます。

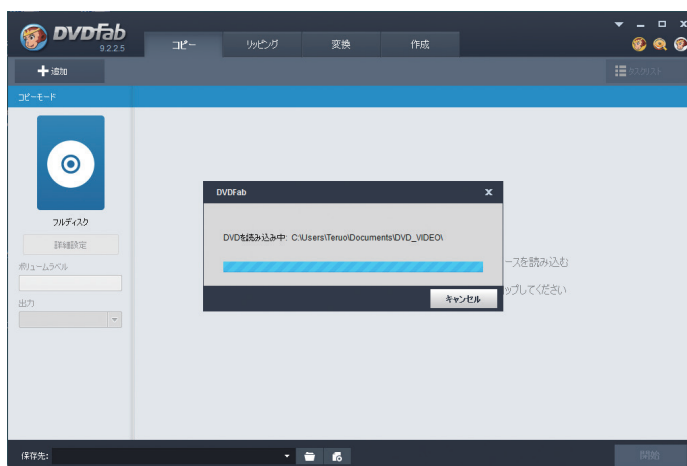
① プログラムを起動する

DVDFab6 を起動させます。



② 分割したいディスクを認識させる

分割したいBD/DVDを挿入すると、自動で情報が読み取られ、分析されます。読み込み中、ウィンドウが表示されていますので、ウィンドウが自動で閉じるまで待ちます。ここでは、例としてパソコン上に保存されているDVDフォルダーを認識させます。

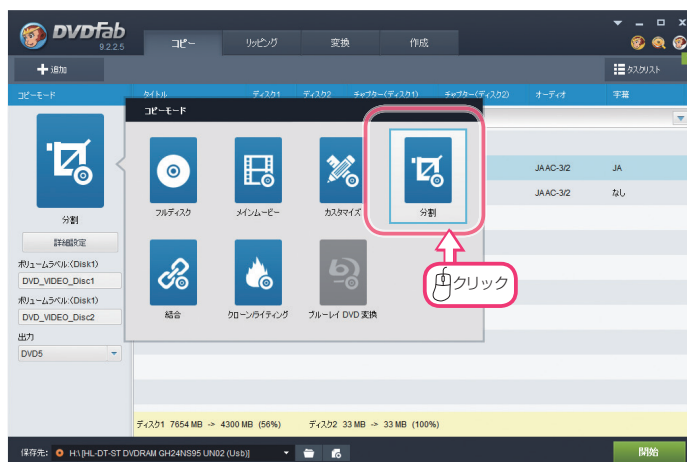


③ 分割機能を選択する

画面左上のファイルアイコンをクリックすると、コピーモードでできる機能一覧が表示されます。



「分割」を選択し、クリックします。



④ ディスク情報を確認する

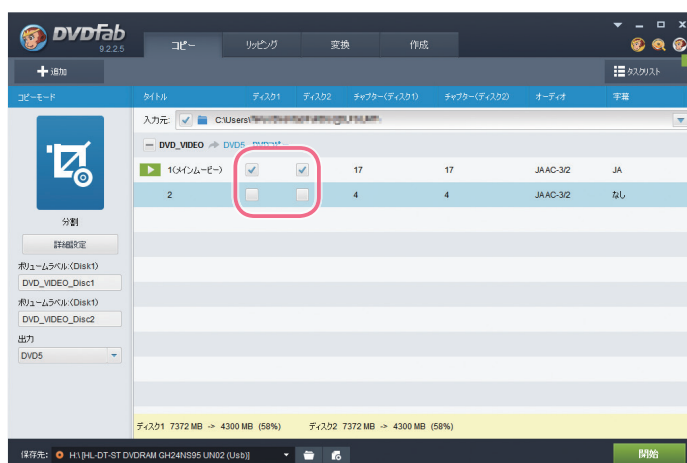
読み込まれたディスク情報が表示されていることを確認します。DVDfab6 が自動で2つのディスクへの割り振りをしており、チェックが入っている部分などが確認できます。現状での振り分け内容が画面下部のステータスバーで確認できます。

現状では、「ディスク1」に映像を圧縮し（元映像の56%程度に圧縮しているということ）、さらにほとんどのデータを分配している一方、「ディスク2」への分配データ容量が過少であることがわかります。下記操作にて、2つのディスクへのバランス良いデータ分配を設定します。



⑤ 2つのディスクへの配分を設定する

メインムービーの「ディスク2」にチェックが入っていないので、チェックを入れます。これにより、メインムービーを2つのディスクに分割する指示を与えたこととなります。反対に、メインムービーではないタイトルにチェックが入っていますので、チェックを外します。



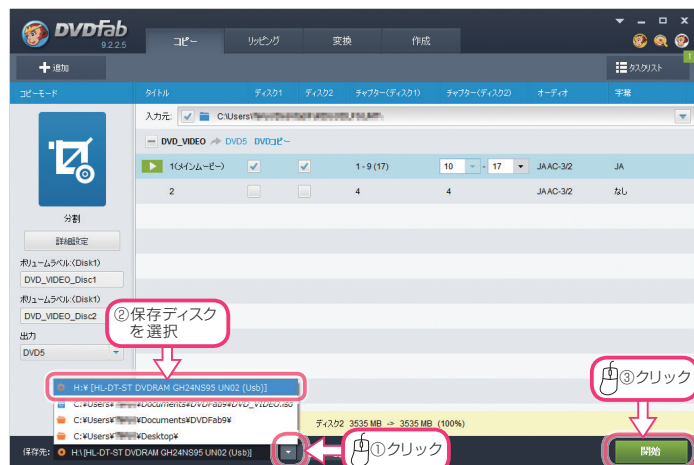
⑥ 2つのディスクへ配分するチャプター設定をする

メインムービーの「チャプター（ディスク1）」に該当する項目にマウスオーバーさせると、チャプターの指定が可能になります。ここでは、例として開始チャプターを「1」とし、終了チャプターを「9」と設定します。同様に、「チャプター（ディスク2）」では、開始チャプターを「10」とし、終了チャプターを「17」と設定します。この設定により、画面下部のステータスバーで2つのディスクそれぞれの圧縮率が100%になっていることが確認できます（映像の圧縮は行われないことを意味します）。



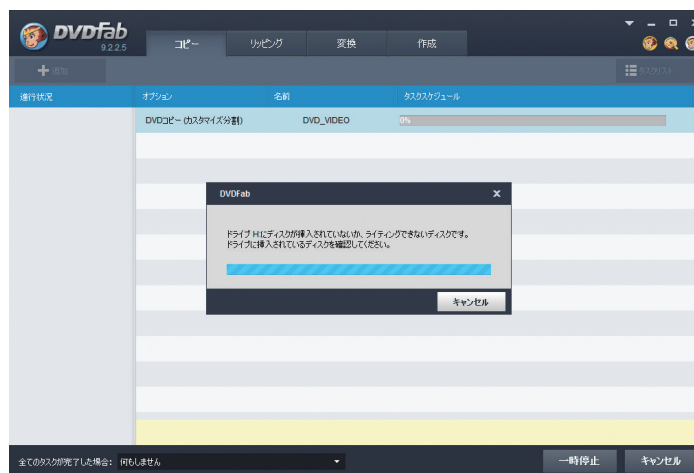
⑦ データの保存先を指定する

「保存先：」の右側にある「▼」をクリックすると使用しているドライブや保存場所のリストが表示されますので、その中から、書き込み可能なドライブを選択します。続けて、「開始」をクリックします。



⑧ 空のディスクを挿入する

ウィンドウがポップアップし、空のディスクを挿入する旨促されますので1枚目の空のディスクをドライブに挿入します。



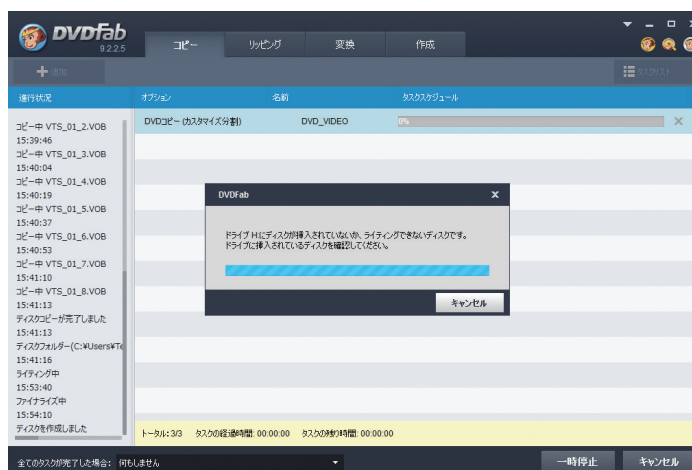
⑨ 書き込みが開始される

ディスクのバックアップが開始され、画面上に進行状況が表示されます。



⑩ 空のディスクを挿入する

ウィンドウがポップアップし、空のディスクを挿入する旨促されますので2枚目の空のディスクをドライブに挿入します。



⑪ 書き込みが開始される

ディスクのバックアップが開始され、画面上に進行状況が表示されます。



⑫ 作業が完了する

バックアップが成功するとウィンドウがポップアップし、「プロセスが完了しました!」と表示されますので「OK」をクリックします。



⑬ バックアップを終了させる

「終了」をクリックしてバックアップを終了します。なお、「リライティング」を選択すると、再度ディスク書き込みを行うことができます。



Chapter

1-5

「結合」機能で2枚のDVDを1枚のDVDにバックアップする

2枚のディスクを1枚のディスクに結合してバックアップすることができるのが「結合」機能です。

分割機能で分割してバックアップしたディスクの場合や、事前に複数のディスクに分けて保存していた場合などで、2枚のディスクを1枚のディスクとして保存することができます。分割機能のパソコン環境とは逆に、二層式のディスクが書き込める環境がないと映像の画質を維持したバックアップは困難になります。画質にこだわらず、単に複数のディスクをまとめていきたい場合などに活用できます。

※本機能を使用するには、DVDを読み込む際に、2つのドライブが必要になります。



● メインメニュー

4つのモードから使用したいモードを選択します。

● 項目名表示

メイン画面に表示される設定項目名が表示されます。

● コピーモード

選択した機能名が表示されます。アイコンをクリックすることで機能を変更できます。

● 入力元

BD/DVDドライブを指定します。パソコンに保存してあるBD/DVDフォルダーやISOファイルを指定することも可能です。

● 出力

DVDの場合は、「DVD9」、「DVD5」を選択できます。Blu-rayの場合は、「BD50」、「BD25」を選択できます。選択内容に応じて、圧縮比とファイルサイズが表示されます。

● メインウィンドウ

BD/DVDのタイトル一覧が表示され、バックアップするタイトルなどの設定が行えます。

● 保存先

右側にある「▼」をクリックすると使用しているドライブや保存場所のリストが表示され、選択できます。

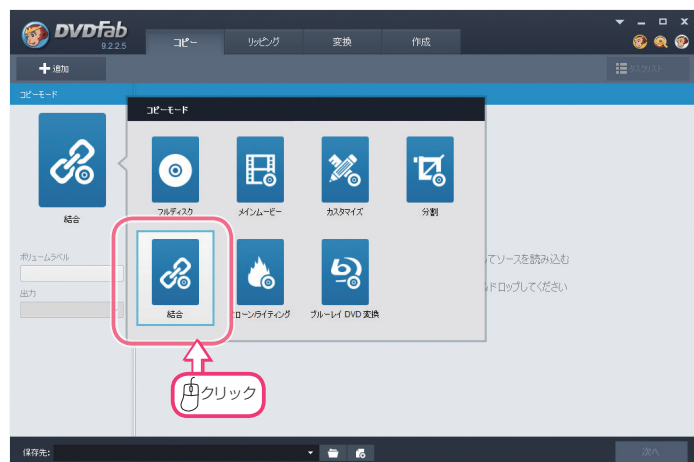
① プログラムを起動する

DVDFab6 を起動させます。



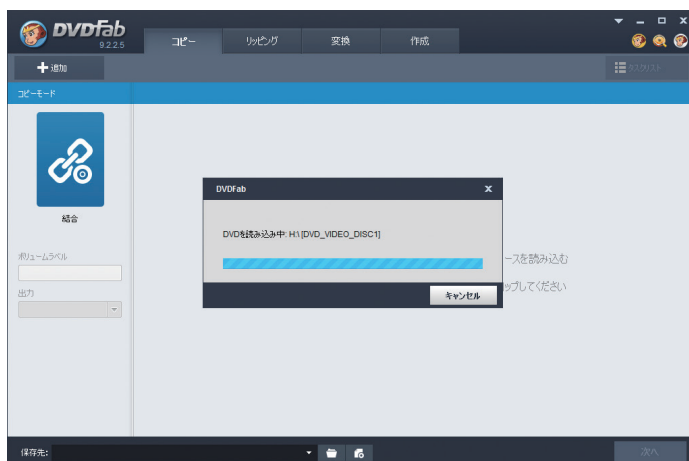
② 分割機能を選択する

画面左上のファイルアイコンをクリックすると、コピーモードでできる機能一覧が表示されますので、「結合」を選択し、クリックします。



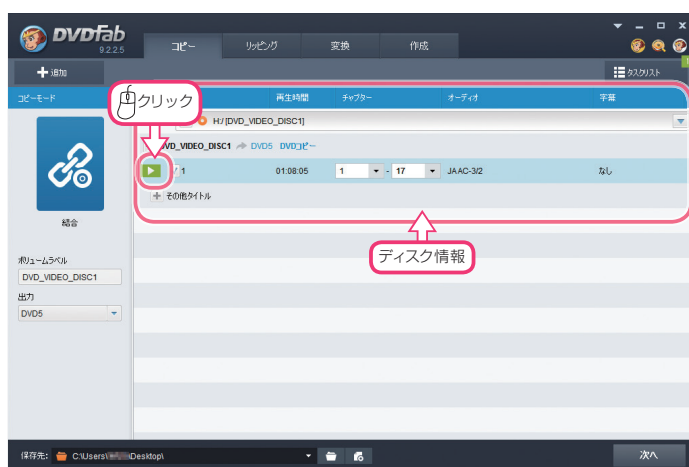
③ 結合させたいディスクを認識させる

結合させたいDVDを挿入すると、自動で情報が読み取られ、分析されます。読み込み中、ウィンドウが表示されていますので、ウィンドウが自動で閉じるまで待ちます。ここでは、例としてDVDを使用し、認識させます。

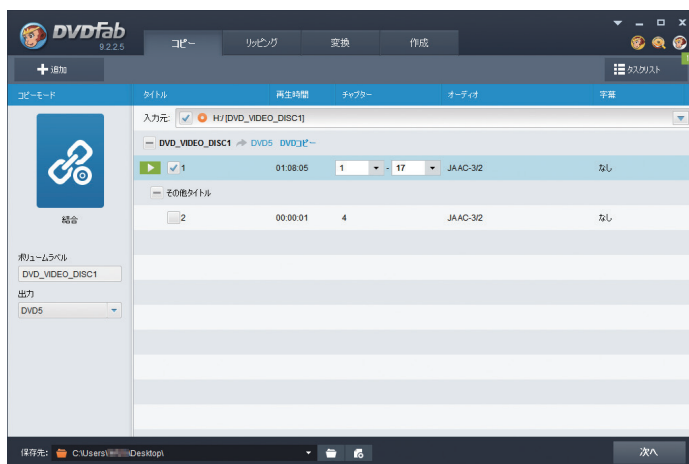


④ ディスク情報を確認する

読み込まれたディスク情報が表示されていることを確認します。DVDfab6が自動で結合を認識しているため、メインメニューにチェックが入っていることが確認できます。なお、「▶」をクリックすることで、プレビュー再生ができますので映像の内容が確認できます。



さらに、「その他のタイトル」右側にある「+」をクリックすることで個別のタイトル一覧を表示させることができます。また、カスタマイズ機能同様、「タイトル」、「チャプター」、「オーディオ」、「字幕」などの設定ができ、情報の取捨選択が可能です。



⑤ バックアップの準備

「開始」をクリックすると、ディスクのバックアップの準備が進行します。



⑥ バックアップが開始される

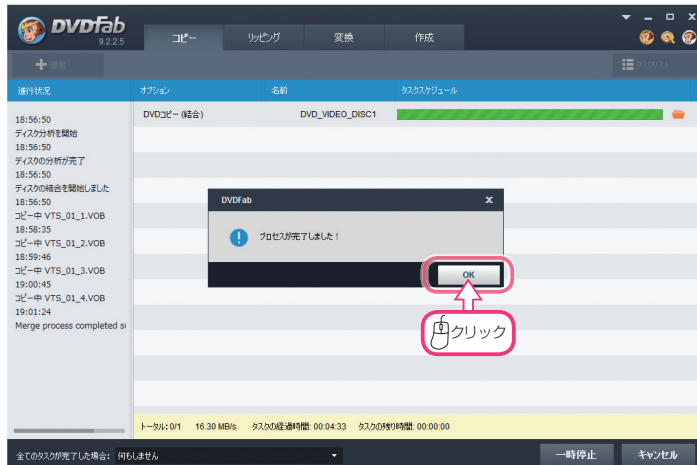
ディスクのバックアップの準備として、パソコン上に一時ファイルの作成が開始されます。



⑦ 結合の準備が完了する

バックアップが成功するとウィンドウがポップアップし、「プロセスが完了しました!」と表示されますので「OK」をクリックします。続けて、「終了」をクリックしてバックアップを一旦終了させます。

そして、結合させたい2枚目のディスクを用意し、上記①から⑥までの操作を繰り返すことで、パソコン上にDVDのバックアップフォルダを用意します。



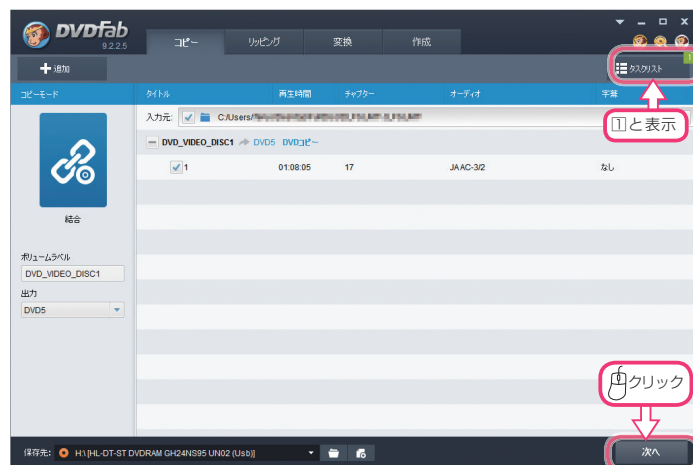
⑧ 1つめのDVDフォルダーを認識させる

DVDFab6 を起動させ、結合機能を選択した状態で、「+ 追加」をクリックし、パソコン上にバックアップした1つ目のDVDフォルダーを認識させます。



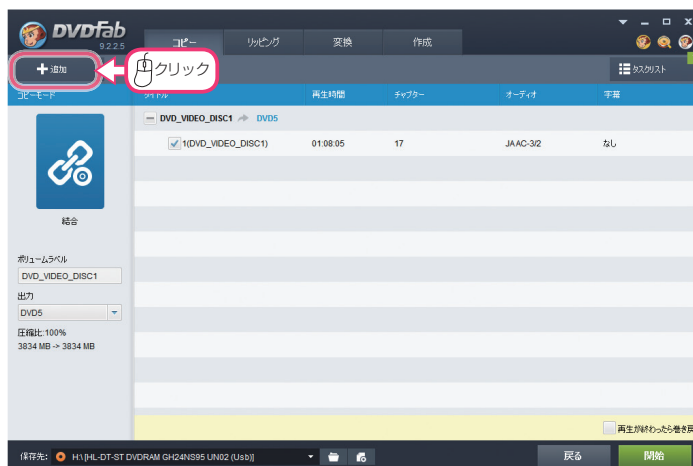
⑨ タスクリストを確認する

画面右上の「タスクリスト」に「1」と表示されていることを確認し、「次へ」をクリックします。



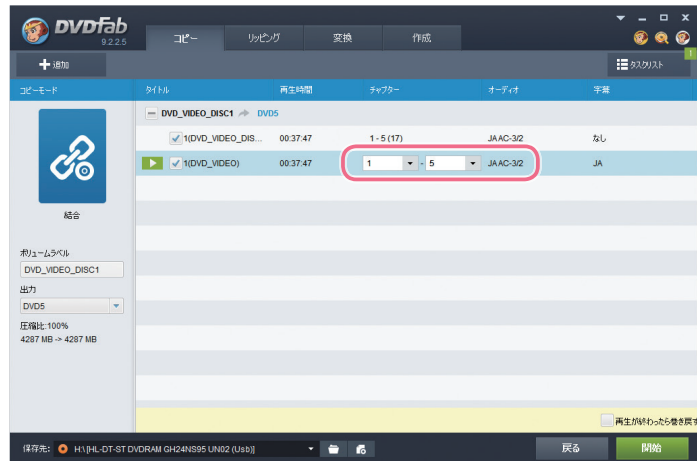
⑩ 2つめのDVDフォルダーを認識させる

さらに、「+ 追加」をクリックし、パソコン上にバックアップした2つ目のDVDフォルダーを認識させます。



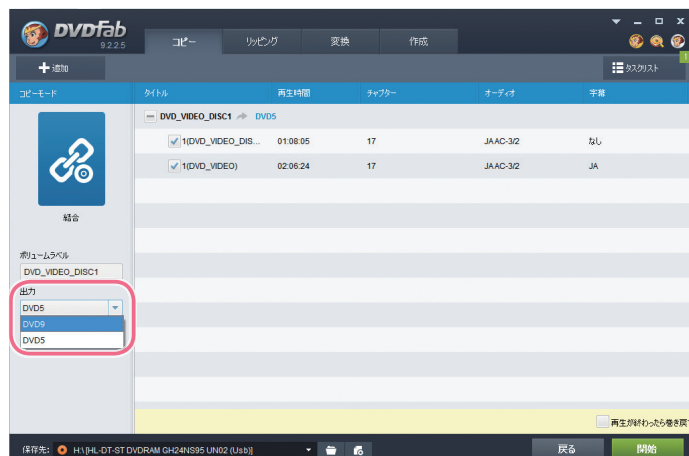
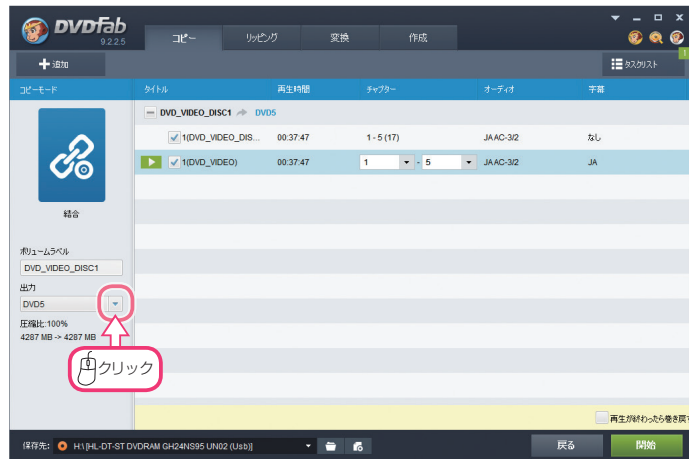
⑪ 結合させたディスクのデータ容量を調整する

カスタマイズ機能同様、「チャプター」、「オーディオ」、「字幕」などの設定ができ、情報の取捨選択が可能です。ここでは、例として、それぞれのチャプターの1-5までを選択し、圧縮率を100%に保たせました。



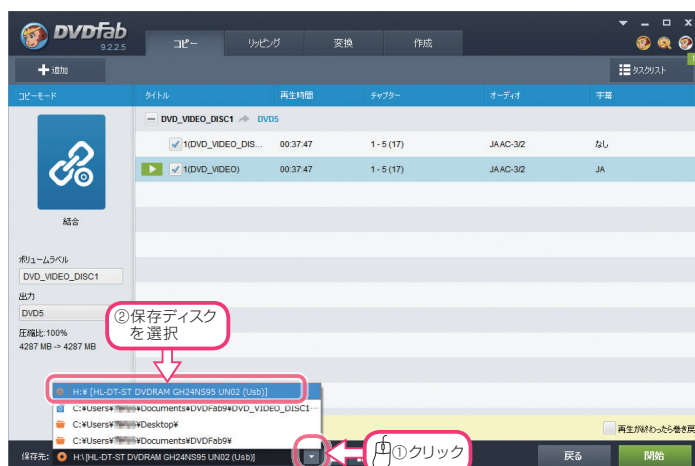
⑫ 出力ディスクサイズを選択する

もしくは、⑪のようにチャプターを絞らずに、予想される合計ファイルサイズや、圧縮率を考慮して二層式のディスクに変更します。この場合は、「出力」の右側にある「▼」をクリックして、ディスクサイズを変更します。



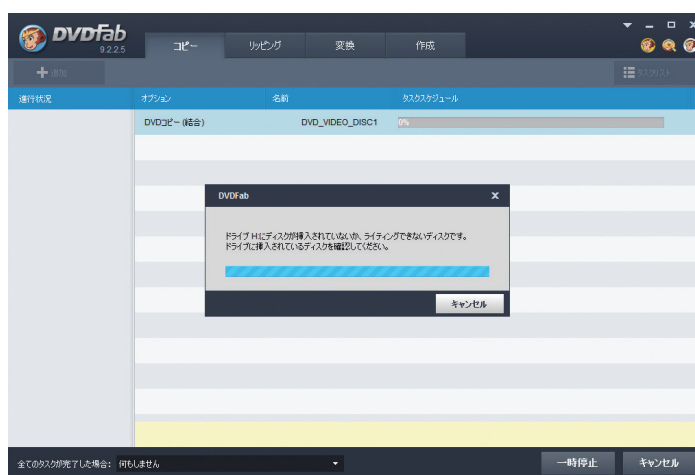
⑬ データの保存先を指定する

「保存先:」の右側にある「▼」をクリックすると使用しているドライブや保存場所のリストが表示されますので、その中から、書き込み可能なドライブを選択します。



⑭ 空のディスクを挿入する

ウィンドウがポップアップし、空のディスクを挿入する旨促されますので1枚目の空のディスクをドライブに挿入します。



⑮ 結合が開始される

結合が開始され、画面上に進行状況が表示されます。



⑩ 作業が完了する

結合が成功するとウィンドウがポップアップし、「プロセスが完了しました!」と表示されますので「OK」をクリックします。



⑪ 結合を終了させる

「終了」をクリックして結合を終了します。



Chapter

1-6

「クローン」でDVD/BDをバックアップする

「クローン」を使って、1:1の比例でDVD映画のクローンやDVD圧縮コピーを行うことができます。

クローン機能を使えば、DVD-9からDVD-9に、DVD-5からDVD-5に完璧に複製できます。更にDVD-9ディスクを1つのDVD-5に圧縮することもでき、素晴らしい出力画質も保ちます。



- **メインメニュー**

4つのモードから使用したいモードを選択します。

- **項目名表示**

メイン画面に表示される設定項目名が表示されます。

- **コピーモード**

選択した機能名が表示されます。アイコンをクリックすることで機能を変更できます。

- **入力元**

BD/DVDドライブを指定します。パソコンに保存してあるBD/DVDフォルダーやISOファイルを指定することも可能です。

- **メインウィンドウ**

BD/DVDのタイトル一覧が表示され、バックアップするタイトルなどの設定が行えます。

- **保存先**

右側にある「▼」をクリックすると使用しているドライブや保存場所のリストが表示され、選択できます。

1 DVDフォルダーとしてバックアップする

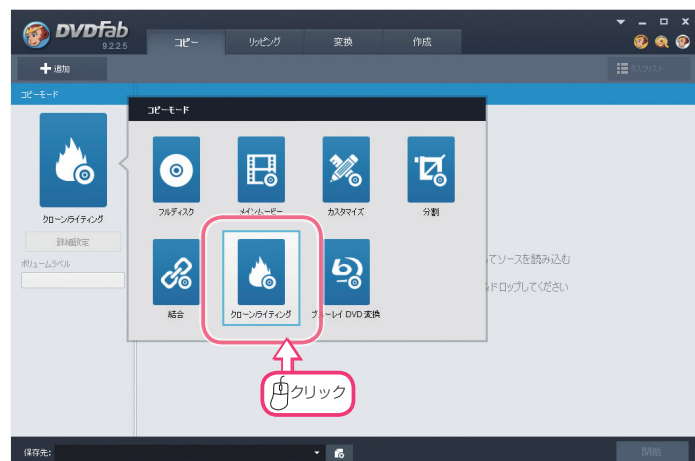
① プログラムを起動する

DVDFab6 を起動させます。



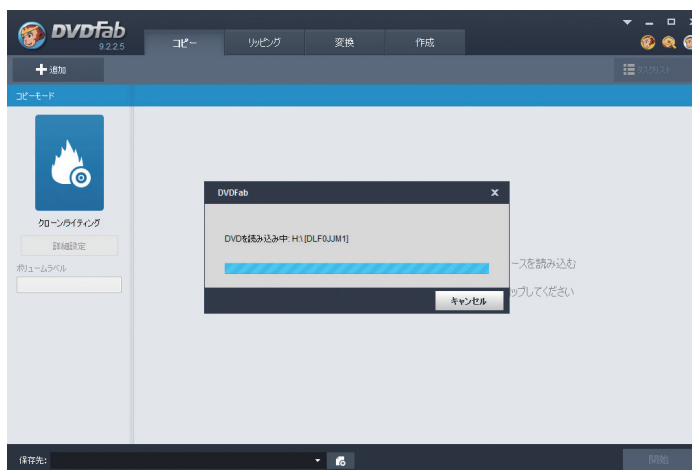
② クローン機能を選択する

画面左上のファイルアイコンをクリックすると、コピーモードでできる機能一覧が表示されますので、「クローン」を選択し、クリックします。



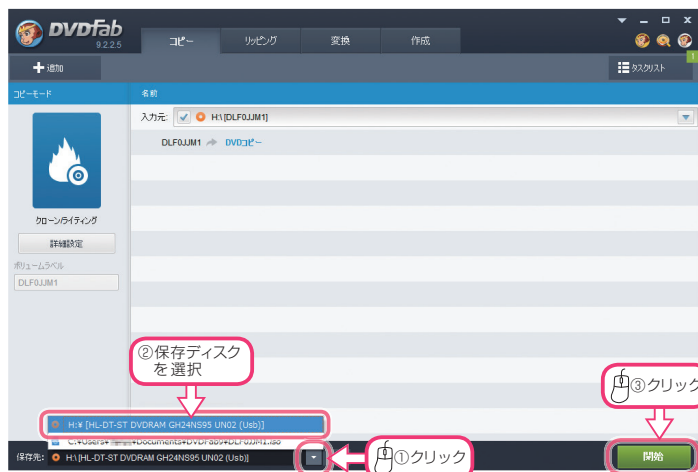
③ バックアップしたいディスクを認識させる

バックアップしたいBD/DVDを挿入すると、自動で情報が読み取られ、分析されます。読み込み中の間、ウィンドウが表示されますので、ウィンドウが自動で閉じるまで待ちます。ここでは、例としてDVDを挿入します。



④ データの保存先を指定する

「保存先:」の右側にある「▼」をクリックすると使用しているドライブや保存場所のリストが表示されますので、その中から、書き込み可能なドライブを選択します。続けて、「開始」をクリックします。

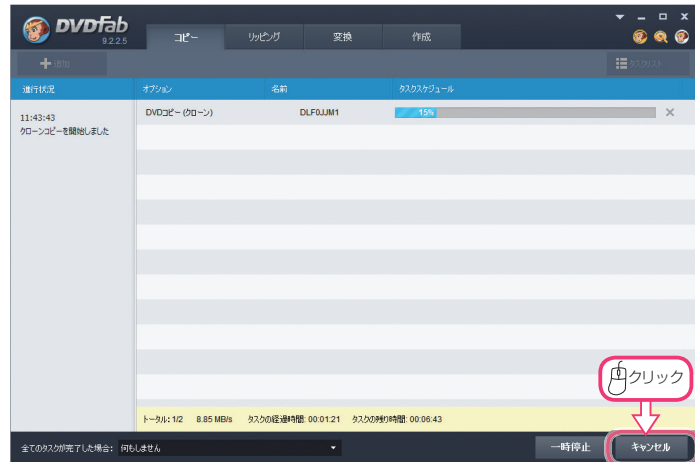


Hint

クローン機能では、同一ディスクを複製する機能なためカスタマイズが行えません。したがって、「項目名表示」なども行われず、「詳細設定」で行える操作も限られています。

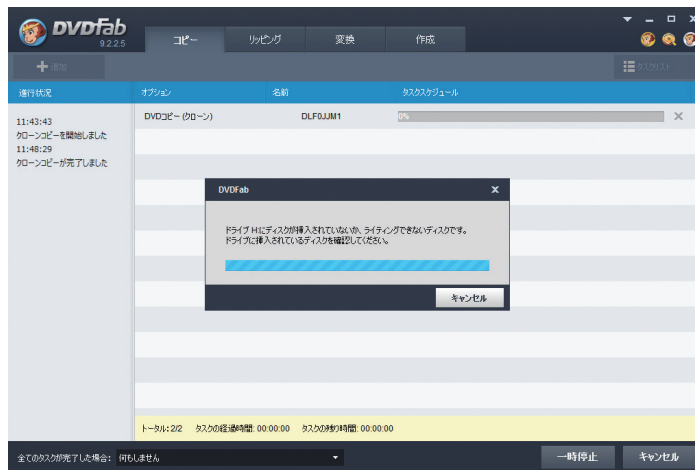
⑤ バックアップの準備

ディスクのバックアップの準備として、パソコン上に一時ファイルの作成が開始されます。



⑥ 空のディスクを挿入する

ウィンドウがポップアップし、空のディスクを挿入する旨促されますので空のディスクをドライブに挿入します。



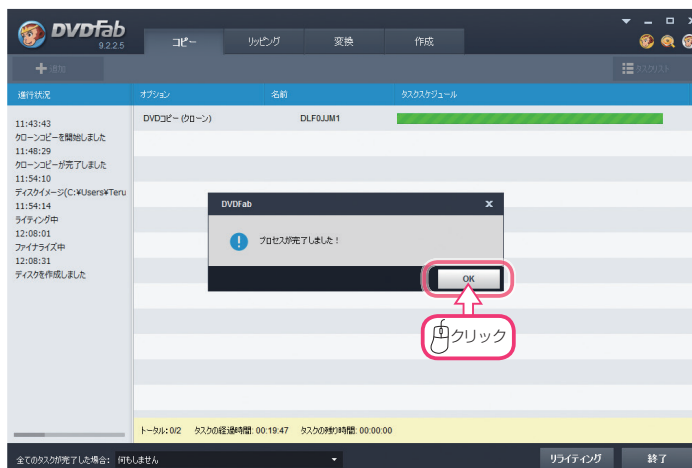
⑦ 書き込みが開始される

ディスクのバックアップが開始され、画面表示に進行状況が表示されます。



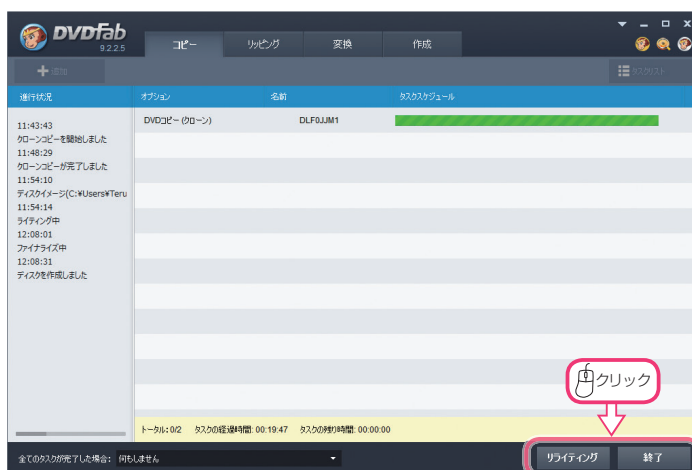
⑧ 作業が完了する

バックアップが成功するとウィンドウがポップアップし、「プロセスが完了しました!」と表示されますので「OK」をクリックします。



⑨ 書き込みを終了させる

「終了」をクリックしてバックアップを終了します。なお、「リライティング」を選択すると、再度ディスク書き込みを行うことができます。



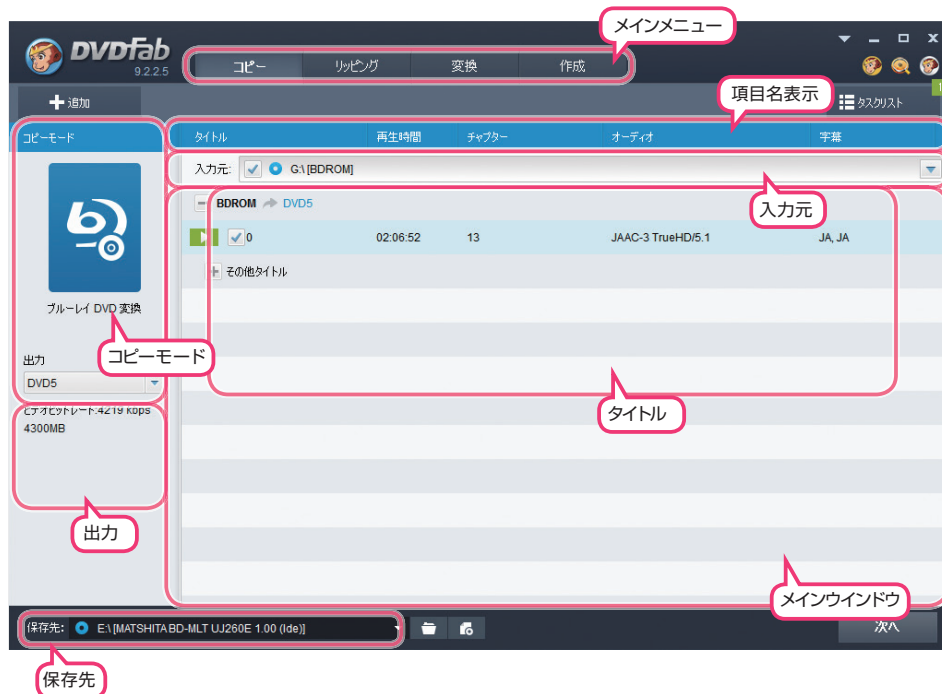
Chapter

1-7

「ブルーレイ DVD 変換」で BD を DVD にバックアップする

バックアップしたい BD から必要な情報を取捨選択して DVD にバックアップすることができるのが、「ブルーレイ DVD 変換」機能です。

作成したディスクによっては、複数の映像、音声、字幕などのデータで構成されている場合があります。「ブルーレイ DVD 変換」機能を使うことで、「タイトル」、「チャプター」、「音声」、「字幕」の項目ごとに任意のデータのみをバックアップすることもできます。BD を DVD にバックアップするときに、バックアップデータを減らすことで、画質の劣化を最小限に抑えることが可能です。



● メインメニュー

4 つのモードから使用したいモードを選択します。

● 項目名表示

メイン画面に表示される設定項目名が表示されます。

● コピーモード

選択した機能名が表示されます。アイコンをクリックすることで機能を変更できます。

● 入力元

BD/DVDドライブを指定します。パソコンに保存してある BD/DVD フォルダや ISO ファイルを指定することも可能です。

● 出力

DVD の場合は、「DVD9」、「DVD5」を選択できます。Blu-ray の場合は、「BD50」、「BD25」を選択できます。選択内容に応じて、圧縮比とファイルサイズが表示されます。

● メインウインドウ

BD/DVD のタイトル一覧が表示され、バックアップするタイトルなどの設定が行えます。

● タイトル

「タイトル」、「再生時間」、「チャプター」、「オーディオ」、「字幕」の状況が表示されます。「ブルーレイ DVD 変換」機能では、これらの項目を編集します。

● 保存先

右側にある「▼」をクリックすると使用しているドライブや保存場所のリストが表示され、選択できます。

1 DVDフォルダーとしてバックアップする

① プログラムを起動する

DVDFab6 を起動させます。



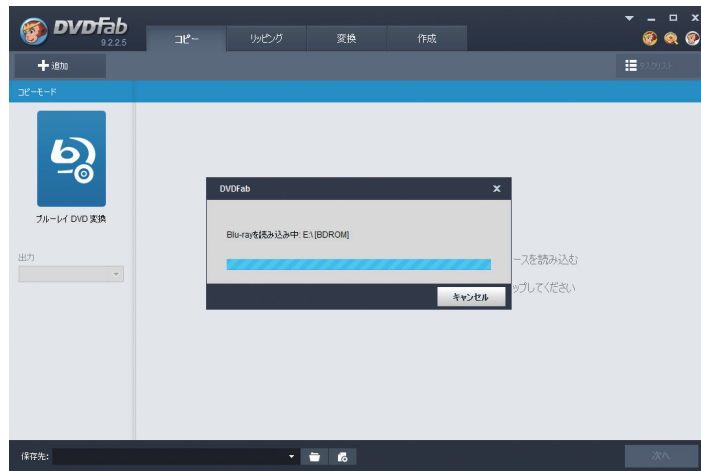
② ブルーレイ DVD変換機能を選択する

画面左上のファイルアイコンをクリックすると、コピーモードでできる機能一覧が表示されますので、「ブルーレイ DVD 変換」を選択し、クリックします。



③ バックアップしたいBDを認識させる

バックアップしたいBDを挿入すると、自動で情報が読み取られ、分析されます。読み込み中の間、ウィンドウが表示されていますので、ウィンドウが自動で閉じるまで待ちます。

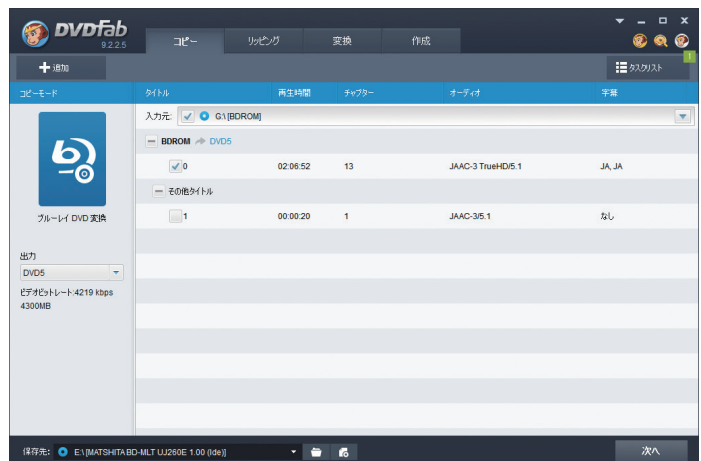


④ ディスク情報を確認する

読み込まれたディスク情報が表示されていることを確認します。DVDfab6が自動でメインムービーを認識しているのを、メインムービーにチェックが入っていることが確認できます。なお、「▶」をクリックすることで、プレビュー再生ができますので映像の内容が確認できます。



さらに、「その他のタイトル」の右側にある「+」をクリックすることで個別のタイトル一覧を表示させることができます。



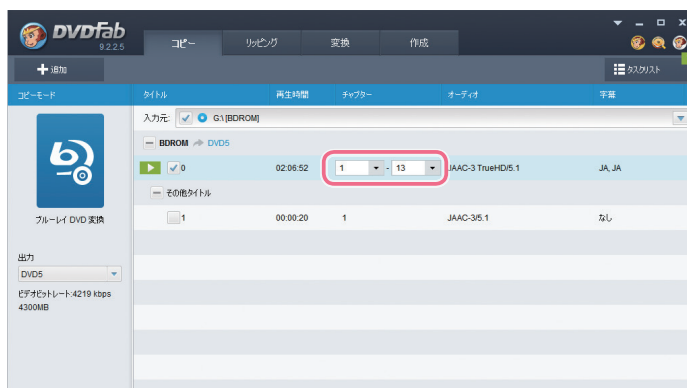
⑤ 必要な「タイトル」映像を選択する

標準では、メインタイトルと認識されたものにチェックが入った状態になります。BDとDVDでは容量が大幅にことなりますが、「圧縮比」が可能な限り100%（圧縮なし）に近づくようにタイトルを選択するとよいでしょう。



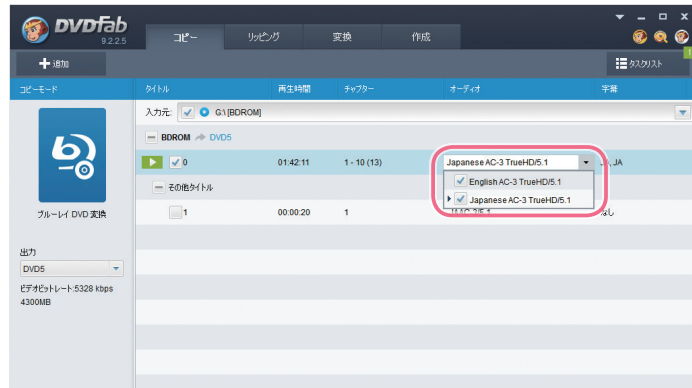
⑥ 必要な「チャプター」映像を選択する

標準では、すべてのチャプターが再生される設定になっています。開始チャプターと終了チャプターを指定できますので、必要に応じて再生範囲を絞ることができます。



⑦ 必要な「オーディオ」ファイルを選択する

標準では、日本語の音声ファイルを認識します。



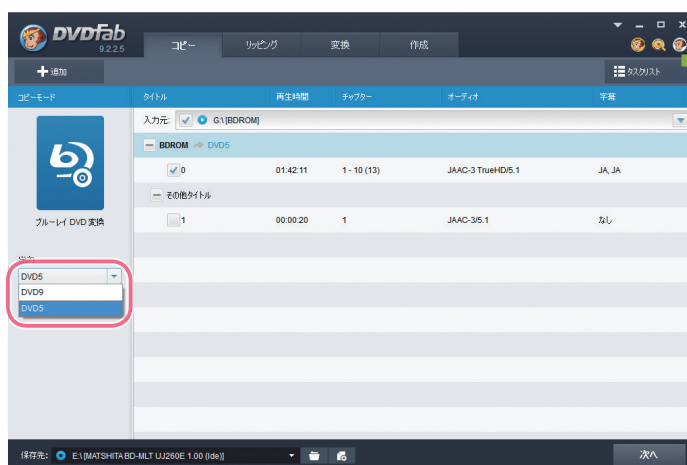
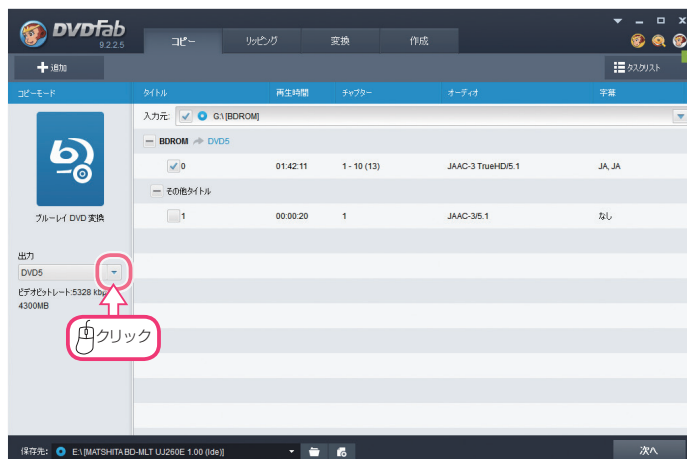
⑧ 必要な「字幕」データを選択する

標準では、日本語の字幕ファイルを認識します。



⑨ 出力ディスクサイズを選択する

BD の情報を取捨選択した結果により、一層式か二層式か DVD を選択します。「出力」の右側にある「▼」をクリックして、ディスクサイズを変更します。



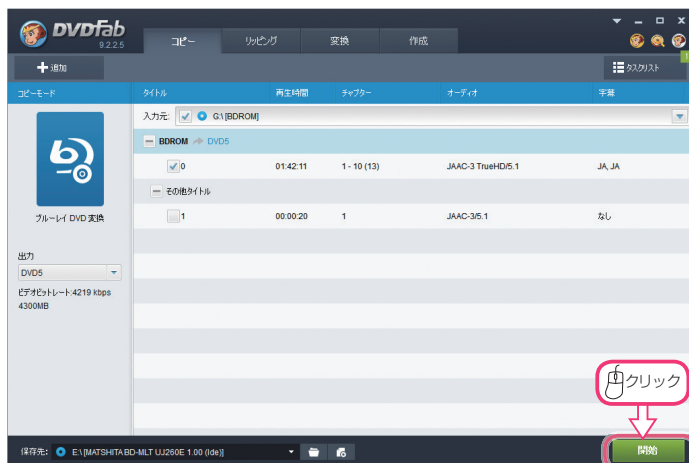
⑩ データの保存先を指定する

「保存先:」の右側にある「▼」をクリックすると使用しているドライブや保存場所のリストが表示されますので、その中から、書き込み可能なドライブを選択します。



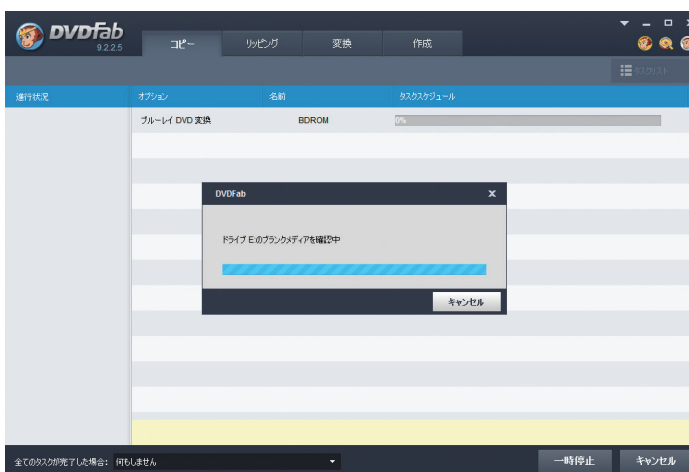
⑪ バックアップの準備

「開始」をクリックすると、BD から DVD へのバックアップの準備が進行します。



⑫ 空のディスクを挿入する

ウィンドウがポップアップし、空のディスクを挿入する旨促されますので空のディスクをドライブに挿入します。



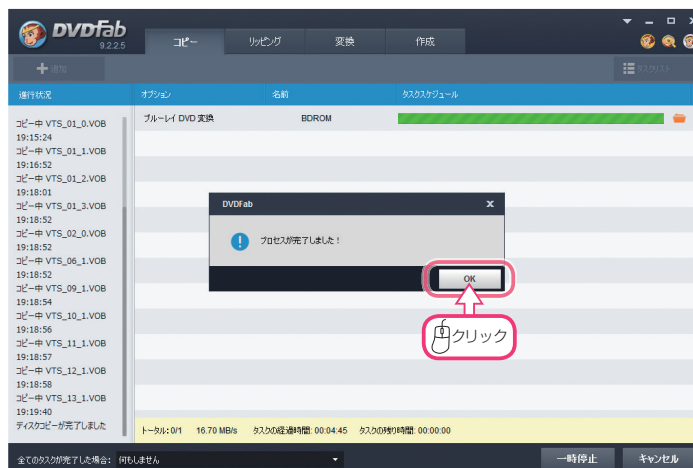
⑬ バックアップが開始される

ディスクのバックアップが開始され、画面上に進行状況が表示されます。



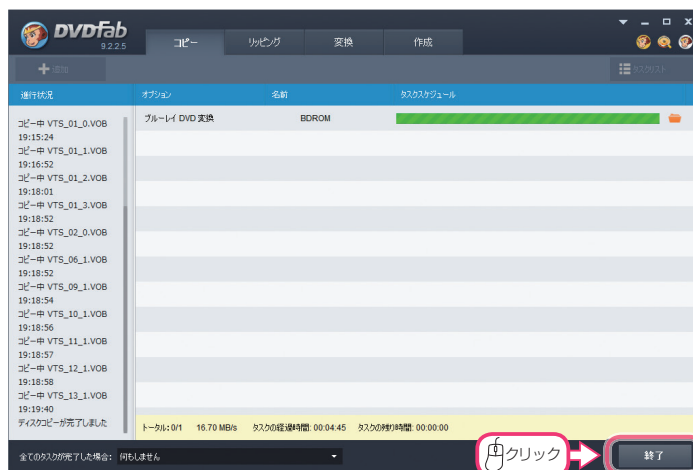
⑭ 作業が完了する

バックアップが成功するとウィンドウがポップアップし、「プロセスが完了しました!」と表示されますので「OK」をクリックします。



⑮ バックアップを終了させる

「終了」をクリックしてバックアップを終了します。



Chapter

2-1

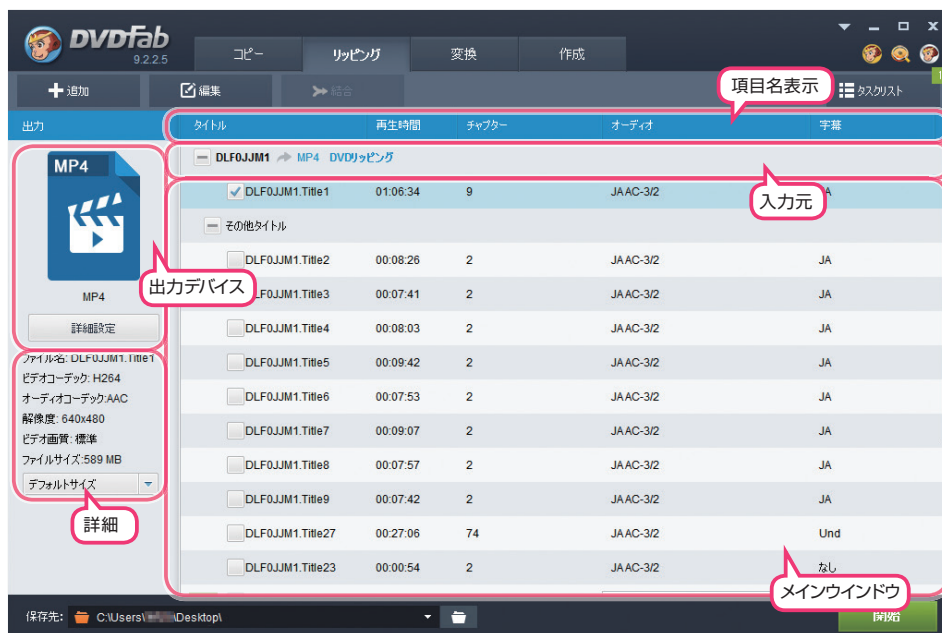
BD/DVDのムービーをモバイル用の動画ファイルに変換する

BD/DVDの映像を、iPhoneやAndroidなどのスマホやゲーム機などのモバイル機器で再生させたい場合は、DVFab6で、対応する動画に変換してみましょう。

1 BD/DVDをモバイル用に変換するために

DVDやより高画質なBlu-rayのムービーをiPhoneやAndroidなどのモバイル機器などで再生したい場合は、DVFab6を活用してみましょう。「出力」をクリックすれば、iPhoneやAndroid、ゲーム機など、再生したい機種を簡単に選択できます。対応機種があらかじめ登録されていなくても、手動で詳細設定することが可能です。変換したムービーは保存先設定でパソコン上のフォルダーを指定できます。

なお、Blu-rayは1920×1020と高解像度ですが、Androidの最新モデルには、この解像度をフルに表示できる液晶を搭載していると、モバイル環境でも再生させることが可能な場合があります。ただし、Blu-rayの元々のファイルサイズが大きいため、圧縮をしてもかなり大きなデータサイズになるので、注意が必要です。



● 項目名表示

メイン画面に表示される設定項目名が表示されます。

● 出力デバイス

変換先のデバイスを機種別に指定できます。「詳細設定」でカスタマイズすることも可能です。

● 入力元

BD/DVDドライブを指定します。パソコンに保存してあるBD/DVDフォルダーやISOファイルを指定することも可能です。

● 詳細

読み込んだBD/DVDと出力デバイスの設定による圧縮形式やファイルサイズなどの情報が表示されます。

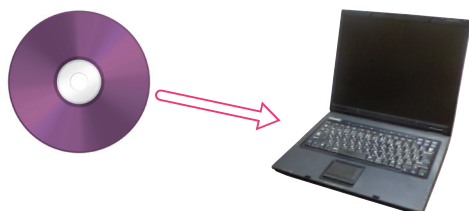
● メインウインドウ

BD/DVDのタイトル一覧が表示され、バックアップするタイトルなどの設定が行えます。

2 BD/DVD をモバイル対応させる手順概要

BD/DVD の映像を変換する場合は、操作画面を開いた状態で、BD/DVD を読み込ませ、出力設定でプリセットから対応機種を選択します。

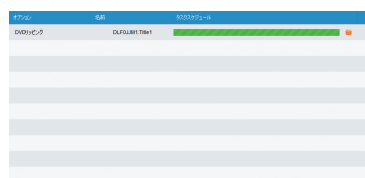
① BD/DVD をパソコンに挿入



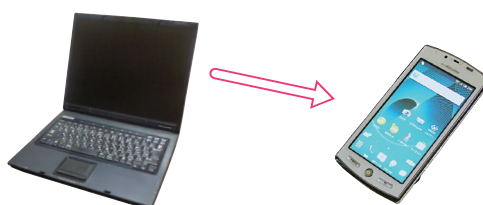
② プリセットからデバイスを選択



③ モバイルデータへ変換



④ 保存したデータをモバイル機器に転送



3 BD/DVD の映像を簡単にモバイル対応させるには

BD/DVD の映像をモバイル機器に対応させる手順は、BD/DVD を読み込み、画面左の「出力」の下にあるファイルアイコンをクリックして、変換したいデバイスを選択し、変換をスタートさせます。保存先はパソコン上の任意のフォルダーを選択し、保存が完了したらデバイスにファイルを転送しましょう。

① プログラムを起動する

DVDFab6 を起動し、「リッピング」をクリックします。これにより、「リッピング」モードになります。



② BD/DVD を挿入する

BD/DVD をドライブに挿入すると、ウィンドウが表示され、BD/DVD を読み込みます。BD/DVD の情報が自動的に分析されます。分析が終了すると自動的にウィンドウが閉じられます。



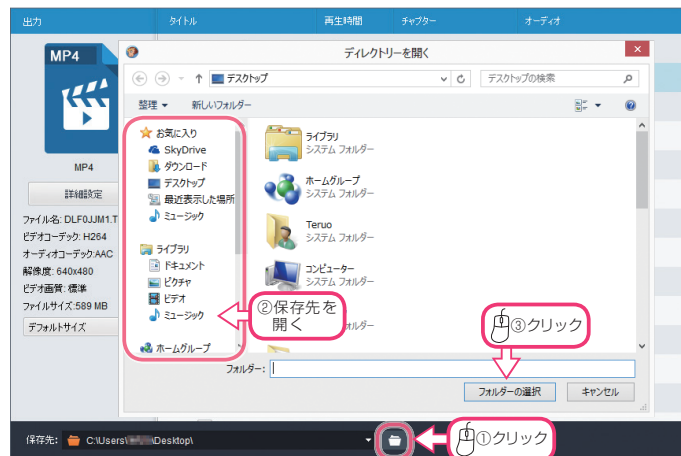
③ 映像の情報が表示される

BD/DVDの映像の情報が画面上に表示されます。BD/DVDに複数の映像がある場合は、タイトルの左の「+」をクリックして全てのデータを表示させます。



④ データの保存先を指定する

保存先のフォルダーアイコンをクリックし、変換後のムービーを保存するフォルダーを開き「フォルダーの選択」をクリックします。

**Hint** プリセットのない Android の設定は

DVDFab6のプリセットに、お手持ちの端末が用意されていない場合でも、Android端末であれば、動画のサイズ以外は設定に大きな違いなく再生ができますので、ご安心ください。例えば Sony の「XperiaZ」など用意されているプリセットを選択し、「詳細設定」で自分の端末の画面解像度に変更すればよいでしょう。ただし、最新の Android 端末は DVD より高解像度のため、「720x480」以上に設定しても、画質が良くなるわけではないので、解像度を必要以上に大きく設定する必要はありません。

⑤ 出力アイコンをクリックする

画面左の「出力」の下にあるファイルアイコンをクリックして、プリセットのデバイス画面を開きます。



⑥ iPhone5s を選択する場合

iPhone 5s用に変換する場合は、上部タブの「デバイス」を選択し、左側に表示される一覧から「Apple」を選択します。Appleのデバイスがプリセット一覧に表示されますので「iPhone5s」のアイコンを選択します。

このアイコンの「☆」をクリックすると、上部タブの「個人的」(お気に入り)からデバイスを選択でき、次回以降使用しやすくなります。



⑦ デバイスを詳細設定する

設定を変更したい場合は、出力アイコン下にある「詳細設定」をクリックします。画面上部の「デフォルトプロファイルとして保存」をクリックすると、このデバイスが標準のプロファイルとして保存されます。最後に「OK」をクリックして設定を保存します。



⑧ デフォルトプロフィールを確認

手順7で「デフォルトプロフィールとして保存」をクリックした場合、再度「出力」下のデバイスアイコンをクリックし、プリセット一覧の「個人的」を選択すると、詳細設定したデバイスが標準で設定されています。このアイコンをクリックし、デバイスの設定を選択します。



⑨ BD/DVDタイトルなどの編集

読み込んだBD/DVDタイトルから、メインムービー以外を選択して変換することもできます。タイトル左にある「+」をクリックしてタイトル一覧を表示させ、変換したいタイトルにチェックを入れます。複数のタイトルを選択すると、複数のファイルを同時に作成できます。



⑩ 変換を開始する

すべての設定ができれば「開始」をクリックして変換を開始します。



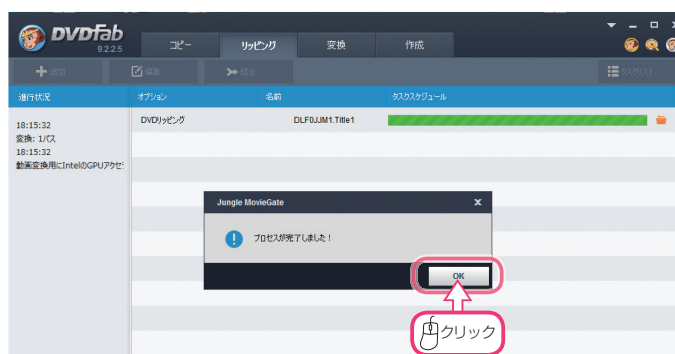
⑪ 変換が開始される

選択したコンテンツの変換が開始されます。画面以上に進行状況が表示されます。



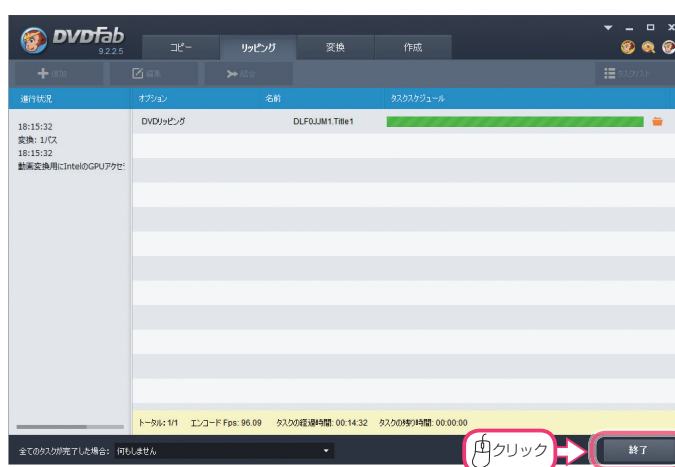
⑫ プロセスが終了する

プロセスが終了するとメッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。



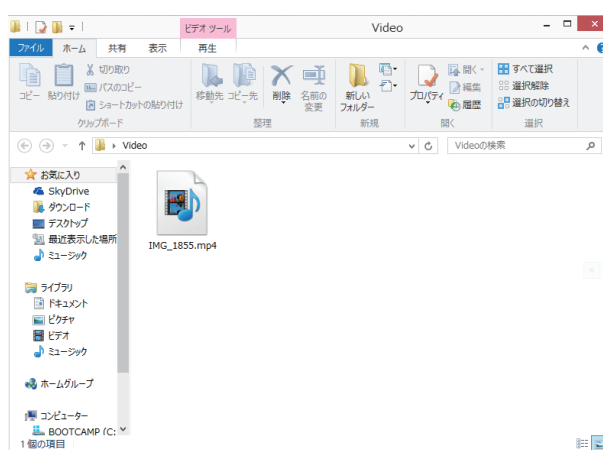
⑬ 変換を終了

「終了」をクリックして変換を終了します。



⑭ 変換したファイルを確認する

保存先に指定したフォルダーを開き、変換したファイルを確認します。



⑮ 再生を確認する

ムービーファイルを再生し、パソコン上でスムーズに再生できるかを確認します。

**Hint** プロファイルの詳細設定に注意

「詳細設定」で設定できる項目は「コーデック」「解像度」「エンコード方式」「ビデオ画質」「フレームレート」「分割」などです。様々お試して頂きたいのですが、設定によっては再生ができなくなる場合もあります。その場合は、詳細設定の画面左下にある「デフォルト」をクリックして、「詳細設定」を標準の状態に戻しましょう。

Hint 携帯ゲーム機を選択も可能

DVDFab6 の出力デバイスの選択では、iPhone や Android などのスマホ以外に、PSP、PS Vita、PS3、PS4、NDS などの携帯ゲーム機も用意されています。これらを選択すると、BD/DVD の映像を携帯ゲーム機で再生させることができます。

BD/DVD から3D対応デバイスの ムービーファイルを作成する

DVDFab6は、3Dではない通常のBD/DVDムービーを擬似的に3Dムービーに変換することができます。3D対応デバイスであれば、3D変換されたムービーを再生できます。

1

3D対応のスマートフォン用に3D動画を作成する

DVDFab6の3D変換機能を使えば、DVDやBlu-rayの映像を、擬似的に3Dムービーに変換して、3Dのムービー再生に対応したスマホなどのデバイスで使用可能です。

DVDFab6のプリセットにはいくつかの3D対応デバイスや3Dファイルの出力形式が用意されていますので、この中から自分のデバイスやファイル形式を選択すれば、難しい設定なしに簡単に3Dムービーが作成できます。プリセットの設定は、3Dムービー設定の知識があれば、手動で変更することも可能です。

擬似的な3Dムービーとなりますので、再生するデバイスの環境によっては3D再生できない場合もあります。



● 項目名表示

メイン画面に表示される設定項目名が表示されます。

● 出力デバイス

変換先のデバイスを機種別に指定できます。「詳細設定」でカスタマイズすることも可能です。

● 入力元

BD/DVDドライブを指定します。パソコンに保存してあるBD/DVDフォルダーやISOファイルを指定することも可能です。

● 詳細

読み込んだBD/DVDと出力デバイスの設定による圧縮形式やファイルサイズなどの情報が表示されます。

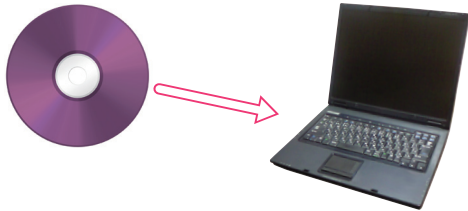
● メインウィンドウ

BD/DVDのタイトル一覧が表示され、ここでバックアップするタイトルなどの設定が行えます。

BD/DVD をモバイル対応させる手順概要

3Dムービーを作成する手順は、出力の設定で、プリセットされている3Dデバイスを選択し、出力アイコンの下にある「詳細設定」で3Dの設定を行います。設定の変更には3Dの専門的な知識が必要となるため、一般的には標準のままがいいでしょう。

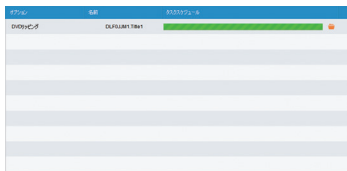
① BD/DVD をパソコンに挿入



② プリセットから3Dデバイスを選択



③ 3Dデータへ変換



④ 保存した3Dデータをモバイル機器に転送



BD/DVD の映像を簡単にモバイル対応させるには

3Dデバイスの選択は、対応するデバイスを選択する方法と、3Dデータのフォーマットを選択する方法があります。スマホなどの3Dデバイスでムービーを再生する場合は、デバイスを選択します。3D対応のパソコンなどで再生する場合は、ファイル形式を選択します。

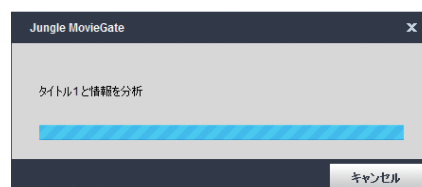
① プログラムを起動する

DVDFab6を起動し、「リッピング」をクリックして「リッピング」モードにします。



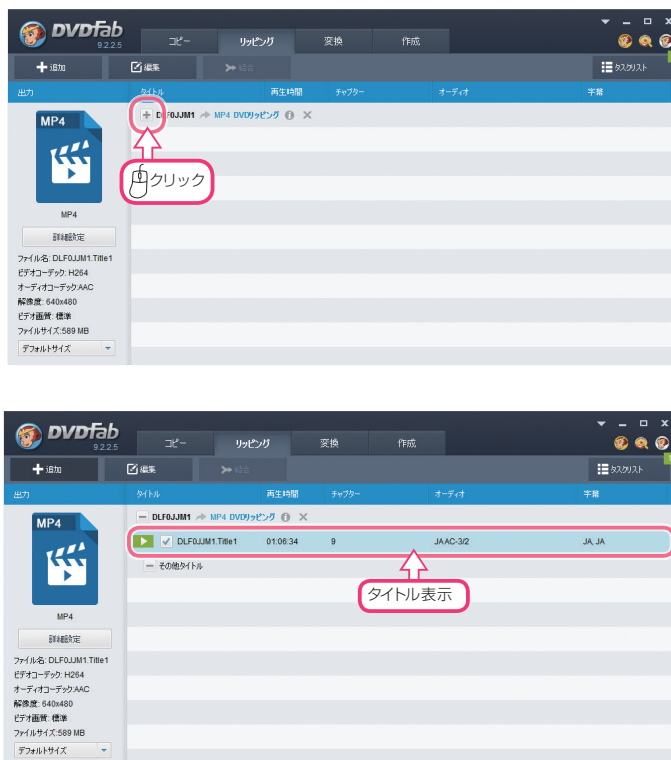
② BD/DVD を挿入する

BD/DVDをドライブに挿入すると、ウィンドウが表示され、BD/DVDを読み込みます。BD/DVDの情報が自動的に分析されます。分析が終了すると自動的にウィンドウが閉じられます。



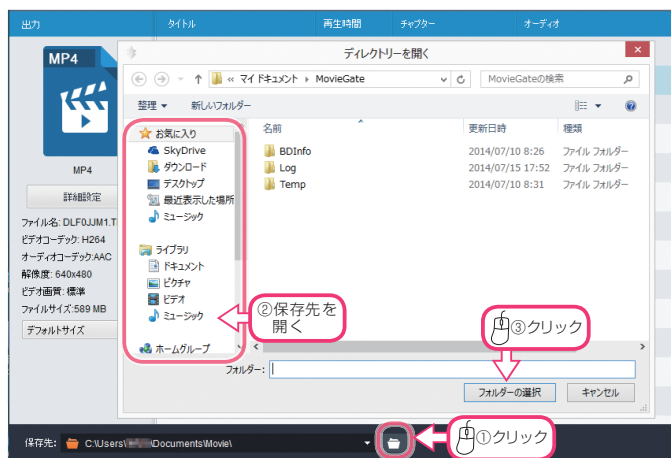
③ 映像の情報が表示される

BD/DVDの映像の情報が画面上に表示されます。BD/DVDに複数の映像がある場合は、タイトルの左の「+」をクリックすると全てのデータを表示されます。



④ データの保存先を指定する

保存先のフォルダーアイコンをクリックし、変換後のムービーを保存するフォルダーを開き「フォルダーの選択」をクリックします。



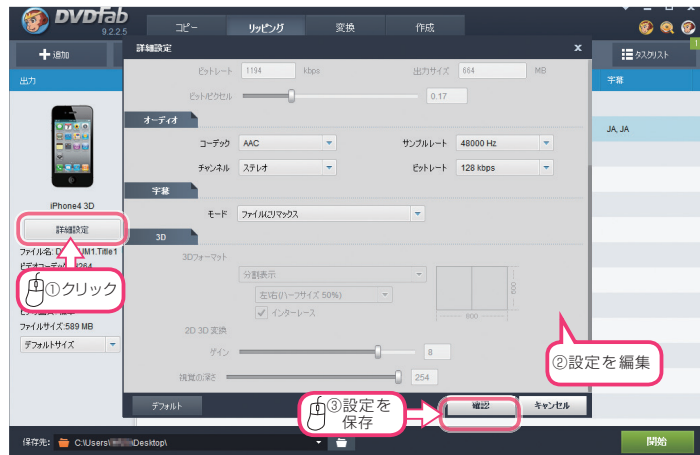
⑤ デバイスを選択する

出力に3D対応のデバイスを選択します。画面左のファイルアイコンをクリックして、表示されるウィンドウの上部タブの「デバイス」を選択し、左側に表示されるメニューから「3Dデバイス」を選択すると、プリセットで用意されている3D対応デバイスの一覧が表示されますので、お手持ちの3Dデバイスを選択します。



⑥ プロファイルを変更する場合

選択したデバイスのアイコンの下にある「詳細設定」をクリックすると、設定画面を開き、選択したデバイスのプロファイルを変更できます。画面を下にスクロールすると「3D」の設定項目があります。3Dの項目が変更できないデバイスもあります。



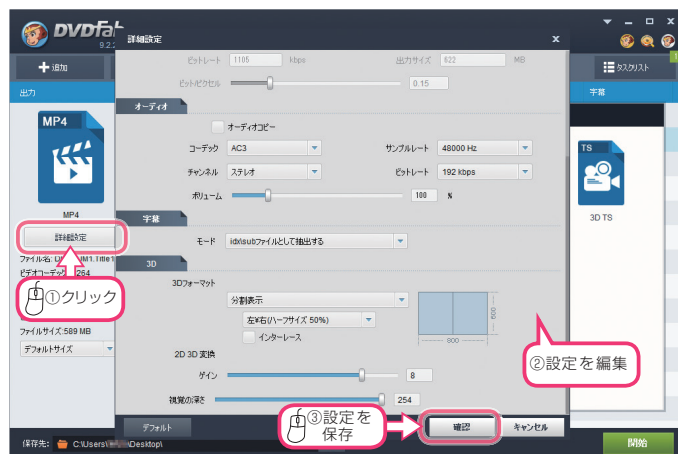
⑦ ファイル形式を選択する場合

出力をデバイスでなくファイル形式で指定する場合は、デバイス選択画面で上部タブの「フォーマット」を選択します。3Dに対応するファイル形式が表示されますので、出力したいファイル形式を選択します。



⑧ 詳細設定を変更する場合

3D 出力に関する設定をする場合は、選択したファイル形式のアイコンの下にある「詳細設定」をクリックすると設定ウインドウを開きます。画面を下にスクロールすると、「3D」の項目が表示され、各種設定が行えます。



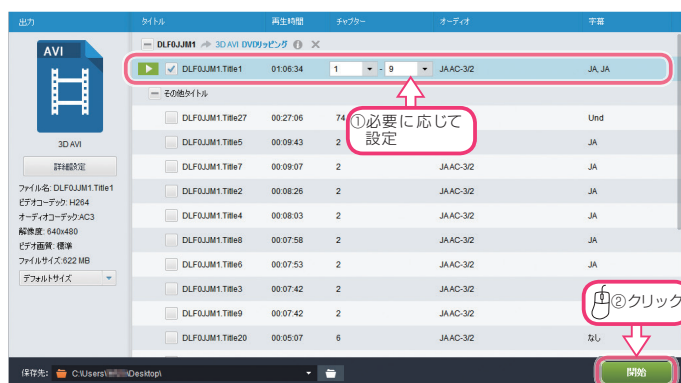
⑨ プレビューでタイトルを確認

タイトル一覧の「プレビュー」をクリックして、3Dムービーを作成したいタイトルを確認します。



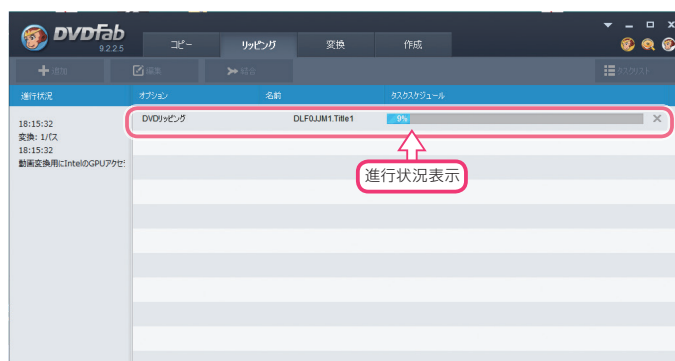
⑩ タイトルの編集も可能

タイトル名の上にマウスカーソルを置くと、チャプターや音声などの編集ができます。設定が完了したら、「開始」をクリックして変換を開始します。



⑪ 変換が開始される

動画の変換が開始され、画面上に進行状況が表示されます。



⑫ 複数のタイトルを変換する場合

複数のタイトルを変換する場合は、複数のタスクが表示されます。



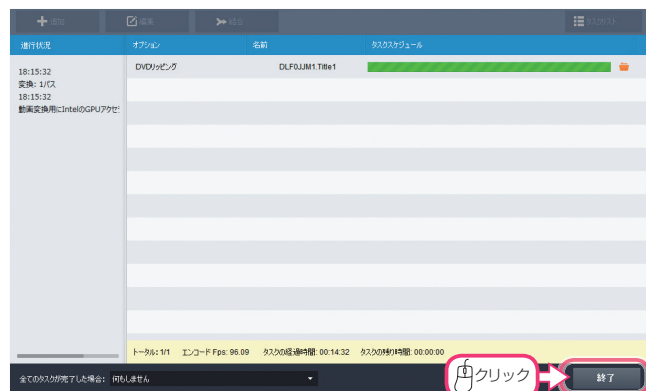
⑬ プロセスが終了する

プロセスが終了するとメッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。



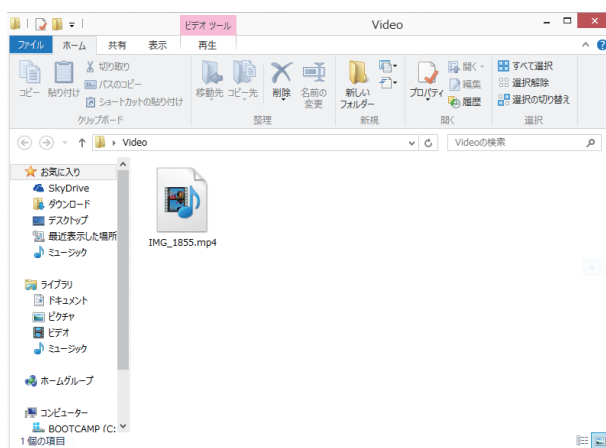
⑭ 3D変換を完了する

「終了」をクリックして3D変換を終了します。



⑮ 変換したファイルを開く

保存先に指定したフォルダーを開き、ムービーをアプリケーションで開いて確認しましょう。



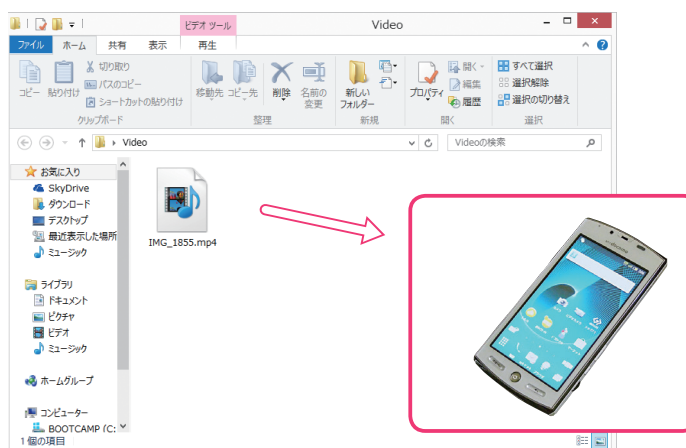
⑯ パソコンで再生を確認する

パソコンが3D対応でない場合は、3Dムービーはメディアプレイヤーなどで開くと左右分割されたムービーとして再生されます。この状態で再生されたら、3D変換が成功していることとなります。



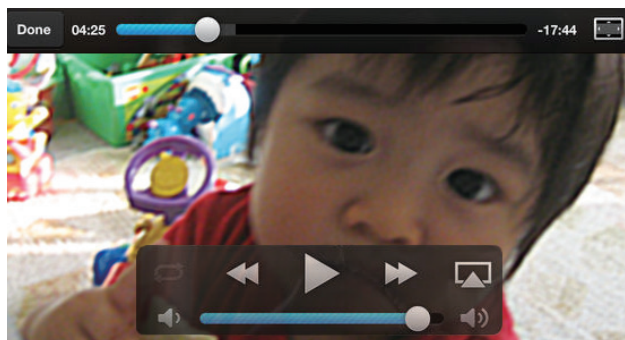
⑰ ムービーをデバイスにコピーする

変換したムービーをそれぞれのデバイスの方でデバイスに移動します。AndroidではUSBでパソコンと接続するほか、SDカードをパソコンに接続して、ドラッグ＆ドロップでファイルを転送することができます。



⑱ デバイスで再生を確認する

デバイスの再生で「3D」を選択して、3Dムービーを再生します。

**Hint** 3D デバイスでの再生と対応状況

スマホなどのデバイスで3Dムービーを再生する場合、デバイスによって再生方法が異なります。Android端末の一般的なムービー再生によく利用される「Playムービー」や「MXプレイヤー」では、3D再生ができません。また、3D専用アプリでも、メニューなどで「3D再生」を選択しないと再生できない場合があります。画面が左右2つに分かれて再生される場合には、再生方法を確認してください。デバイスが3Dに対応していなくても、「アナグリフ形式」の3Dムービーを、専用の「3Dメガネ」を使用して楽しむこともできます。

Hint より立体感を増すための設定

出力にデバイスを選択した場合、3Dの詳細設定は行えません。一方、フォーマットを選択した場合は、詳細設定で3Dに関する設定を変更できます。3D効果の「ゲイン」と「視覚の深さ」を設定できます。「ゲイン」では映像の奥行きを、「視覚の深さ」は高さや広がりなどを設定することができますので、これらを調整してより立体感のある3Dムービーを作成してみてください。

Chapter

2-3

3DのBlu-rayから3D対応デバイス用のムービーファイルを作成する

DVDFab6は、3D専用のBlu-rayの映像を、3D対応のモバイル機器用に変換することができます。スマホなどでBlu-rayの3D映像を手軽に楽しむことができます。

1 3DのBlu-rayを3D対応デバイス用のファイルに変換するために

3D専用のBlu-rayは3Dテレビなど据え置き型の機器で再生することが一般的ですが、DVDFab6でBlu-rayの映像を3D変換すれば、3D対応のスマホなどのデバイスでも3D映像を楽しめます。

プリセットに用意されている3D対応デバイスや3Dファイルの出力形式から、お手持ちのデバイスやファイル形式を選択すれば、難しい変換設定なしに簡単に3Dムービーが作成できます。プリセットの設定は、3Dムービー設定の知識があれば、手動で変更することもできます。読み込んだムービーが3D専用で作成されたものであれば、3Dの立体感をそのままモバイル機器で再生することができます。

DVDFab6は、3D専用のBlu-rayディスクを認識すると、自動的に3Dムービーとして変換します。



● 項目名表示

メイン画面に表示される設定項目名が表示されます。

● 出力デバイス

変換先のデバイスを機種別に指定できます。プリセットの3D対応デバイスを選択します。

● 入力元

Blu-rayドライブを指定します。パソコンに保存してあるBlu-rayフォルダーやISOファイルを指定することも可能です。

● 詳細

読み込んだBD/DVDと出力デバイスの設定による圧縮形式やファイルサイズなどの情報が表示されます。

● メインウィンドウ

Blu-rayのタイトル一覧が表示され、バックアップするタイトルなどの設定が行えます。

2 3DのBlu-rayを3Dデバイス用に変換させる手順概要

3D専用のBlu-rayディスクをDVDFab6で読み込むと、ディスクに書き込まれた情報を認識して、3Dモードに自動的に切り替わります。出力に3Dデバイスを選択し、必要に応じて各種設定を行って、保存先を指定すると、Blu-rayの3Dムービーを3Dデバイス用に変換することができます。

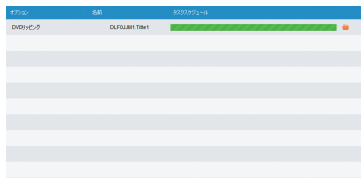
① Blu-rayをパソコンに挿入



② プリセットから3Dデバイスを選択



③ 3Dデータへ変換



④ 保存した3Dデータをモバイル機器に転送



3 3DのBlu-rayを3Dデバイス用のファイルに変換する

3D専用のBlu-rayの変換は、Blu-rayディスクの情報を認識して、自動的に設定が変更されるため、自作ムービーでは利用できないことがあります。3DのBlu-ray情報が書き込まれたディスクでのみ変換できます。

① プログラムを起動する

DVDFab6を起動し、「リッピング」をクリックして「リッピング」モードにします。



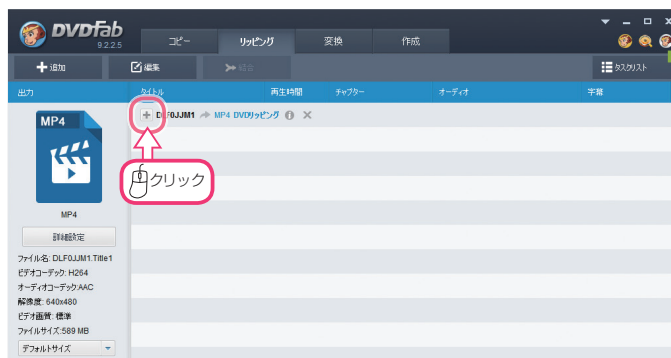
② Blu-rayを挿入する

Blu-rayをドライブに挿入すると、ウィンドウが表示され、Blu-rayを読み込みます。Blu-rayの情報が自動的に分析されます。分析が終了すると自動的にウィンドウが閉じられます。



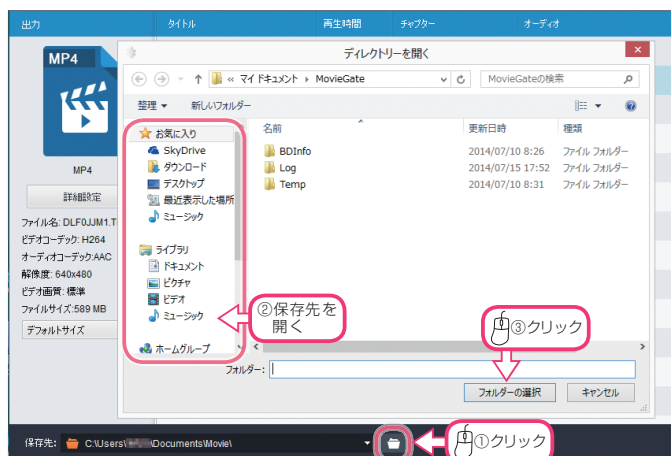
③ 映像の情報が表示される

Blu-rayの映像の情報が表示されます。Blu-rayに複数のデータがある場合は、タイトルの左の「+」をクリックすると全てのデータが表示されます。



④ データの保存先を指定する

保存先のフォルダーアイコンをクリックし、変換後のムービーを保存するフォルダーを開き「フォルダーの選択」をクリックします。



⑤ デバイスを選択する

出力に3D対応のデバイスを選択します。画面左のファイルアイコンをクリックして、表示されるウィンドウの上部タブの「デバイス」を選択し、左側に表示されるメニューから「3D Device」を選択すると、プリセットで用意されている3D対応デバイスの一覧が表示されますので、お手持ちの3Dデバイスを選択します。



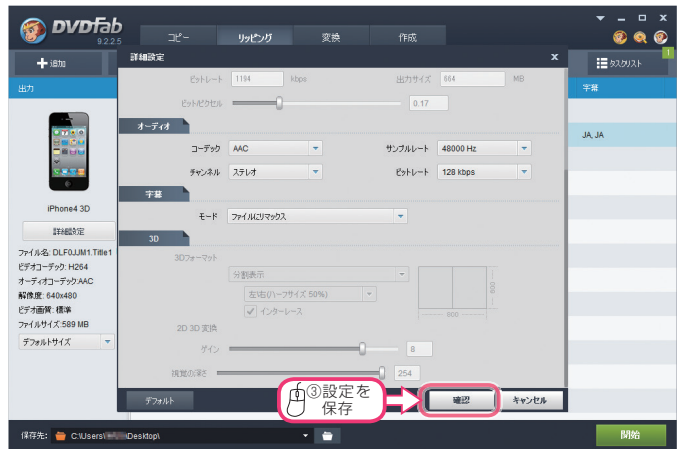
⑥ 詳細設定を行う

出力アイコンがデバイスのアイコンに切り替わります。デバイスの詳細設定を行う場合は、変換するタイトルをクリックし選択した状態で「詳細設定」をクリックします。



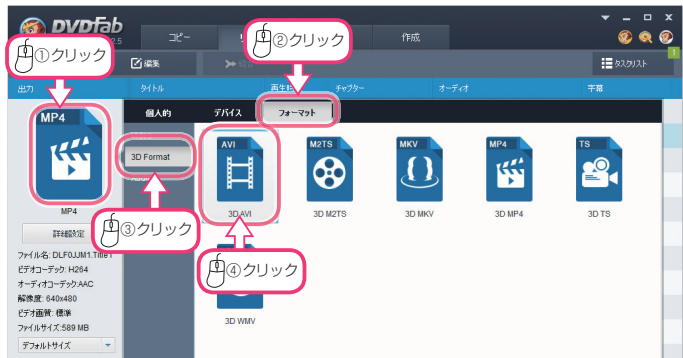
⑦ 設定を確認する

詳細設定の画面を下にスクロールすると「3D」の設定項目があります。デバイスの場合は3Dの項目は変更できません。「OK」をクリックして設定を保存します。



⑧ ファイル形式を選択する場合

出力するファイルをデバイスでなくファイル形式で指定する場合は、デバイス選択画面上部のメニューで「フォーマット」をクリックすると、3D対応の各種ファイル形式が表示されますので、ここから出力したい形式のアイコンをクリックします。



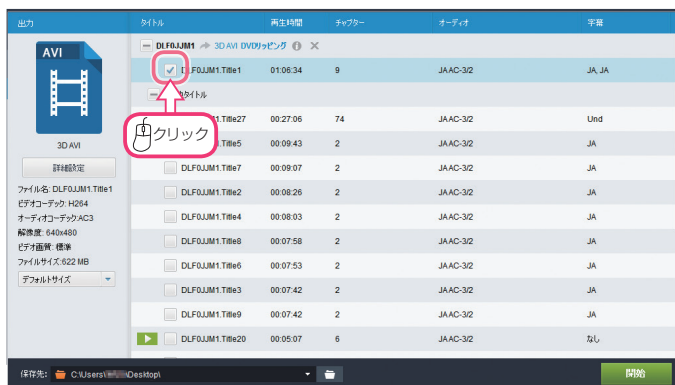
⑨ 詳細設定を変更する場合

フォーマットの場合も、出力アイコンの下の「詳細設定」をクリックすると設定ウィンドウを開きます。画面を下にスクロールすると、「3D」の項目が表示され、各種設定が行えます。



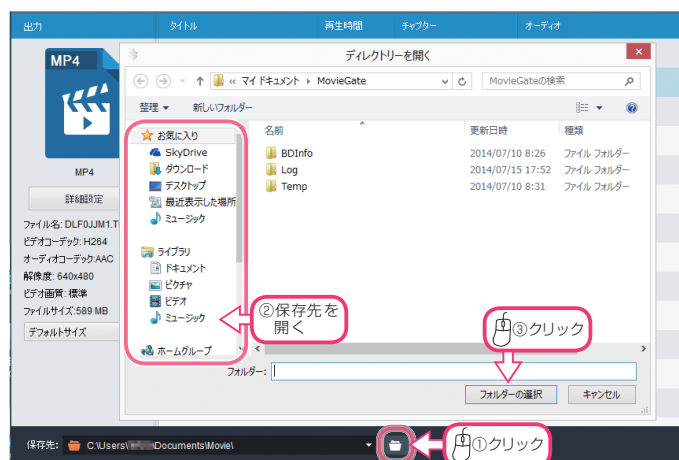
⑩ 変換するタイトルにチェック

「その他のタイトル」をクリックすると、Blu-rayに収録されているタイトル一覧が表示されますので、変換したいタイトルにチェックを入れ選択します。



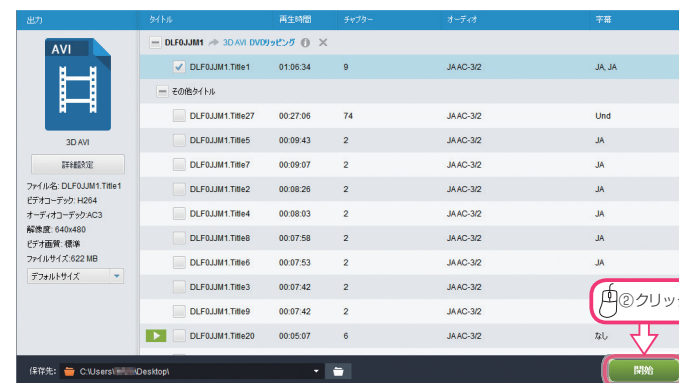
⑪ 保存先を選択する

保存先の右にあるフォルダーアイコンをクリックして、保存先のフォルダーを指定したら「フォルダーの選択」をクリックして保存先を設定します。



⑫ 設定を確認し開始する

設定内容を確認したら画面右下の「開始」アイコンをクリックします。



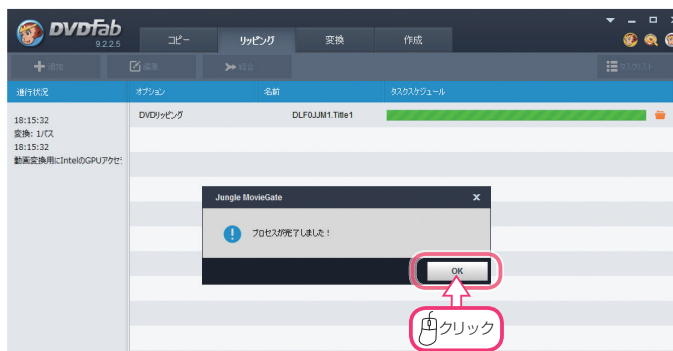
⑬ 変換が行われる

3Dムービーの変換が開始され、画面上に進行状況が表示されます。



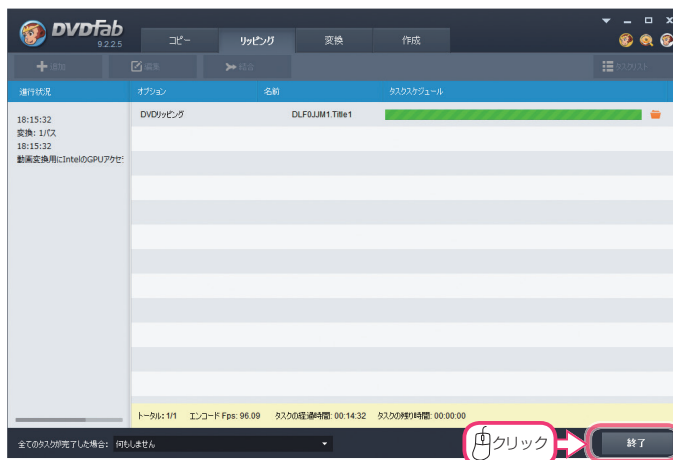
⑭ プロセスが終了する

プロセスが終了するとメッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。



⑮ 3D変換を完了する

「終了」をクリックして3D変換を終了します。

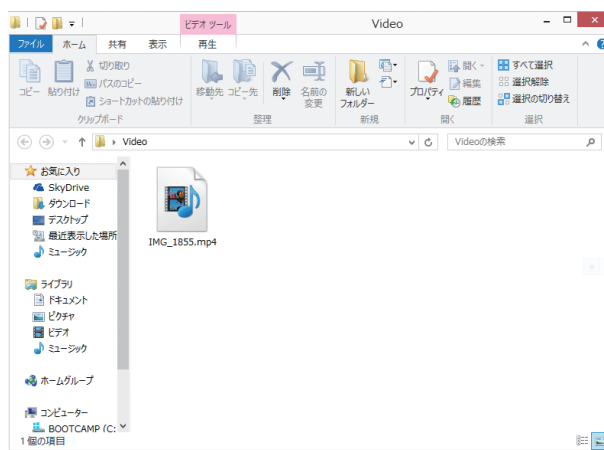


4 3Dデバイス用に変換したムービーを確認する

3D専用のBlu-rayデータをモバイル用に変換すると、元の専用データと同様に左右に分割されたモバイル用のムービーが作成されます。3Dムービーは、3D非対応のパソコンで再生した場合は左右に分割されて再生されます。3D対応デバイスで再生する場合は、再生アプリで3D再生するように設定しましょう。

⑯ 変換したファイルを開く

保存先に指定したフォルダーを開き、ムービーをメディアプレイヤーで開いて確認しましょう。



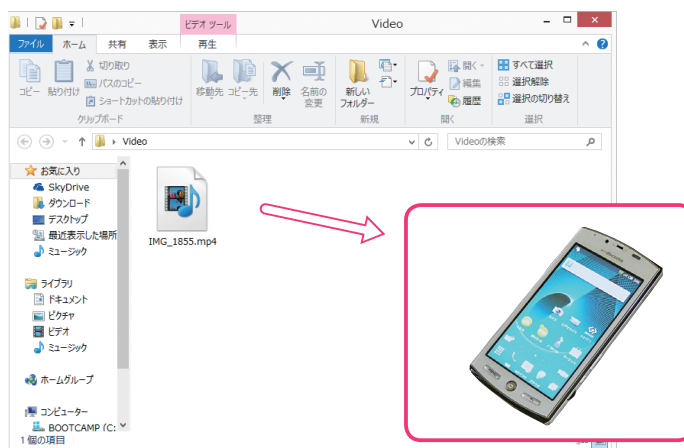
⑰ パソコンで再生を確認する

パソコンが3D対応でない場合は、3Dムービーはメディアプレイヤーなどで開くと左右分割されたムービーとして再生されます。この状態で再生されたら、3D変換が成功していることになります。



⑱ ムービーをデバイスにコピーする

USB経由またはSDカードで、パソコンからモバイルにファイルをコピーし、3D対応デバイスでファイルを読み込めるようにします。



⑲ デバイスで再生を確認する

デバイスの再生で「3D」を選択して、3Dムービーを再生します。



Chapter

3-1

パソコンのムービーを
モバイル用に変換する

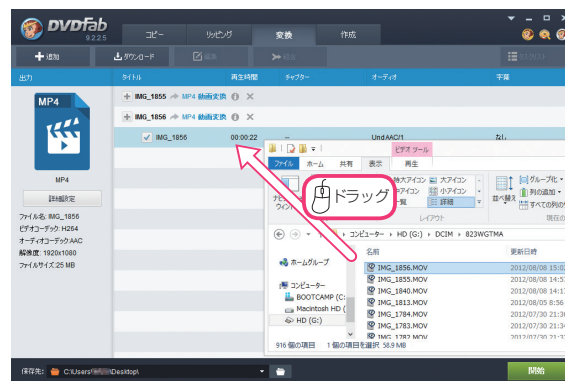
DVDFab6では、DVDやBlu-ray以外にも、パソコン上のムービーを変換することもできます。パソコンに保存されているムービーをデバイス用に変換してみましょう。

1 動画ファイルの変換機能

DVDFab6は、光学ディスクのデータだけでなく、パソコンなどに保存しているムービーを、モバイル用のファイル形式に変換することもできます。プリセットが用意されたデバイスなら、面倒な設定なしで、簡単に対応するムービー形式に変換できます。必要であれば、詳細設定で各項目を変更することもできます。さらに画面の縦横比やサイズを変更することも可能です。

① パソコン上のムービーを取り込む

DVDFab6を起動し、変換したいファイルをパソコン上のフォルダーからDVDFab6の画面上にドラッグ＆ドロップし、ムービーを取り込みます。



② ムービーが読み込まれる

読み込んだムービーの情報が分析され、ファイルの情報が画面上に表示されます。画面左の出力のアイコンをクリックし、出力するデバイスを選択します。



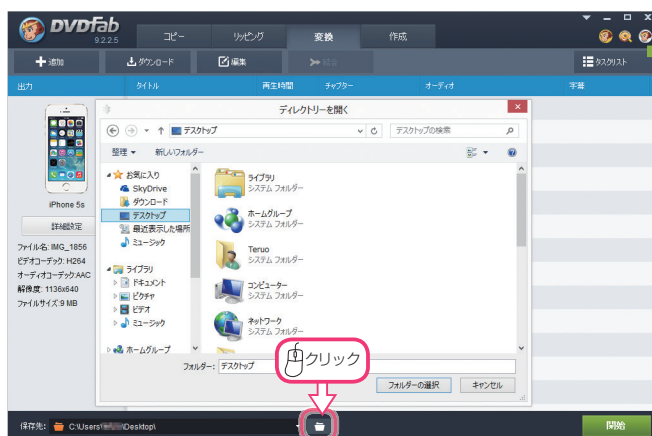
③ プロファイルを選択する

選択画面上部の「デバイス」をクリックして、ムービーを再生したいデバイスのメーカー名をクリックし、表示されたアイコンからデバイスを選択します。



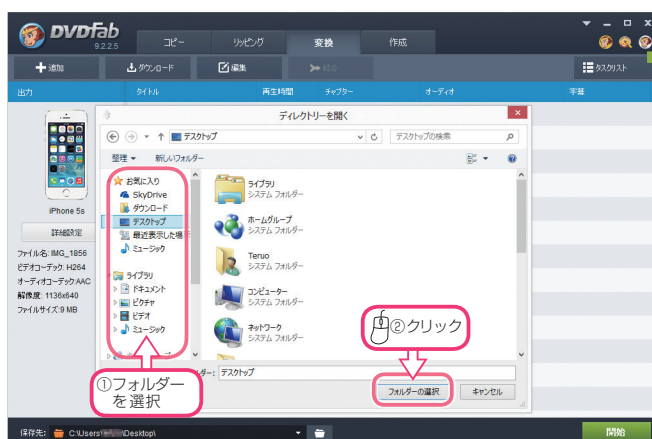
④ 保存先フォルダーアイコンをクリック

出力先のフォルダーアイコンをクリックします。



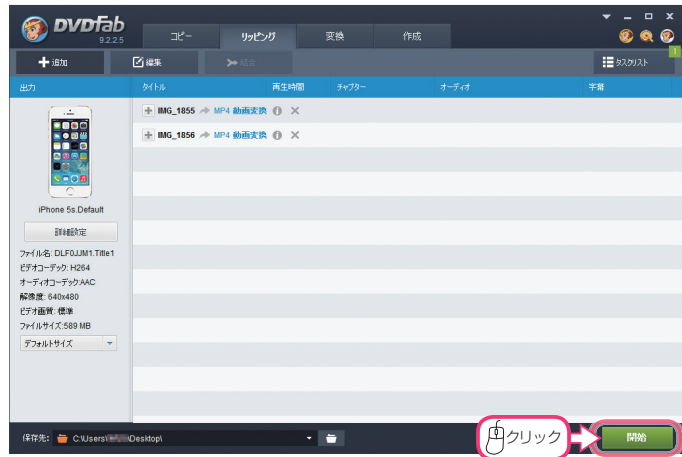
⑤ 保存するフォルダーを選択

変換したファイルを保存するフォルダーを指定し、「フォルダーの選択」をクリックします。



⑥ 変換を開始する

すべての設定を確認し「開始」をクリックして、変換を開始します。



⑦ ムービーが変換される

モバイル用のファイルへの変換作業が行われ、進行状況が表示されます。



⑧ 変換が終了する

プロセスが終了するとメッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。



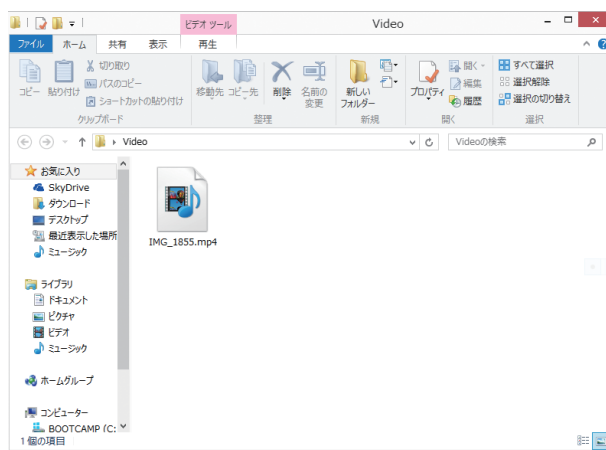
⑨ 変換画面を終了する

「終了」をクリックして、変換を終了します。



⑩ ファイルを確認する

保存先に指定したフォルダー内にデバイスのメーカー名のフォルダーが自動的に作成され、その中に変換したムービーファイルが保存されていることを確認します。

**Hint** 変換中にエラーが発生する場合

DVDFab6 でムービーを変換するときに、画面がフリーズするなどのエラーが発生する場合は、指定した保存先に自動的に作成されているデバイスのメーカー名のフォルダーを削除して、DVDFab6 を再起動し、変換をもう一度行ってください。なお、DVDFab6 はムービーの一般的なファイル形式のほとんどに対応していますが、一部うまく変換できない形式もあります。

Chapter

3-2

動画効果を編集する

DVDFab6では、取り込んだムービーの編集を行うことができます。「リサイズ」や「クロップ」、「トリム」を利用して、動画の縦横比や解像度などの変更、画面の引き延ばし、トリミングなどができます。

1 動画効果を編集する

DVDFab6では取り込んだムービーに簡単な編集を加えることができます。解像度の変更や画面の切り抜きなどができ、出力するデバイスの解像度に合わせてムービーを編集すれば、より高品質なムービーをモバイルで再生できます。DVDFab6 動画効果では、動画に縦横比や解像度を変更できる「リサイズ」と、出力するビデオの範囲を変更して出力後の画面を引き延ばす「クロップ」、さらには、トリミングができる「トリム」の3つの編集ができます。

① プログラムを起動する

DVDFab6を起動し、「リッピング」モードにします。



③ 編集したいディスクを認識させる

「+ 追加」をクリックして、編集したいディスクやパソコンにバックアップしたフォルダー、ISOなどを認識させます。



④ 「編集」をクリックする

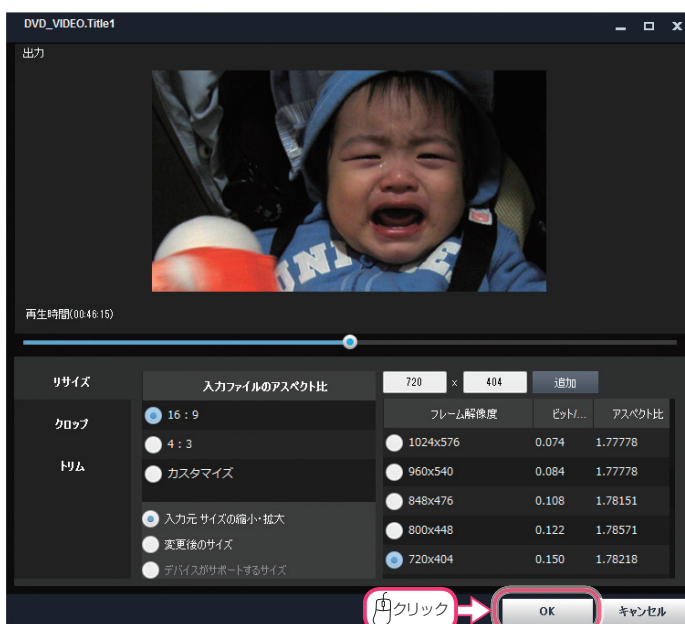
動画効果を編集できるメイン画面が表示されます。



2 「リサイズ」を設定する

① リサイズ設定画面が表示される

標準では、「リサイズ」タブが有効になっています。ここでは、アスペクト比の設定や、解像度の設定などができます。設定が完了したら「OK」をクリックします。



3 「クropp」を設定する

① クropp設定画面を表示する

「クropp」タブをクリックすることでクropp設定画面が表示されます。



② 「カスタマイズ」を選択する

クロップの方法を選択します。標準では「無効」が選択されています。

ここでは、例としてオリジナル（任意サイズにクロップ加工する）を選択します。



③ 画面サイズを変更する

「ソースプレビュー」画面の四隅にある緑色の枠をドラッグすることで画面サイズを変更させることができます。

なお、緑枠の中央にある「+」をドラッグすることで画面位置を任意の場所に動かすことができます。



④ クロップを設定する

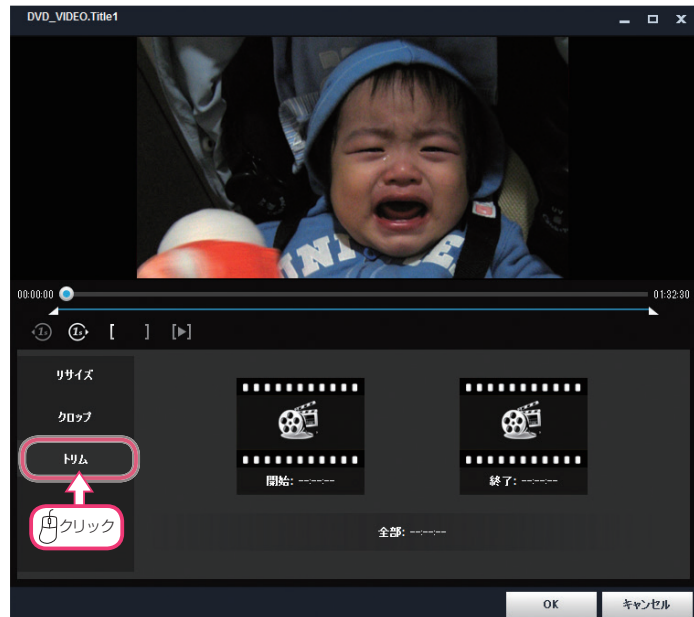
「確認」をクリックすることでクロップ効果が加わります。



4 「トリム」を設定する

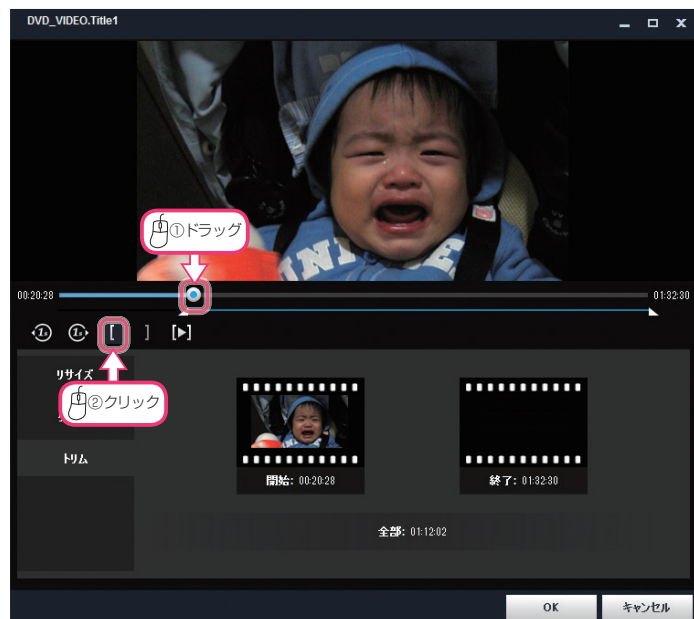
① トリム設定画面が表示される

「トリム」タブをクリックすることでトリム設定画面が表示されます。



② 「開始地点」を設定する

(丸い)スライダーを動かし、映像の開始地点を指定し、「開始地点」をクリックします。



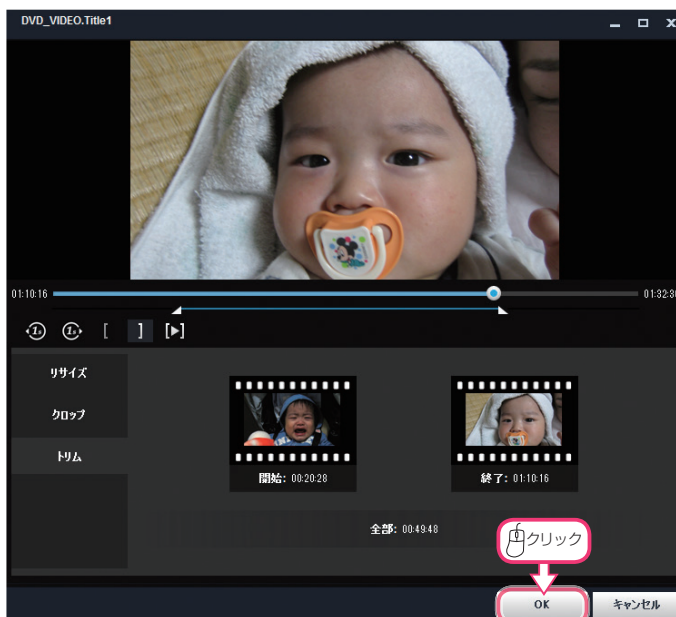
③ 「終了地点」を設定する

同様にスライダーを動かし、映像の終了地点を指定し、「終了地点」をクリックします。



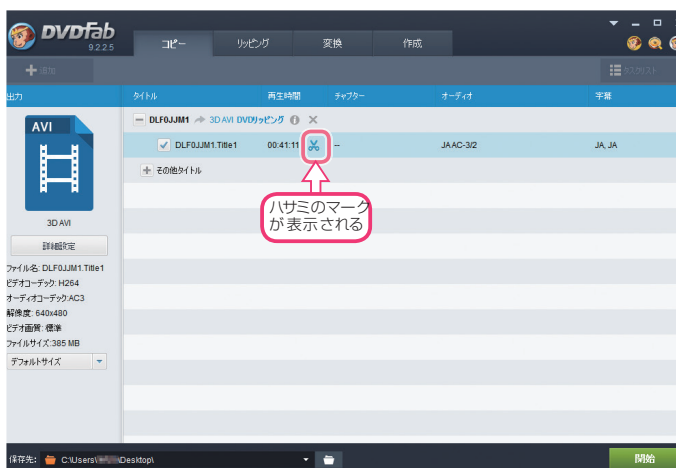
④ トリミングを設定する

「確認」をクリックすることでトリミングができます。



⑤ トリミングを確認する

メイン画面に戻りますが、ハサミのマークが表示されているのでトリミングができていることを確認できます。



Chapter

3-3

ディスクやムービーファイルから 音声部分を抽出する

DVDFab6では、PC動画ファイルやDVD、Blu-rayのコンテンツから音声部分のみを抽出しMP3、M4A、WMA、WAV、AC3、DTSなどの音声ファイルに変換できます。

1 音声部分を抽出する

今まで作成したディスクやムービーファイルの中からお気に入りの音声部分をファイル化してスマホなどで再生することができます。また、7.1chにも対応しており、マルチチャンネルのコンテンツを2chに変更して保存できます。さらに、音声ファイルへの変換時にもビットレートを下げてファイルサイズを小さくすることやオーディオのボリューム設定も可能です。ここでは、例としてDVDから音声部分を抽出する方法を説明します。

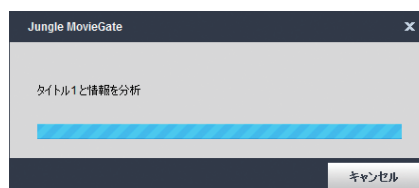
① プログラムを起動する

DVDFab6を起動し、「リッピング」モードにします。



② BD/DVDを挿入する

BD/DVDをドライブに挿入すると、ウィンドウが表示され、BD/DVDを読み込みます。BD/DVDの情報が自動的に分析されます。分析が終了すると自動的にウィンドウが閉じられます。



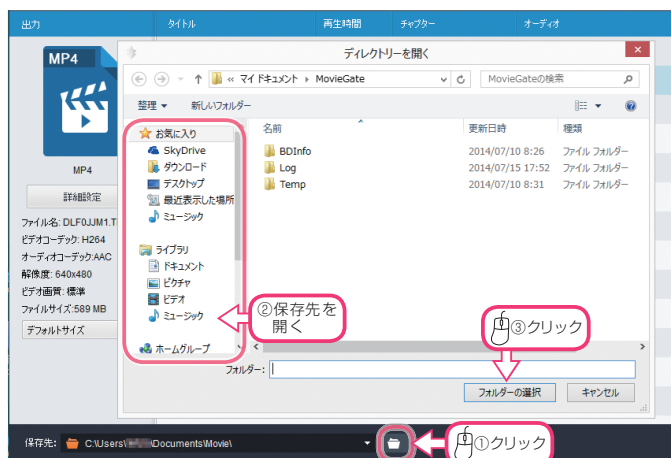
③ 映像の情報が表示される

BD/DVDの映像の情報が画面上に表示されます。BD/DVDに複数の映像がある場合は、タイトルの左の「+」をクリックして全てのデータを表示させます。



④ データの保存先を指定する

保存先のフォルダーアイコンをクリックし、変換後のムービーを保存するフォルダーを開き「フォルダーの選択」をクリックします。



⑤ 出力ファイルを選択する

画面左のファイルアイコンをクリックして、表示されるウィンドウの上部タブの「フォーマット」を選択し、左側に表示されるメニューから「Audio」を選択すると、プリセットで用意されている音声ファイルの一覧が表示されますので、お好みの音声ファイルを選択します。



⑥ 詳細設定を変更する場合

選択したフォーマットのプロファイルを変更する場合は、「詳細設定」をクリックして、設定画面を開きます。

通常変更する必要はありませんが、お好みの設定も可能になります。



⑦ 変換を開始する

設定が完了したら「開始」をクリックして変換を開始します。



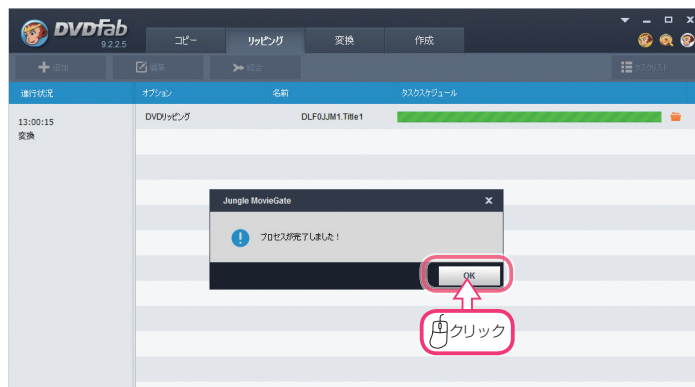
⑧ 変換が開始される

動画の変換が開始され、画面上に進行状況が表示されます。



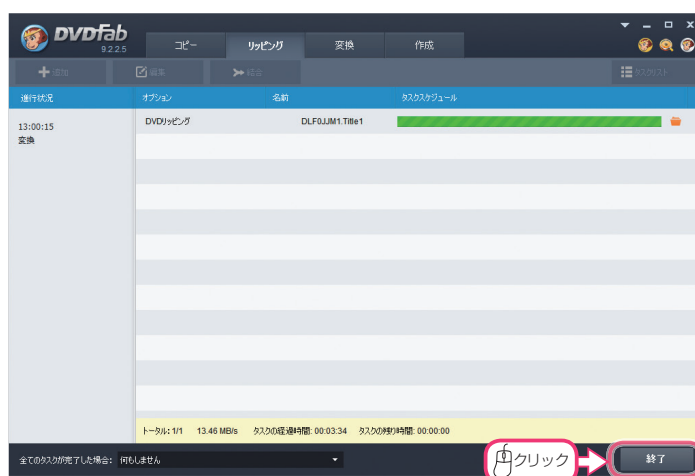
⑨ プロセスが終了する

プロセスが終了するとメッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。



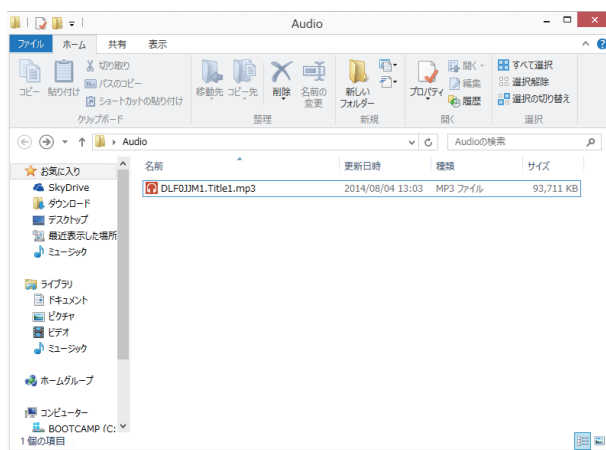
⑩ 音声変換を完了する

「終了」をクリックして音声変換を終了します。



⑪ 変換したファイルを開く

保存先に指定したフォルダーを開き、音声を再生してみましょう。



Chapter

4-1

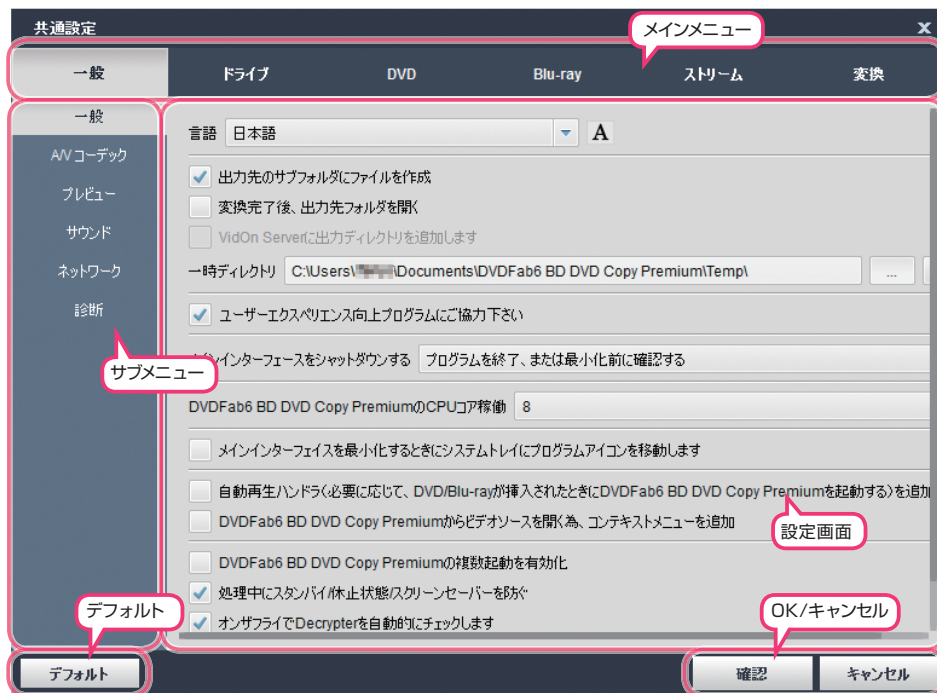
設定項目をカスタマイズして DVD Fab6 を使いこなそう！

各種設定を変更して、自分の環境に合わせて最適化することができます。DVD Fab6の処理速度を上げたり、安定性を向上させたりすることができます。

1 環境に合わせて設定をカスタマイズ

DVD Fab6 は標準設定のままでも利用できますが、使い方やパソコンのスペックに合わせて「共通設定」の各種項目をカスタマイズすることで、動画変換の処理速度や安定性を高めることができます。エラーが多発する場合なども設定変更が有効な場合があります。

設定項目の中には、自動再生や終了時の動作、一時ファイルの保存ディレクトリなど、DVD Fab6 を便利に利用するための項目もあり、お好みの設定にカスタマイズできますのでお試しください。



● メインメニュー

共通設定のメインメニュー。

● サブメニュー

メインメニューで選択した項目に対するサブメニューを選択します。

● 設定画面

メニューで選択した各種設定を変更できます。

● デフォルト

「デフォルト」をクリックするとすべての設定が、カスタマイズする前の初期状態に戻ります。

● OK / キャンセル

設定が終了したら「OK」をクリックして設定を確定します。変更しない場合は「キャンセル」をクリックします。

2 共通設定画面を開く

画面右上の「▼」をクリックし、プルダウンメニューから「共通設定」を選択します。なお、「▼」をクリックしたときに表示されるプルダウンメニューは、「前回分を開く」、「製品情報 / 使い方」、「パスワードリセット」、「ログフォルダを開く」、「バージョン情報」を含めた6つになります。

① 共通設定を開く

画面右上の「▼」をクリックすると、プルダウンメニューから共通設定画面を開くことができます。



② 共通設定を終了する

設定が完了したら「OK」をクリックすると設定を保存することができます。

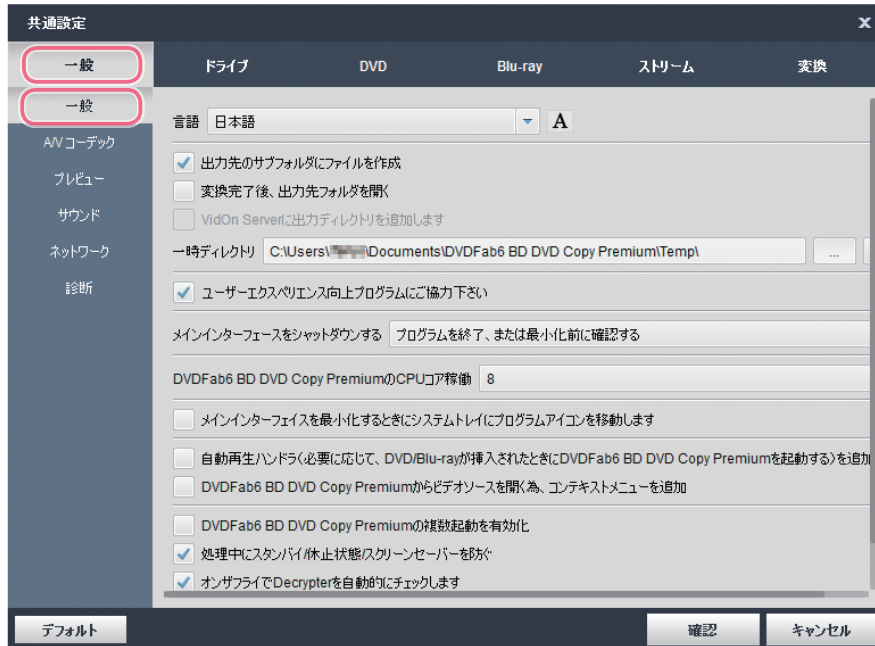


3

一般設定を行う

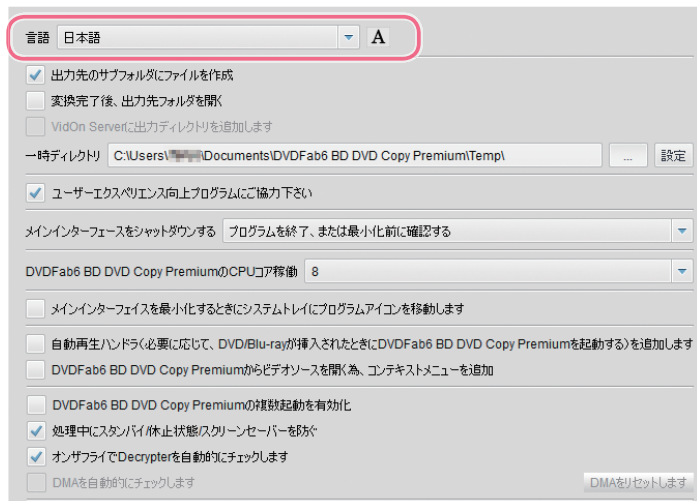
「一般」設定では、DVDFab6の基本的な動作に関する項目が設定できます。まず、この設定をお好みの使い方に合わせてカスタマイズするだけでも、より一層使い易くなるでしょう。

ただし、「一時ディレクトリ」などの項目は、一時ファイルを保存する場所になるので、空き容量の多いストレージを設定しないと、エラーの原因になりますので注意が必要です。



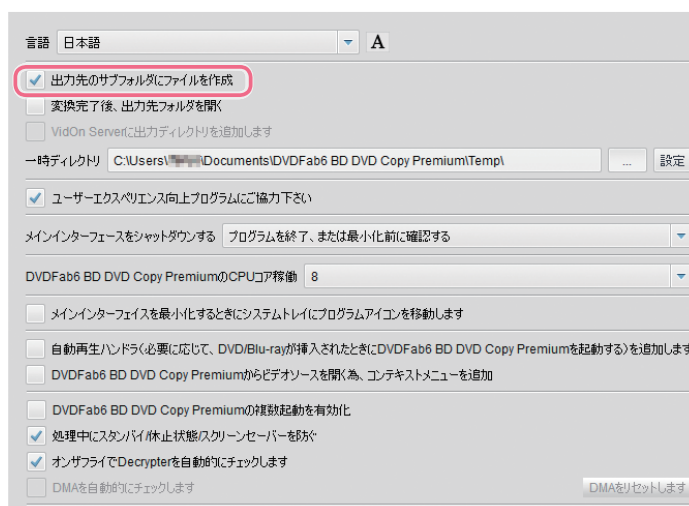
● 言語

ここでは、表示言語の再設定が可能です。設定言語の右端にある「▼」をクリックすると、プルダウンメニューが表示され、言語を選択できます。



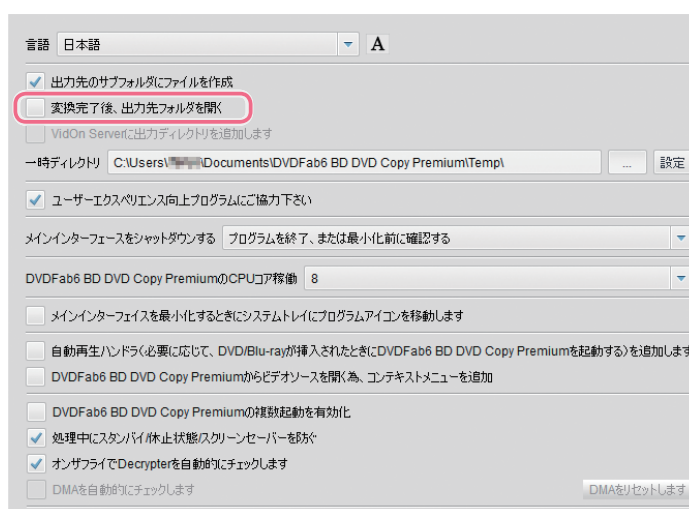
● 出力先のサブフォルダにファイルを作成

標準でチェックが入っていますので、標準では、指定した保存先にフォルダが作成され、その中にファイルが作成されます。



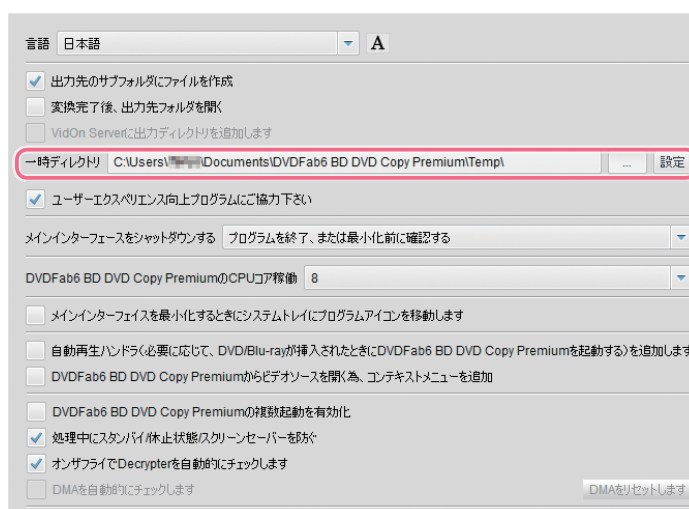
● 変換完了後、出力先フォルダを開く

この項目にチェックを入れると、変換後にフォルダ表示されるようになります。



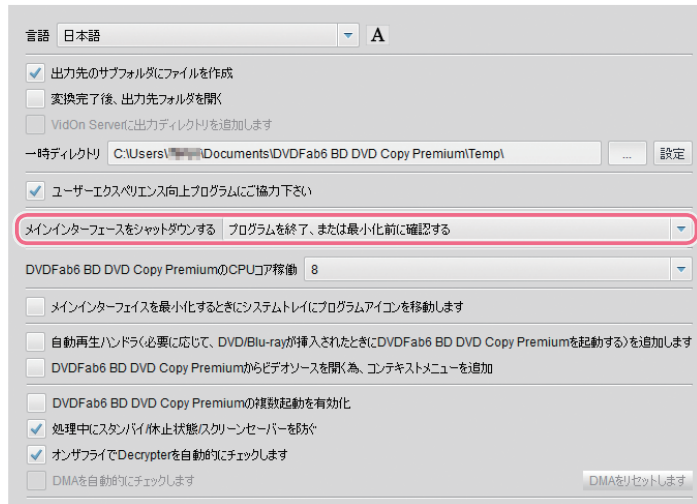
● 一時ディレクトリ

ファイル作成時の一時ファイルを保存するフォルダを指定できます。標準で指定されているフォルダがあるストレージの空き容量が少ない場合は、「…」をクリックして、フォルダを空き容量の多いストレージ上に指定します。「設定」をクリックすると「変換完了後、一時ファイルを削除」のチェックの有無を選択できます。



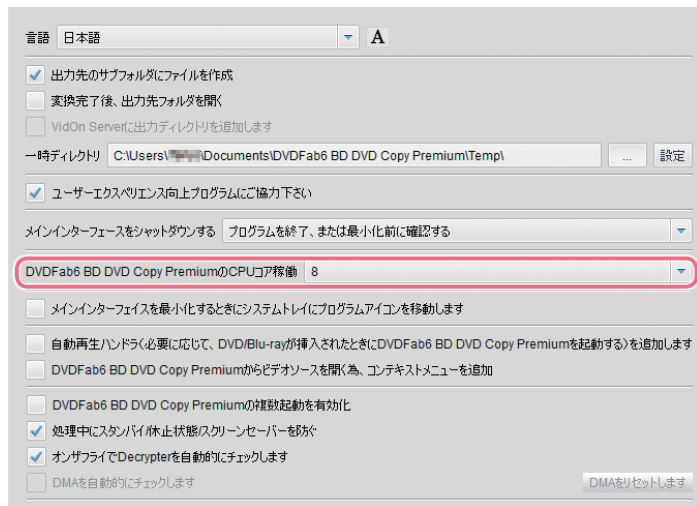
● メインインターフェイスを閉じる

DVDFab6 を終了する際にタスクバー上のトレイに最少化するか、またはプログラムを終了させるかを選択できます。終了時に確認メッセージを表示させるようにすることもできます。



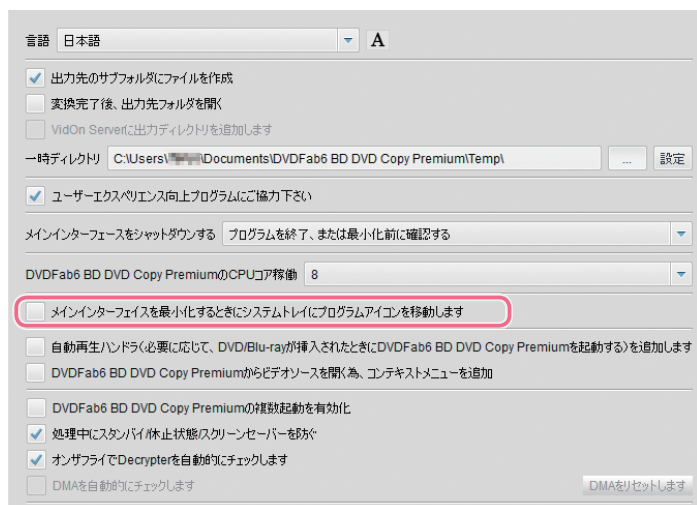
● CPU稼働コア

CPU 稼働コアを1コアから4コアの間で設定できます。コア数を増やせば動画変換などの処理が速くなり、減らすと遅くなりますが、その他のプログラムを同時に使う場合、DVDFab6 によるパソコンへの負荷が低減されます。



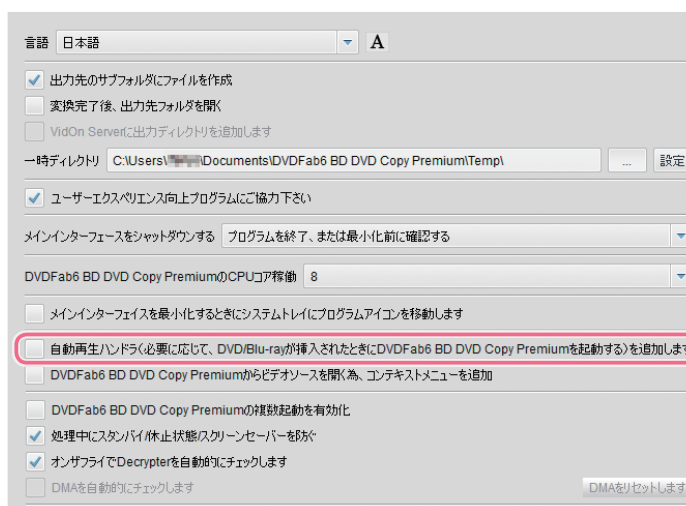
● メインインターフェイスを最少化する際、システムトレイに格納する

チェックを入れると、表示を最少化した際にタスクバー上のトレイ DVDFab6 本体のアイコンが表示されます。



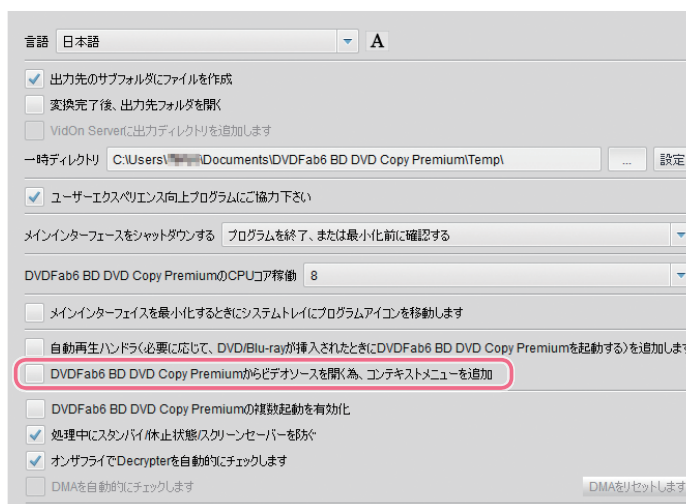
● 自動再生を有効化

この項目にチェックを入れると、Windowsのコントロールパネル「自動再生」の「DVD」や「ブルーレイディスク」の項目を、それぞれ自動再生の対象として DVDFab6 が設定されます。



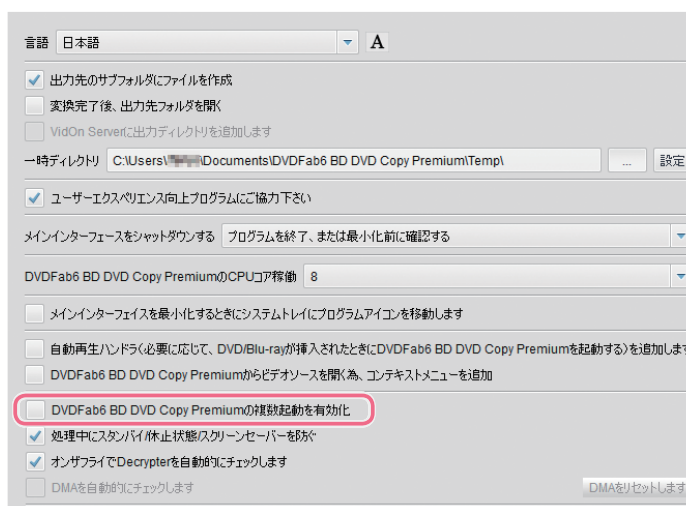
● ビデオソースを開く為、コンテキストメニューを追加

ここの項目にチェックを入れると、ローカルディスク上のビデオファイルを右クリックしたときに表示されるメニューに DVDFab6 が追加されます。



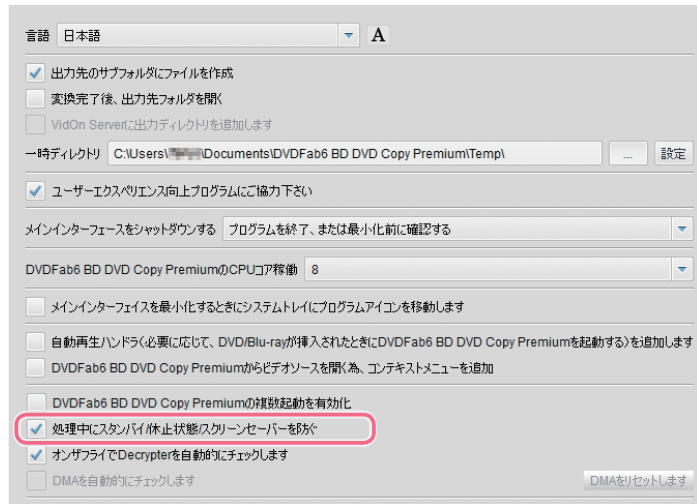
● マルチ起動を有効化

この項目にチェックを入れると、同時に複数の DVDFab6 を起動させることができます。



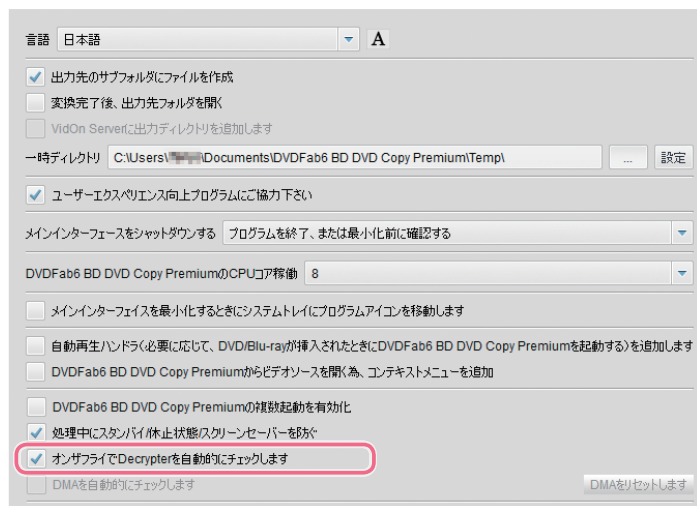
● プログラム実行中は、スタンバイ/スクリーンセーバーを起動しない

標準でチェックが入っています。DVDFab6 が起動している間に、スタンバイや休止状態になったり、スクリーンセーバーが稼働したりすることを防止できます。



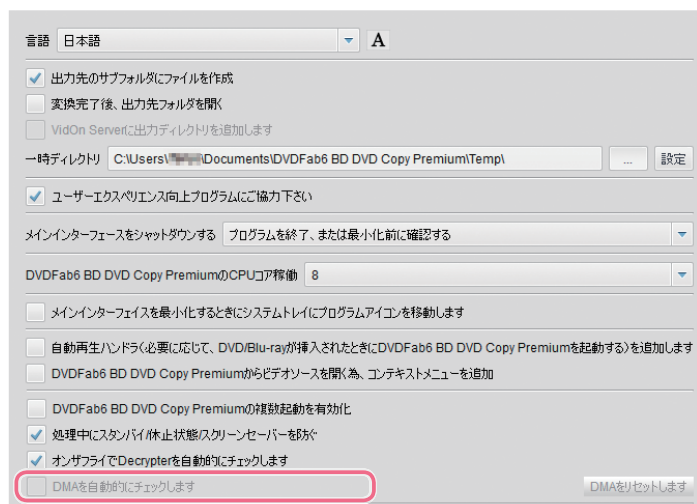
● オンザフライでDecrypterを自動チェック

DVDFab6 以外の BD/DVD 関連プログラムで、DVDFab6 と同時に起動すると競合するプログラムがインストールされている場合に警告を表示することができます。



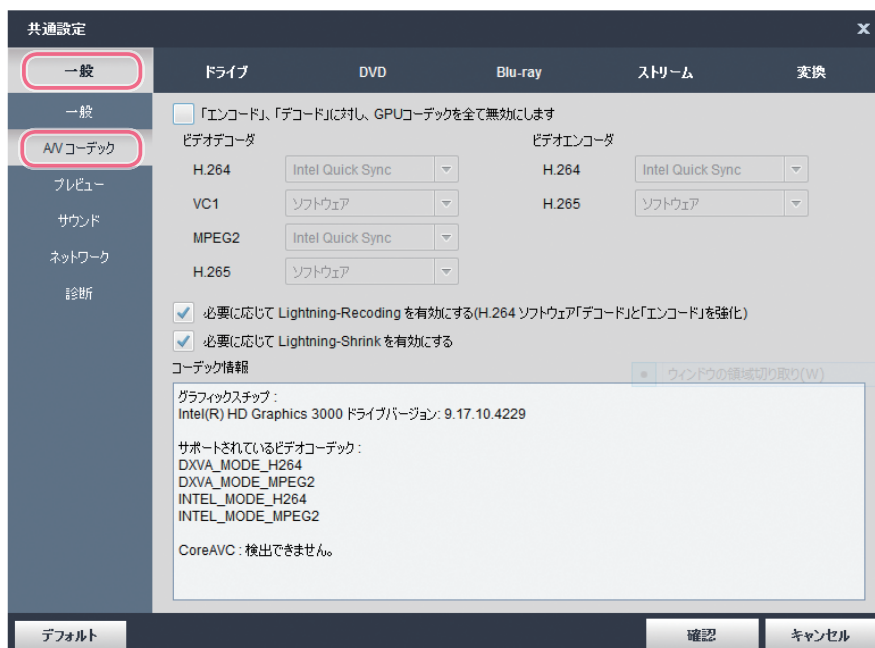
● DMA をオートチェック

DVDFab6 を自動的に DMA モードで転送作業を行うよう設定します。ただし、ご利用のパソコン環境によっては、この機能が起動しない場合があります。



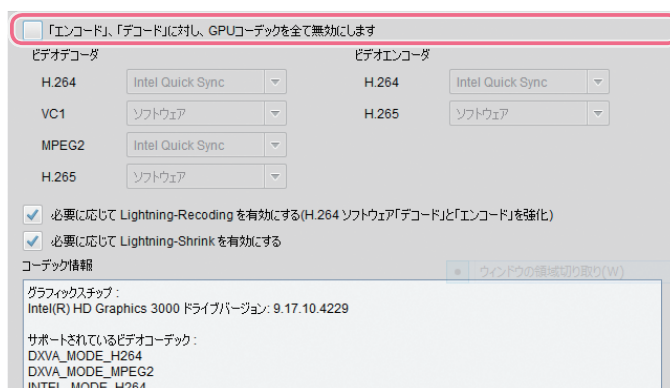
4 A/Vコーデックを設定する

A/V コーデックでは、ムービーファイルごとにファイル変換テクノロジーを設定することができます。DVDFab6 は、Intel® クイックシンクや NVIDIA GPGPU、AMDAPP テクノロジーに対応しており、動画のエンコード/デコード、Blu-ray や DVD の読み込みで、より高速な処理が可能になっています。そのため、より速い時間でファイル変換が可能になっています。また、「Lightning-Recoding」や、「Lightning-Shrink」という DVDFab6 独自の高速化機能も搭載されています。



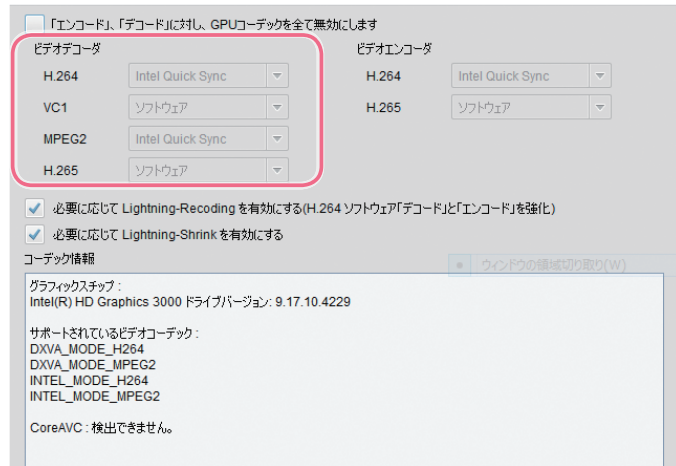
● エンコード、デコードに対しGPUコーデックを全て無効にします

CPU の性能が高いパソコンを使っている場合は「エンコード、デコードに対し GPU コーデックを全て無効にします」にチェックを入れると、安定性が上がる場合もあります。



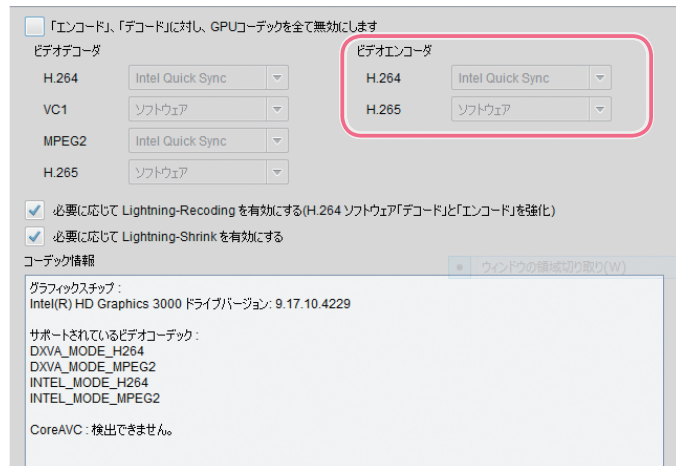
● ビデオデコーダの設定

H.264、VC1、MPEG2 のビデオデコード方法を選択できます。ただし、ご利用のパソコン環境が対応している必要があります。



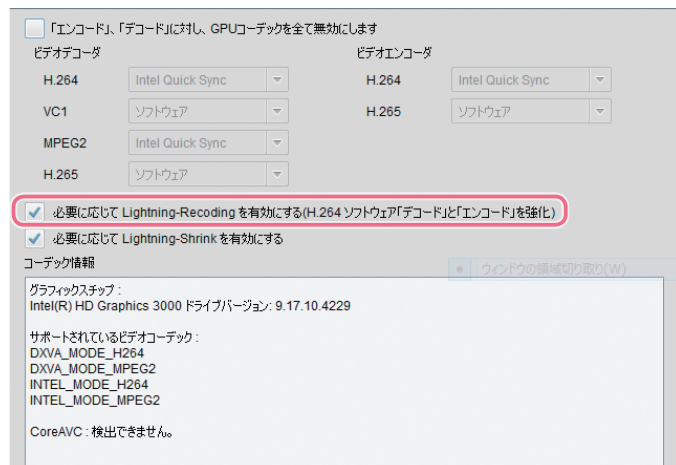
● ビデオエンコーダの設定

H.264 のビデオのエンコード方法を選択できます。



● 必要に応じて「Lightning-Recoding」を有効にする

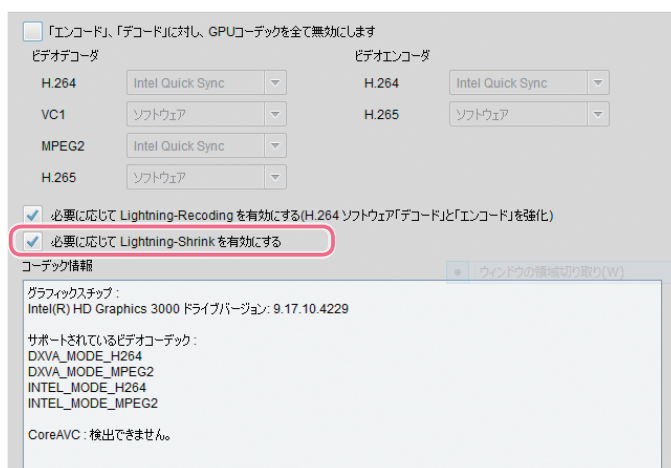
この項目にチェックを入れると、DVDfab6 独自のライディング高速化技術、Lightning-Recoding が有効になります。Blu-ray からの圧縮をベースにした作業時に、変換スピードを大幅に向上させます。



● 必要に応じて「Lightning-Shrink」を有効にする

この項目にチェックを入れると、DVDFab6独自のライディング高速化技術、Lightning-Shrink が有効になります。

Blu-ray からのファイル変換をベースにした作業時に、変換スピードを大幅に向上させます。

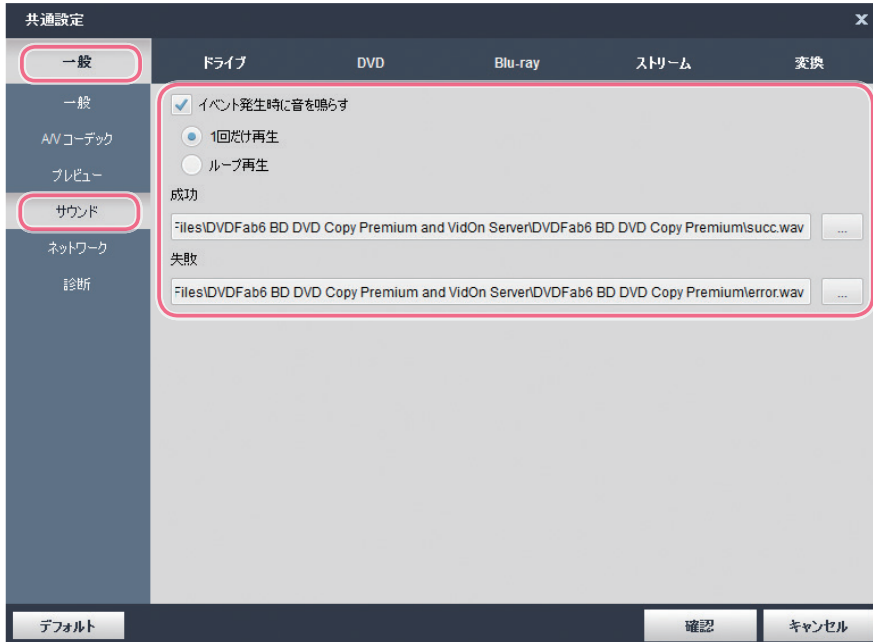


5 プレビューを設定する

ここでは、プレビューする際のデコーダーを設定できます。



ここでは、ファイル作成などのイベント成功時や失敗時に鳴らすサウンドを変更できます。サウンドを変更したい場合は「…」をクリックし、音声ファイルを選択します。



ここでは、DVDFab6 自体 や Blu-ray の認証時にネット接続するとき、プロキシの設定をしないと認証ができない場合があります。そのような場合は「プロキシを手動設定」にチェックを入れてプロキシを設定します。



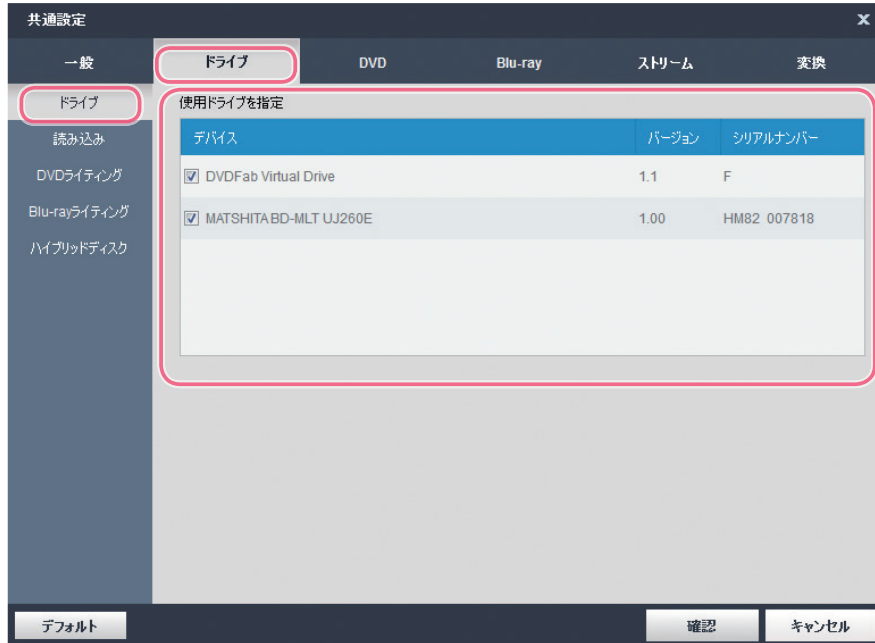
8 診断を設定する

DVDFab6 でエラーやトラブルが発生した場合のエラーログの保存先などを設定します。エラーが頻出する場合は、このログファイルを確認すれば、エラーの原因が特定できる場合もあります。



9 ドライブ関連の設定をする

共通設定の「ドライブ」では、DVD、Blu-rayドライブの設定や、読み込み時の設定、書き込み時の設定ができません。「使用ドライブを指定」で、接続している外部ドライブや仮想ドライブを選択し、不要な場合はチェックを外してDVDFab6に表示されないように設定できます。ここでチェックを外しても、画面上で「追加」からディスクを読み込めば利用可能となります。



10 読み込みを設定する

ディスクの経年劣化や傷などによる読み込みエラーを回避して正常にディスクを読み込める、多くの実績を持つ強力なディスク読み込みエンジンを搭載しています。

また、ディスクの読み込みエラー発生時の挙動（再読み込み回数 / エラー発生時にスキップするセクタ数）を手動設定する事により、読み込み精度の微細な調整ができ、ディスク読み込みの確実性を高めていくことができます。



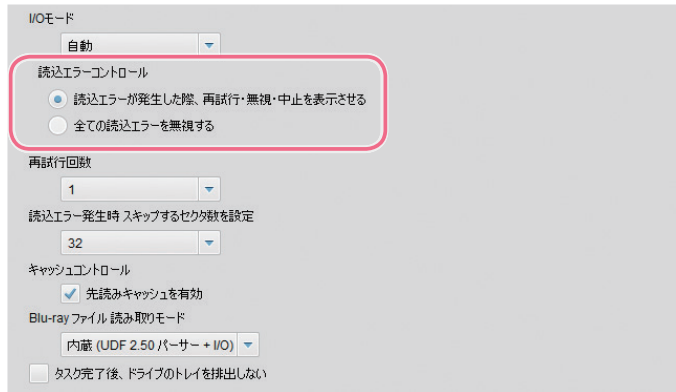
● I/Oモード

書込エンジンを ASPI、SPTI から選択できます。



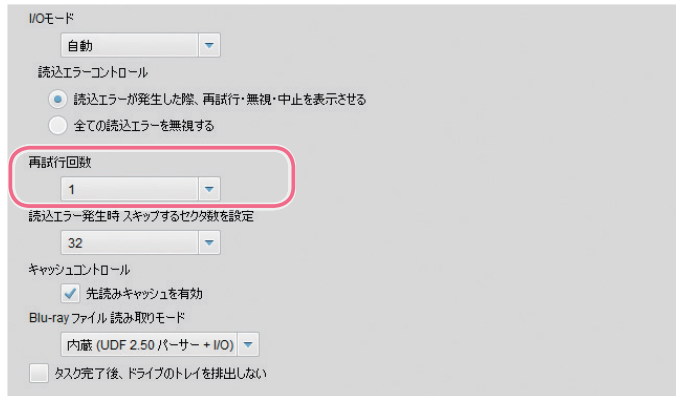
● 読み込みエラーコントロール

「読み込みエラーが発生した際、再試行・無視、中止を表示させる」にチェックを入れると、読み込みエラーの対処法がポップアップ表示され、「全ての読み込みエラーを無視する」にチェックを入れるとエラーが無視されます。



● 再試行回数

エラーが出た際の再試行回数を設定します。



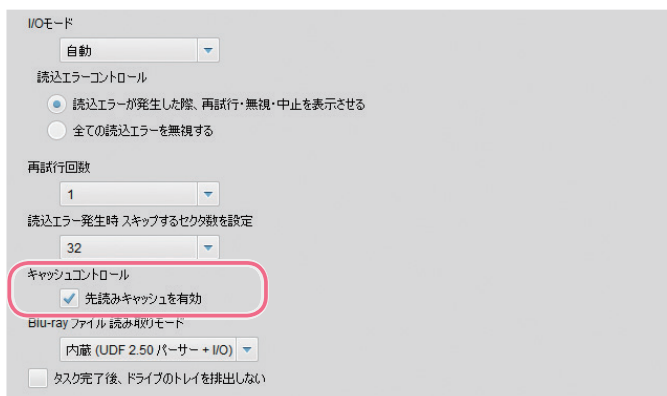
● 読み込みエラー発生時スキップするセクタ数を設定

読み込みエラーが発生した際に、読み込みを継続するために次のセクタへ移動する際、スキップするセクタ数を設定します。



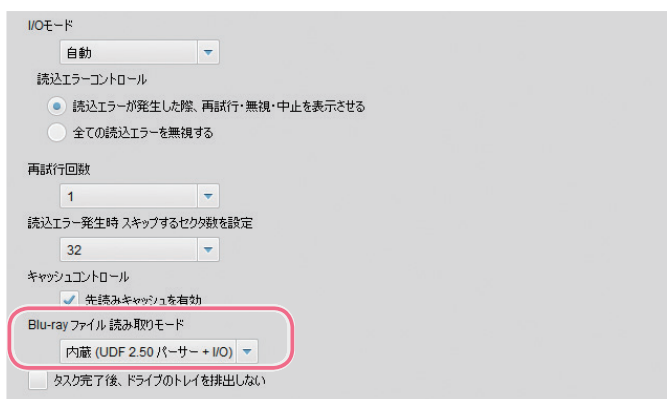
● キャッシュコントロール

この項目にチェックを入れると、先読みキャッシュを有効にできます。



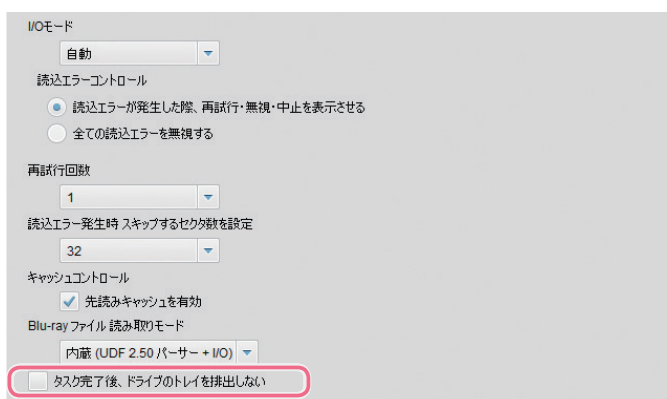
● Blu-rayファイル読み取りモード

DVDFab6 は、Blu-ray ディスクを読み取るため、UDF2.50 パーサーを内蔵しており、ここで選択できます。



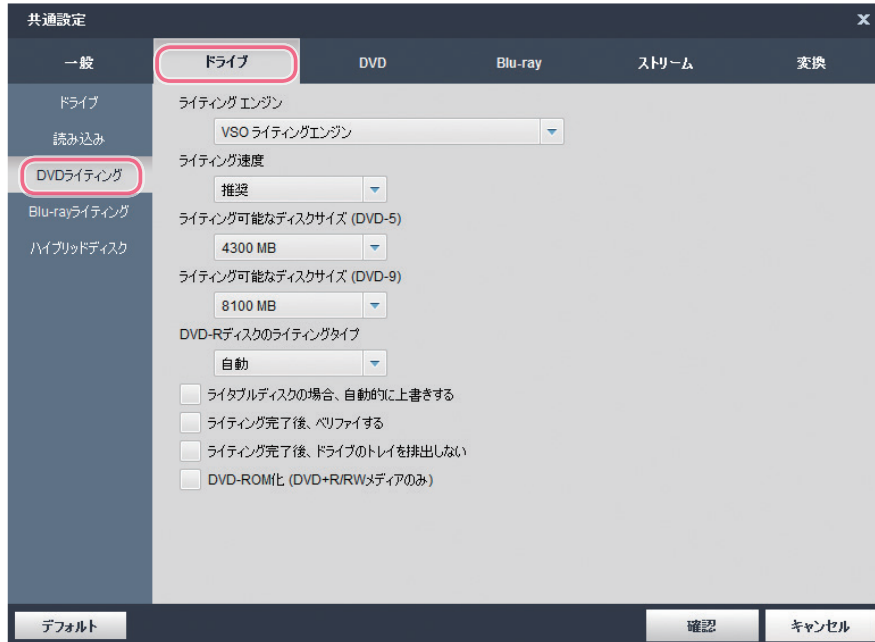
● タスク完了後、ドライブのトレイを排出しない

標準では読み取り完了後オリジナルディスクを排出する設定になっているので、排出したくない場合はチェックを入れます。



11 DVDライティングを設定する

ここでは、DVD ライティングに関する細かな設定が可能です。



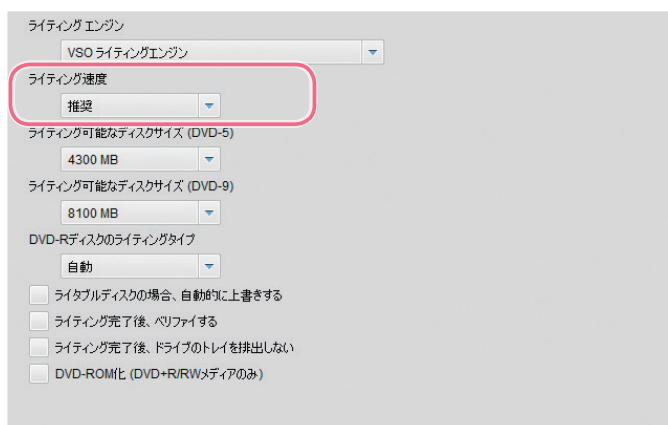
● ライティングエンジン

ご利用の環境によっては、DVDFab ライティングエンジン、VSO ライティングエンジン、ImgBurn の中から選択し、ディスク書き込みに使用できます。



● ライティング速度

書き込み速度を選択することができます。時間がかかりますが、速度が低ければ低いほど安定する傾向にあります。



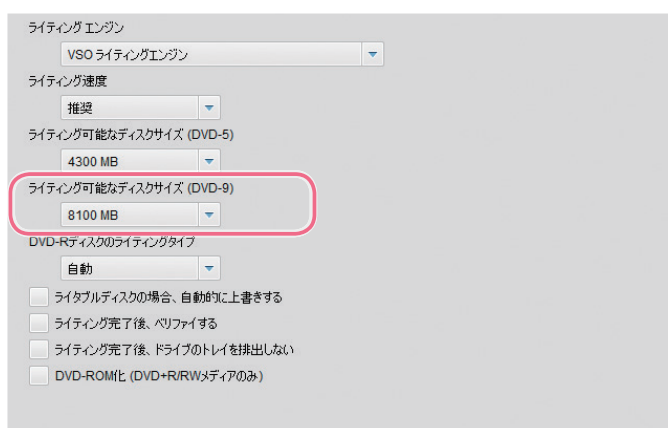
● ライティング可能なディスクサイズ (DVD-5)

ディスクに応じたライティングサイズを選択、もしくはサイズ自体をカスタマイズできます。



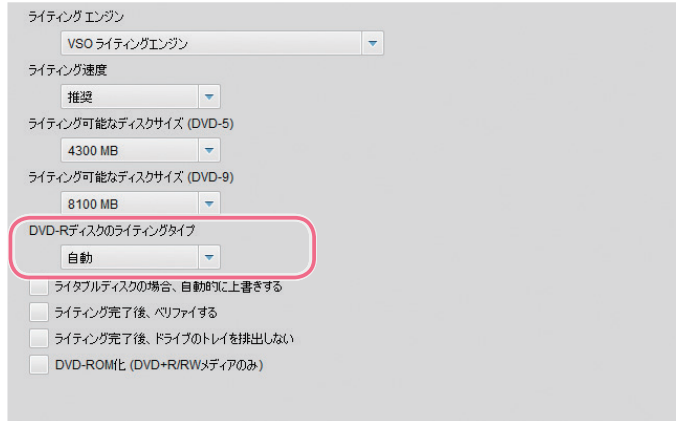
● ライティング可能なディスクサイズ (DVD-9)

ディスクに応じたライティングサイズを選択、もしくはサイズ自体をカスタマイズできます。



● DVD-Rディスクのライティングタイプ

ライティングタイプを、「自動」、「SAO ライティング」、「パケットライティング」から選択可能です。



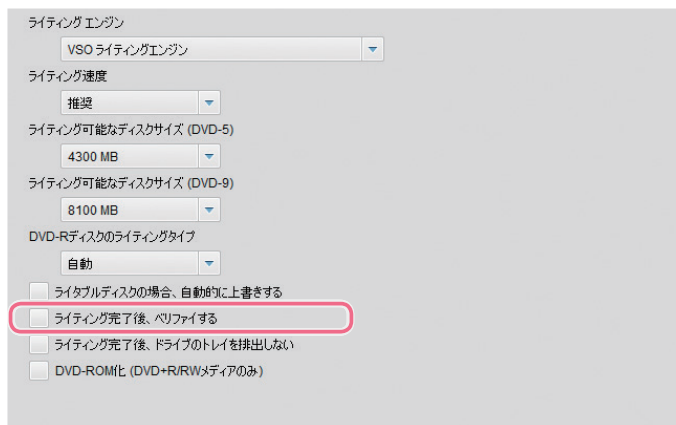
● リライタブルディスクの場合、自動的に上書きする

この項目にチェックを入れると、リライタブルディスクの場合、自動で上書きさせることができます。



● ライティング完了後、ベリファイする

この項目にチェックを入れると、ディスクが正しく作成されたか否かを確認できます。



● ライティング完了後、ドライブのトレイを 排出しない

標準ではコピー完了後オリジナルディスクを
排出する設定になっているので、排出したく
ない場合はチェックを入れます。

ライティングエンジン
VSO ライティングエンジン

ライティング速度
推奨

ライティング可能なディスクサイズ (DVD-5)
4300 MB

ライティング可能なディスクサイズ (DVD-9)
8100 MB

DVD-Rディスクのライティングタイプ
自動

ライタブルディスクの場合、自動的に上書きする

ライティング完了後、ペリファイする

ライティング完了後、ドライブのトレイを排出しない

DVD-ROM化 (DVD+RWメディアのみ)

● DVD-ROM化

この項目にチェックを入れると、対応したメ
ディアについて、DVD-ROM 化させるライ
ティングが可能です。

ライティングエンジン
VSO ライティングエンジン

ライティング速度
推奨

ライティング可能なディスクサイズ (DVD-5)
4300 MB

ライティング可能なディスクサイズ (DVD-9)
8100 MB

DVD-Rディスクのライティングタイプ
自動

ライタブルディスクの場合、自動的に上書きする

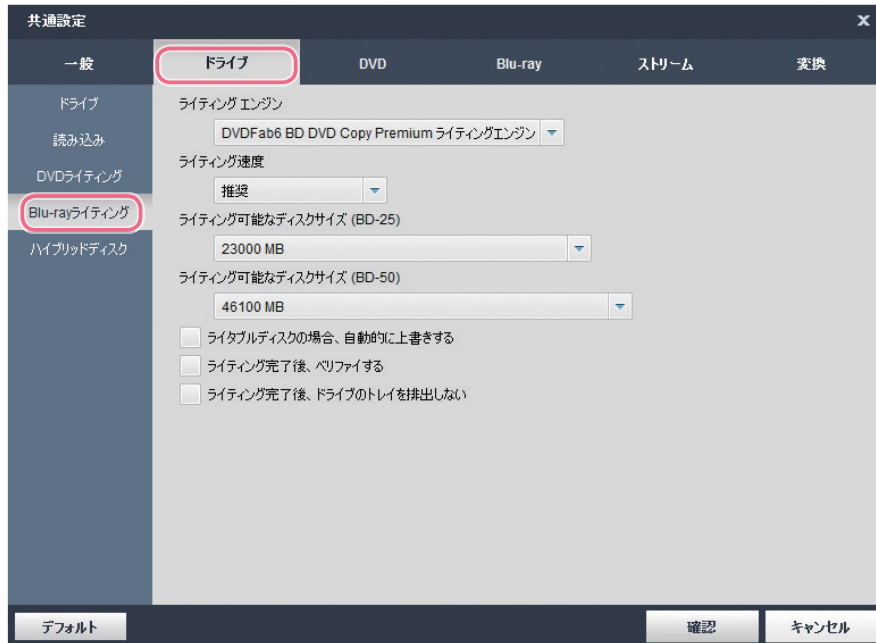
ライティング完了後、ペリファイする

ライティング完了後、ドライブのトレイを排出しない

DVD-ROM化 (DVD+RWメディアのみ)

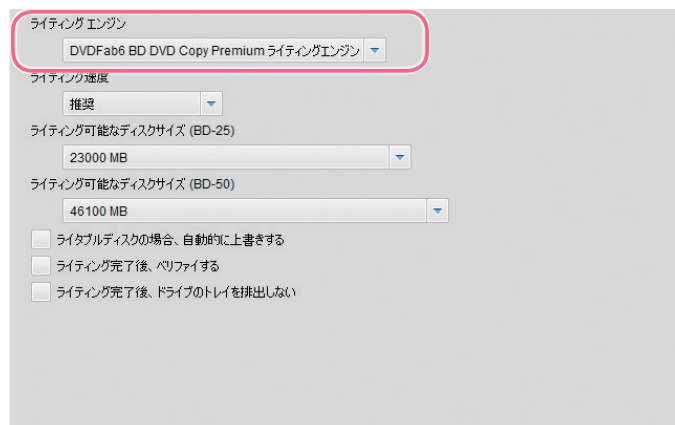
12 Blu-rayライティングを設定する

ここでは、Blu-ray ライティングに関する細かな設定が可能です。



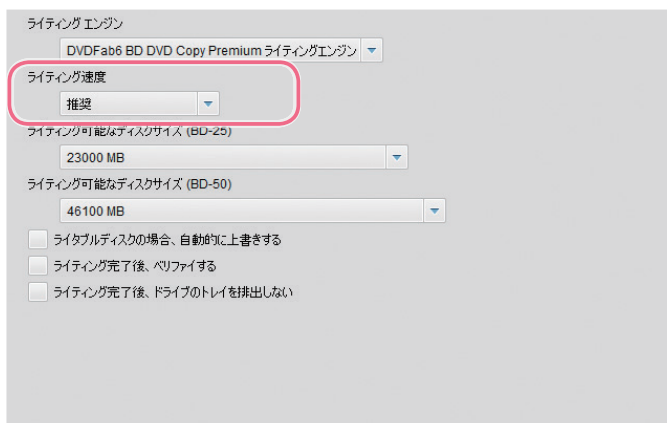
● ライティングエンジン

ご利用の環境によっては、DVD Fab ライティングエンジン、VSO ライティングエンジン、ImgBurn の中から選択し、ディスク書き込みに使用できます。



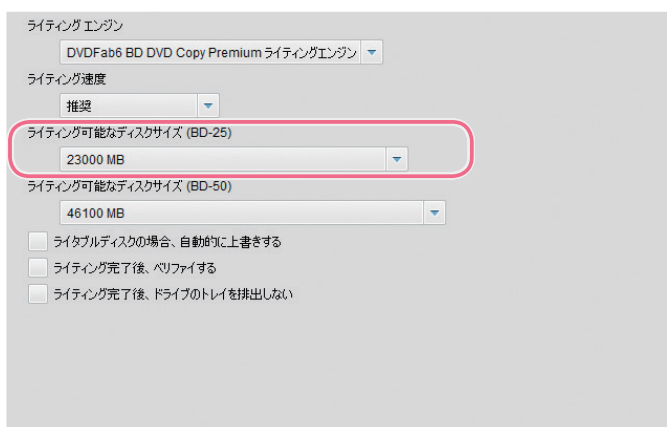
● ライティング速度

書き込み速度を選択することができます。時間がかかりますが、速度が低ければ低いほど安定する傾向にあります。



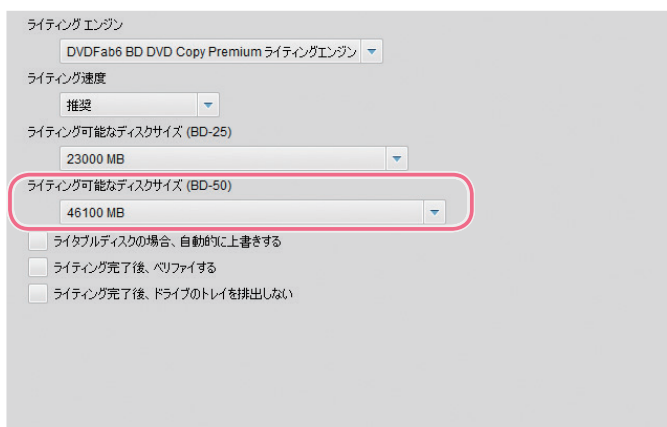
● ライティング可能なディスクサイズ (BD-25)

ディスクに応じたライティングサイズを選択、もしくはサイズ自体をカスタマイズできます。



● ライティング可能なディスクサイズ (BD-50)

ディスクに応じたライティングサイズを選択、もしくはサイズ自体をカスタマイズできます。



● **ライタブルディスクの場合、自動的に上書きする**

この項目にチェックを入れると、リライタブルディスクの場合、自動で上書きさせることができます。

ライティングエンジン
 DVDFab6 BD DVD Copy Premium ライティングエンジン
 ライティング速度
 推奨
 ライティング可能なディスクサイズ (BD-25)
 23000 MB
 ライティング可能なディスクサイズ (BD-50)
 46100 MB
 ライタブルディスクの場合、自動的に上書きする
 ライティング完了後、ベリファイする
 ライティング完了後、ドライブのトレイを排出しない

● **ライティング完了後、ベリファイする**

この項目にチェックを入れると、ディスクが正しく作成されたか否かを確認できます。

ライティングエンジン
 DVDFab6 BD DVD Copy Premium ライティングエンジン
 ライティング速度
 推奨
 ライティング可能なディスクサイズ (BD-25)
 23000 MB
 ライティング可能なディスクサイズ (BD-50)
 46100 MB
 ライタブルディスクの場合、自動的に上書きする
 ライティング完了後、ベリファイする
 ライティング完了後、ドライブのトレイを排出しない

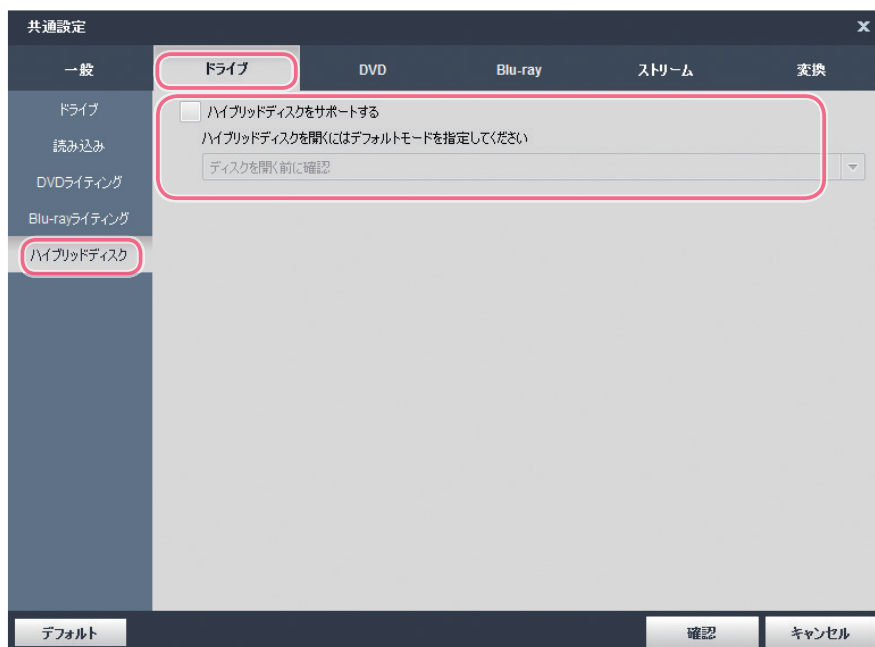
● **ライティング完了後、ドライブのトレイを排出しない**

標準ではコピー完了後オリジナルディスクを排出する設定になっているので、排出したくない場合はチェックを入れます。

ライティングエンジン
 DVDFab6 BD DVD Copy Premium ライティングエンジン
 ライティング速度
 推奨
 ライティング可能なディスクサイズ (BD-25)
 23000 MB
 ライティング可能なディスクサイズ (BD-50)
 46100 MB
 ライタブルディスクの場合、自動的に上書きする
 ライティング完了後、ベリファイする
 ライティング完了後、ドライブのトレイを排出しない

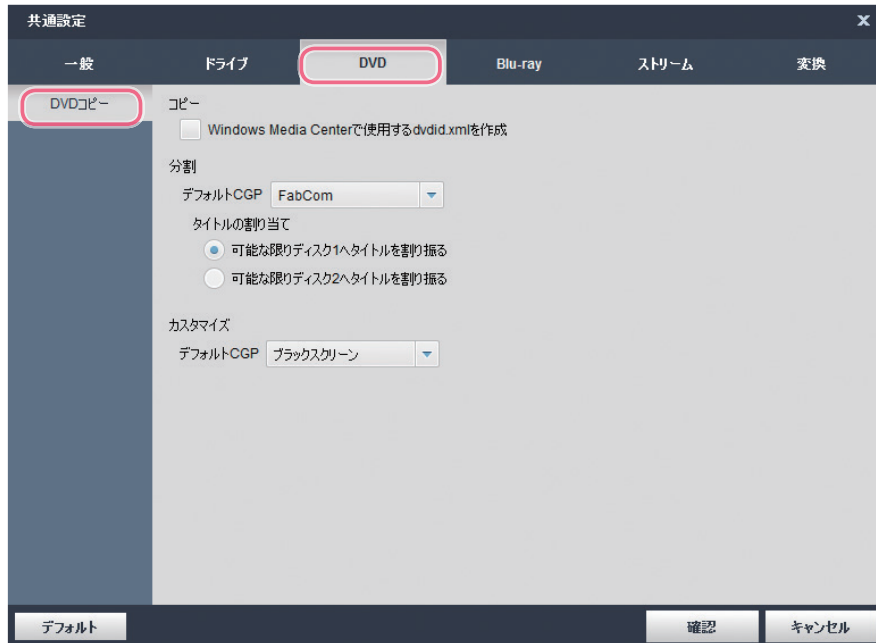
13 ハイブリッドディスクを設定する

ハイブリッドディスクという特殊なディスクを認識させる場合はチェックを入れます。



14 DVD関連の設定をする

ここでは、DVD コピーモードに関連する設定が可能です。



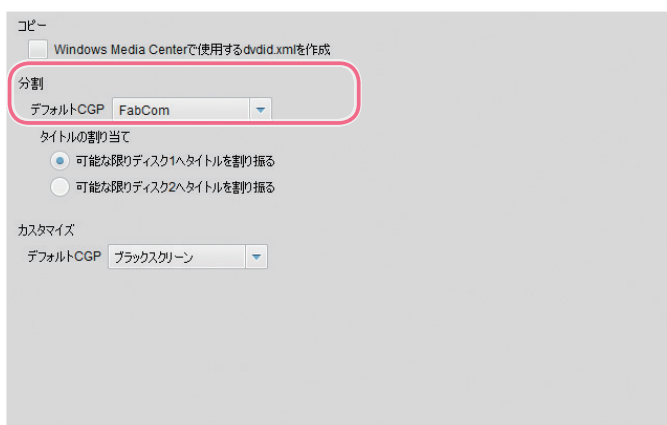
● コピー／Windows Media Centerで使用するdvdid.xmlを作成

この項目にチェックを入れると、出力フォルダーにディスク ID ファイル書き込むかどうかを指定できます。このファイルがあることで、Windows Media Center などのプログラムで、タイトルのカバーアート及び他の情報をインターネットにアクセスし自動的に検索できるようになります。



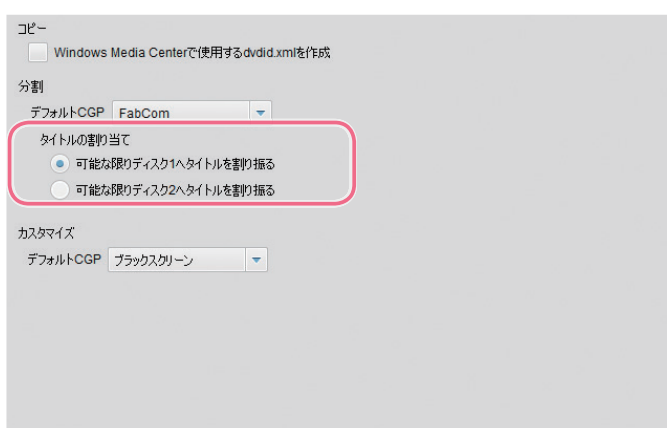
● 分割／デフォルトCGP

コピーしていないタイトルに相当する部分の処理を指定します。プルダウンメニューから「FabCom」または「ブラックスクリーン」を選択できます。



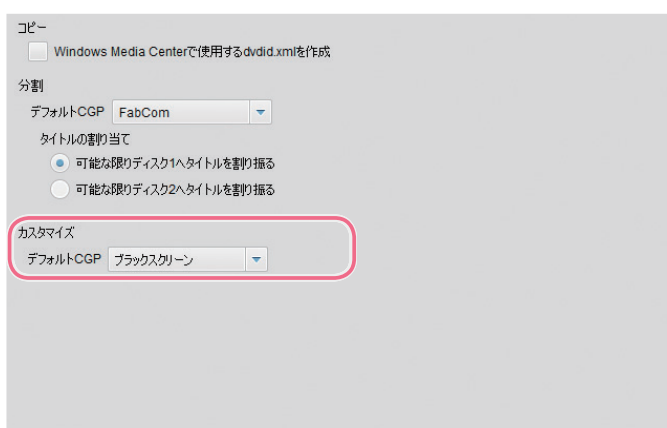
● 分割／タイトルの割り当て

ディスクを分割した際に、より多くのタイトルをどちらのディスクに分配するかを選択できます。



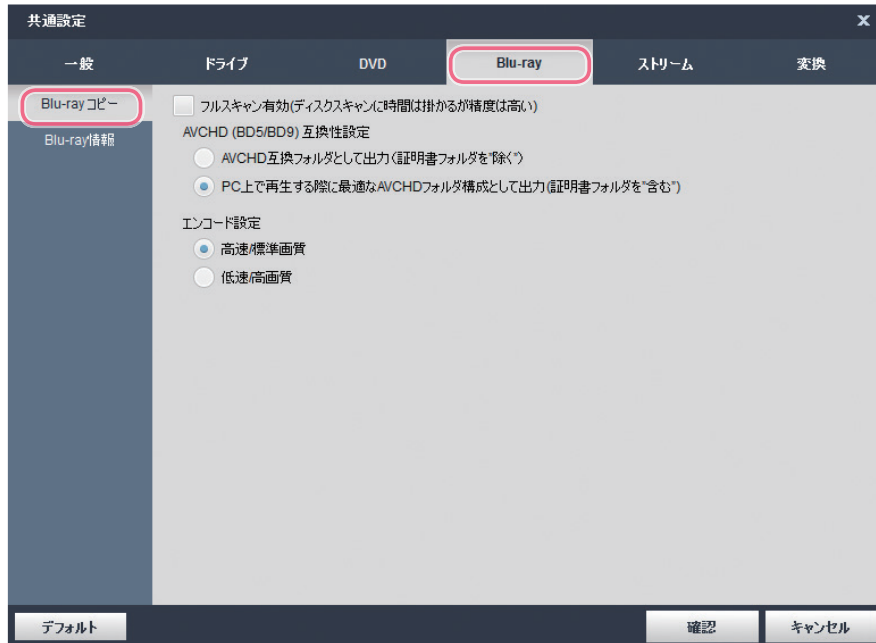
● カスタマイズ／デフォルトCGP

コピーしていないタイトルに相当する部分の処理を指定します。プルダウンメニューから「FabCom」または「ブラックスクリーン」を選択できます。



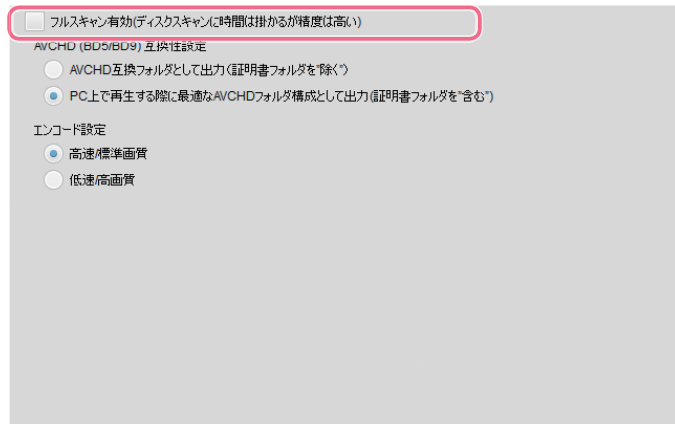
15 Blu-rayコピーモード関連の設定をする

Blu-ray コピーモードに関連する、Disc スキャン時の正確性、出力時の互換性、エンコードの品質を設定できます。



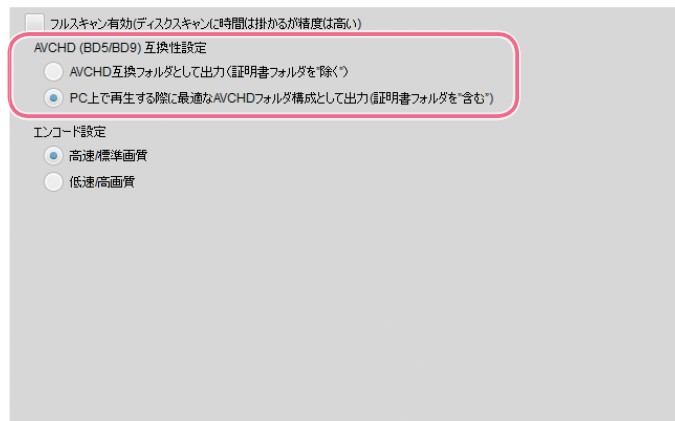
● フルスキャンを有効

この項目にチェックを入れると、より、正確なスキャン結果を得るために精度の高いスキャンを実行します。



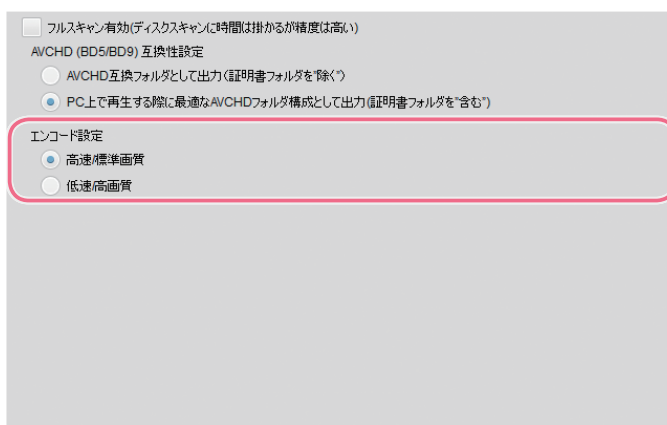
● AVCHD (BD5/BD9) 互換性設定

コピーした Blu-ray ディスクを、一般的な Blu-ray プレイヤーで再生する場合は、「AVCHD 互換フォルダとして出力」にチェックを入れ、パソコンなどで再生させる場合は、「PC 上で再生する際に最適な AVCHD フォルダ構成として出力」にチェックを入れます。



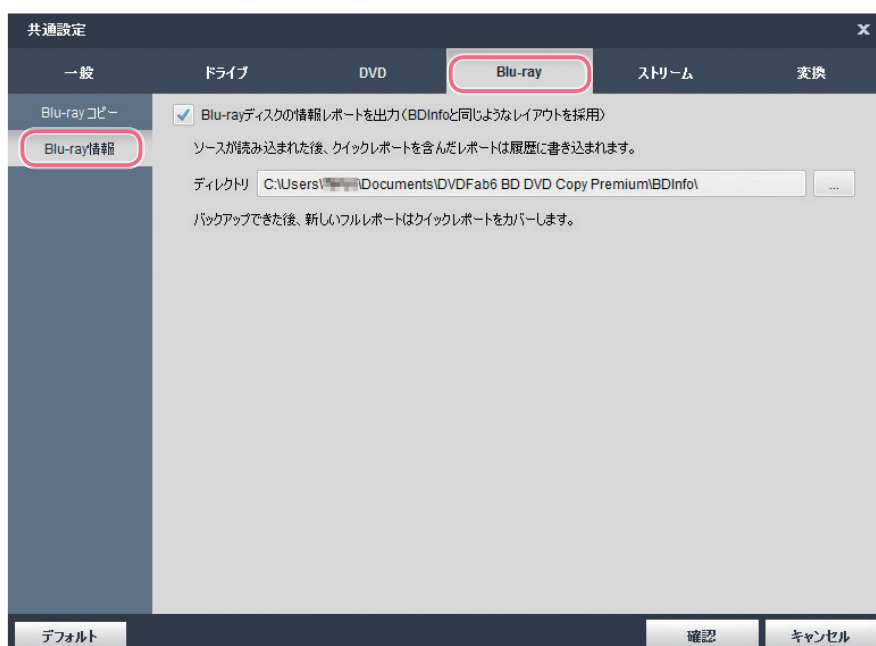
● エンコード設定

ファイル変換時の画質設定を「高速 / 標準画質」と「低速 / 高画質」から選択できます。



16 Blu-ray情報レポート出力の設定をする

Blu-ray ディスクの情報レポートを出力する場合は、チェックを入れます。



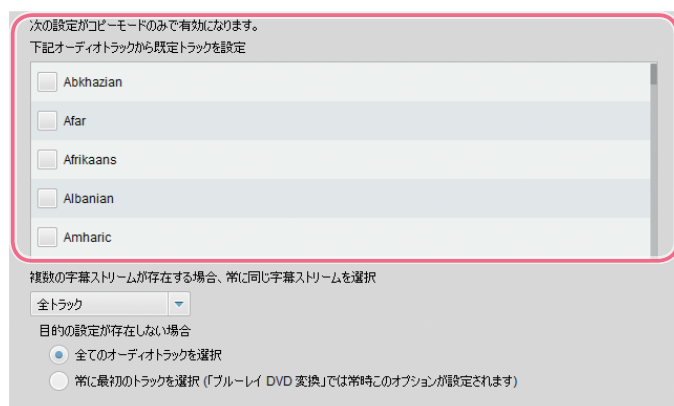
17 オーディオを設定する

「ストリーム」は音声や字幕の言語を設定する項目です。標準では日本語が設定されますが、英語やその他の言語に変更したい場合、特定の言語を設定しておきます。「オーディオ」では、音声の言語を変更できます。語学学習などで特定の音声をよく利用する場合、あらかじめこの設定で言語を選択しておくくと便利です。



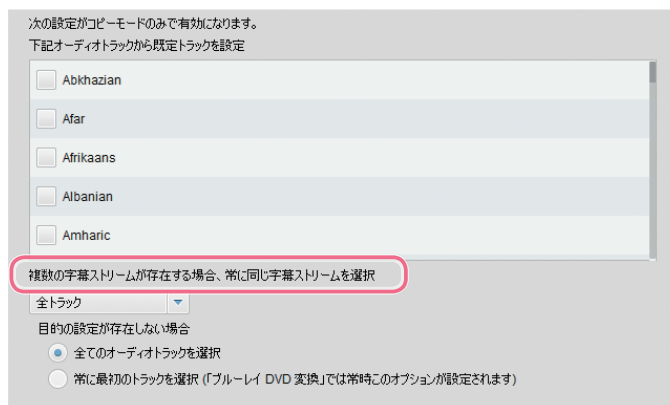
● 下記オーディオトラックから規定トラックを設定

音声の言語を、あらかじめ選択しておきたいときには、選択したい言語にチェックを入れておきます。



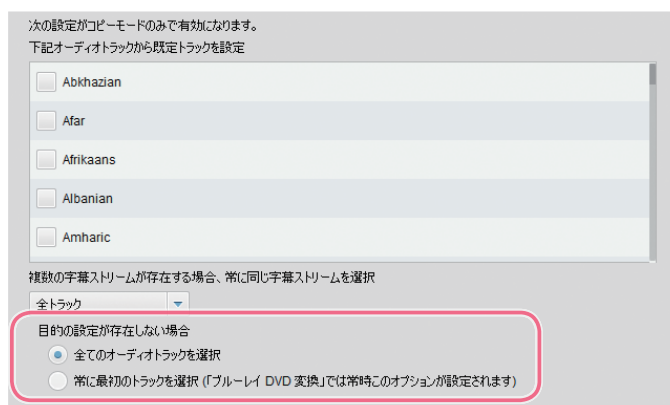
● 複数の字幕ストリームが存在する場合、常に同じ字幕ストリームを選択

同じ言語で複数のトラックが存在する場合、「全トラック」、「ドルビーデジタル」、「MPEG-2」、「リニア PCM」、「DTS」の中から特定のトラックを指定できます。



● 目的の設定が存在しない場合

上記設定の中で目的の設定が存在しない場合は、「全てのオーディオトラックを選択」か「常に最初のトラックを選択」のどちらかを選びます。



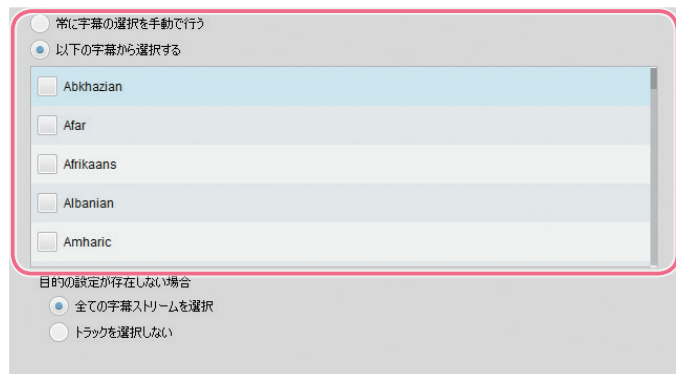
18 字幕を設定する

「字幕」では、字幕に関する設定を変更できます。



● 字幕の設定

メインムービーの字幕の言語を、日本語以外の言語から選択しておきたいときにチェックを入れます。



● 目的の設定が存在しない場合

目的の設定が存在しない場合は、「全ての字幕ストリームを選択」か「トラックを選択しない」のいずれかにチェックを入れておきます。



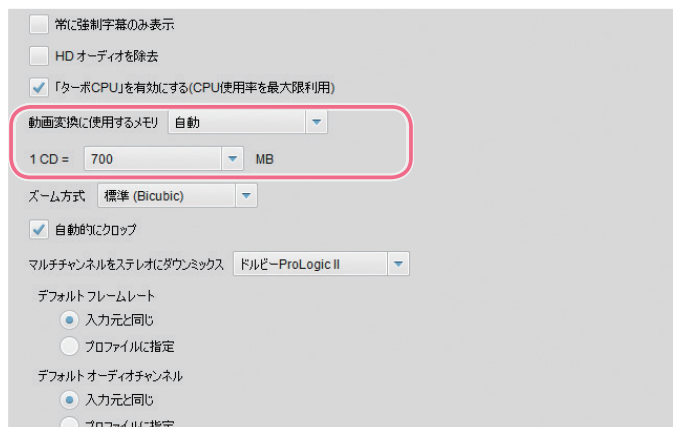
19 変換を設定する

変換の設定では変換機能を利用する際の各種設定が行えます。変換時のメモリは標準では自動になっていますが、これを調整すれば安定して高速な変換ができるようになりますことがあります。その他出力や PSP への書き出し設定などの詳細設定も可能です。



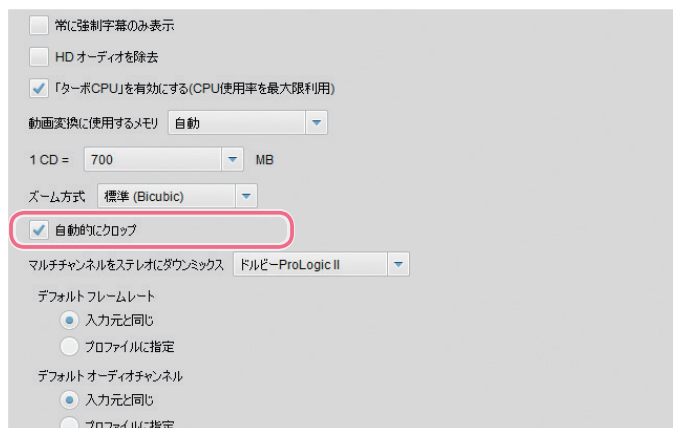
● 変換に使用するメモリ容量

「自動」を選択するとメモリは自動的に振り当てられます。手動では「低」から「最高」まで 4 段階で設定でき、処理を高速化できます。



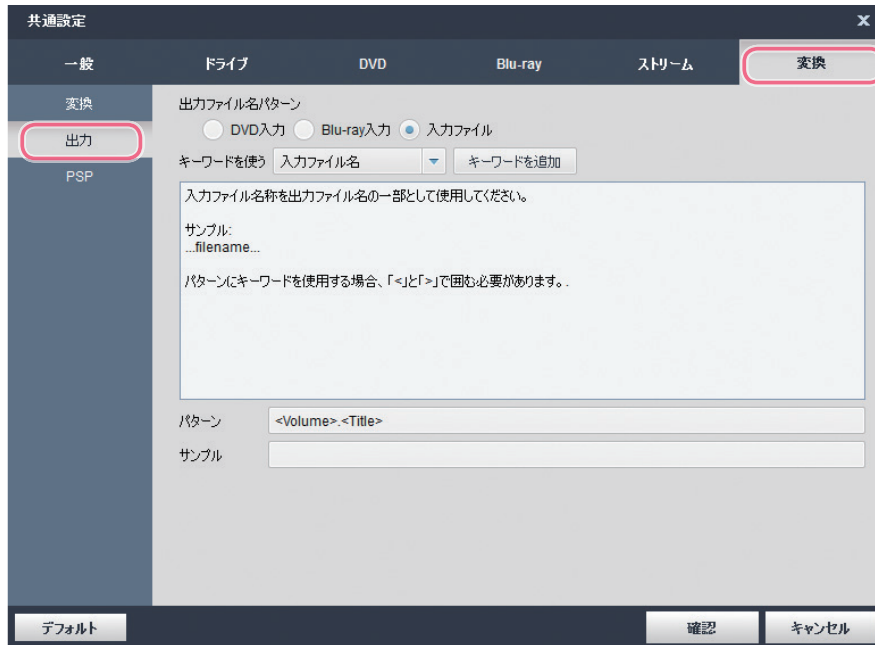
● 自動的にクロップ

チェックを入れると、ムービーの余分な黒帯が自動的に切り抜かれます。



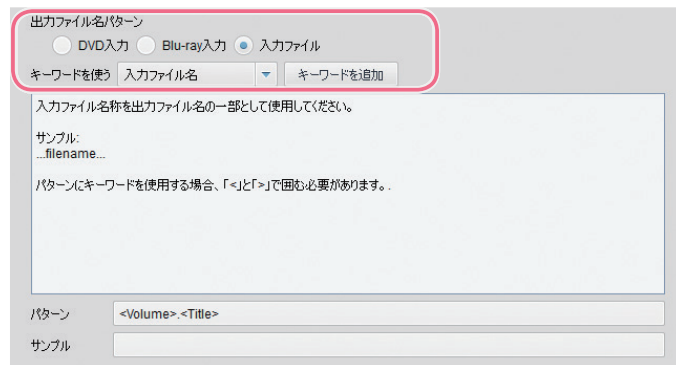
20 出力を設定する

「出力」では、出力ファイル名に関する設定を変更できます。



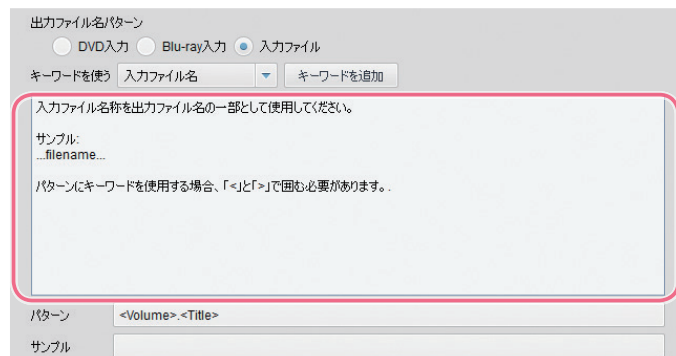
● 出力ファイル名パターン

出力する際のボリュームラベルやタイトル名、チャプター名のファイル名を設定できます。



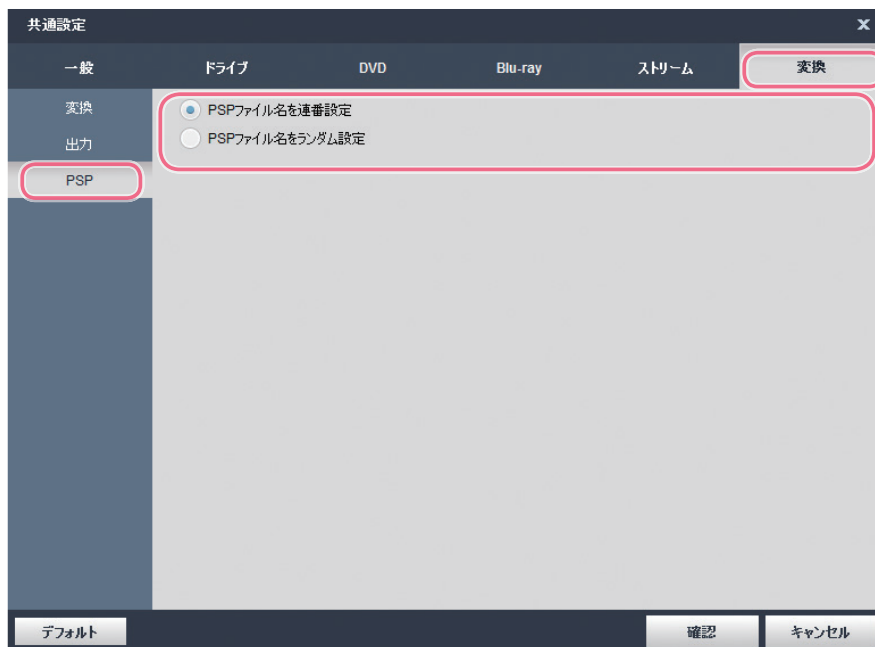
● パターンとサンプル表示

設定したパターンとサンプルがプレビュー表示されます。



21 PSPを設定する

PSPに出力する際のファイル名を「連番」か「ランダム」から選択できます。



用語集

.avi

Windowsで標準的に使用される、AVI形式の動画ファイルの拡張子です。

.m2ts

m2ts(H.264/MPEG-4 AVC)形式の動画ファイルにつく拡張子です。

.m4a

AAC(Advanced Audio Coding)形式の音声ファイルの拡張子です。

.mp3

MP3(MPEG Audio Layer-3)形式の音声ファイルの拡張子です。MP3はデジタルオーディオファイルの主流になっています。

.mp4

MPEG-4形式の動画ファイルの拡張子です。

.mpg / .mpeg / .m1v / .mpv

MPEG形式の動画ファイルの拡張子です。

.wav

WAVE形式というWindows標準の音声フォーマットです。オーディオCD並みの高音質ですが、そのまま保存するとファイルサイズが大きくなります。

.wma

Windows Media Playerで再生するための音声ファイル形式の拡張子です。

.wmv

Windows Media Playerで再生するための動画ファイル形式の拡張子です。

2D映像

2Dとは二次元のこと、一般的な平面的に再生される映像です。

3D映像

3Dとは三次元のこと、特殊な技術により、右目と左目にそれぞれ微妙にずれた映像を見せることで、立体的に再生される映像です。

Blu-ray Disc(ブルーレイディスク)

DVDの後継となる光学ディスク。青紫色半導体レーザーを使用することで、DVDより多くのデータ(25GB・50GB)を記録することができ、高画質でデータが大きいハイビジョン映像などの記録に対応しています。

DVD

コンピュータをはじめとする情報機器でデータ記録メディアとして広く利用される光学ディスクで、多くのパソコンでドライブが装備されています。4.7GB・8.5GBのデータを記録できます。

MPEG(エムペグ)形式

動画や音声のデータ形式で、MPEG-1、MPEG-2などの種類があります。

圧縮

データの実質的な性質を保ったまま、よりサイズの小さなファイルに変換することです。高圧縮(ファイルのサイズが小さくなる)の形式ほどデータの省略部分が多くなるため、画質・音質が低下することが多くなります。

アスペクト比

画面や画像の縦横の比率のことです。従来のテレビやパソコンのモニターでは「4:3」が多く、地上波デジタルテレビや最近のパソコンのモニターでは「16:9」が主流になりつつあります。

拡張子

ファイル名の最後についているピリオド以下の部分のことです。2~4文字(通常は3文字)で、そのファイルの種類をあらわします。拡張子を書き替えると、ファイルが開かなくなることもあるので、ファイル名を変更するときには注意が必要です。

ドラッグ

マウスポインタを操作する箇所に合わせて、マウスの左ボタンを押したままマウスを移動する操作です。

ドラッグ&ドロップ(ドラッグアンドドロップ)

操作するものにマウスポインタを合わせて、マウスの左ボタンを押したまま目的の場所まで移動し、マウスボタンを離す操作です。

ピクセル

画像を構成している色の点のことです。写真などの画像は大量のピクセルの集まりによって色彩を表現しています。

マウスポインタ

マウスに連動して移動する矢印のことです。操作する対象の場所を指示します。通常は矢印ですが、場所や状況に応じて、形状が変わります。

DVDFab6 ガイドブック

2016年4月1日 初版第1刷発行

発行・発売： 株式会社ジャングル

Printed in Japan

Copyright ©2016 Jungle Inc.

乱丁・落丁の場合はお取り換えいたします。

本書の内容を無断で転記、転載することを禁じます。

内容についてのご質問、お問い合わせは、株式会社ジャングルのホームページ上からお問い合わせください。

株式会社ジャングル サポートセンター <http://www.junglejapan.com/support/>